

市民活動に関する市民意識調査

姫路市市民活動推進課

（令和 7 年度実施）

【目 次】

1	調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	集計・分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	調査結果のまとめ	
Ⅰ	自治会などの地域団体への関わりについて・・・・・・・・	5
Ⅱ	ボランティア活動や NPO への関わり（地域団体以外）について・・・	11
Ⅲ	市政への関わりについて・・・・・・・・・・・・・・・・	22
Ⅳ	回答者自身について・・・・・・・・・・・・・・・・	29
	市民活動を盛んにしていくうえでのご意見・ご感想・・・・・・・・	37
4	クロス集計	
Ⅰ	自治会などの地域団体への関わりについて・・・・・・・・	40
Ⅱ	ボランティア活動や NPO への関わり（地域団体以外）について・・・	50
Ⅲ	市政への関わりについて・・・・・・・・・・・・・・・・	63
Ⅳ	回答者自身について・・・・・・・・・・・・・・・・	71
5	市民活動に関する市民意識調査 調査票・・・・・・・・	93

1 調査の概要

(1) 調査の目的

姫路市では、平成19年3月に市民活動及び協働の推進について基本的な考え方を整理し、その方針を示した「姫路市市民活動・協働推進指針」を策定し、以降、この指針に基づいて「市民活動・協働推進事業計画」を第四次計画まで策定し、参画と協働のまちづくりを推進してまいりました。

今回実施する調査は、「姫路市まちづくりと自治の条例」を基本とし、全員参加のまちづくりを進める中で、前回調査（令和2年）実施時からの市民活動に関する意識や意向、ニーズの変化を的確に把握し、今後の施策展開の参考とするためのものです。

(2) 調査対象者

- ・ 姫路に住民登録がある満18歳以上の市民から、男女別、各年齢階層別、各地区別で無作為抽出した、回答数3,000人
- ・ 令和7年度市政モニター登録者 211人

(3) 調査方法

調査票の配布は郵送にて行い、回収は郵送またはインターネットでの回答を依頼しました。

市政モニター登録者への配布は、メールにて行い、インターネットでの回答を依頼しました。

(4) 調査期間

令和7年9月24日（水）～令和7年10月10日（金）

(5) 回答の状況

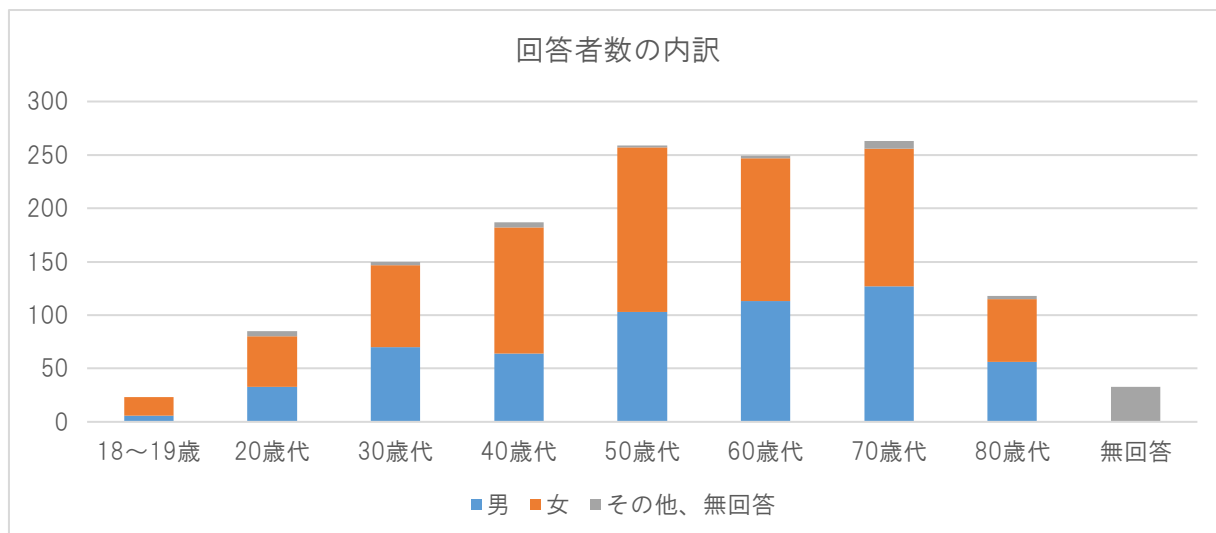
対象	配布数	有効配布数	回答数	回答率
無作為抽出	3,000	2,991	1,192	39.9%
市政モニター	211	211	175	82.9%
合計	3,211	3,202	1,367	42.7%

(6) 回答者の内訳について

ア 回答者の性別×年齢

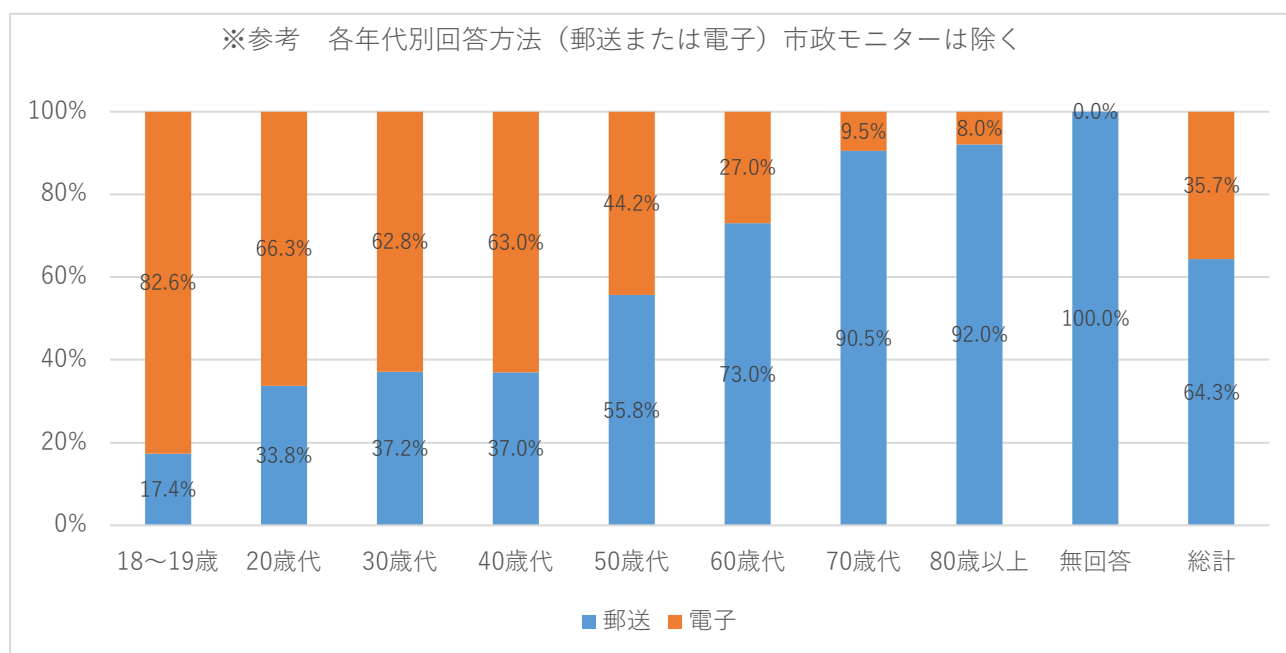
	18～19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	無回答	総計
男性	6	33	70	64	103	113	127	56	0	572
	26.1%	38.8%	46.7%	34.2%	39.8%	45.4%	48.3%	47.5%	0.0%	41.8%
女性	17	47	77	118	154	134	129	59	0	735
	73.9%	55.3%	51.3%	63.1%	59.5%	53.8%	49.0%	50.0%	0.0%	53.8%
その他 無回答	0	5	3	5	2	2	7	3	33	60
	0.0%	5.9%	2.0%	2.7%	0.8%	0.8%	2.7%	2.5%	100.0%	4.4%
合計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

各年代 の割合	1.7%	6.2%	11.0%	13.7%	18.9%	18.2%	19.2%	8.6%	2.4%	100.0%
------------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	--------



イ 地域別の回答者数

	配布数	有効 送付数	回答数	送付数に対する回答割合 (市政モニター除く)	市政モニター 地区別回答数
中部地区	788	786	303	38.5%	59
西部地区	222	222	85	38.3%	11
北部地区	308	308	118	38.3%	14
東部地区	238	237	88	37.1%	15
灘地区	237	235	88	37.4%	12
飾磨地区	366	363	136	37.5%	22
広畑地区	304	303	112	36.8%	13
網干地区	290	290	111	38.3%	19
家島地区	26	26	4	15.4%	0
夢前地区	94	94	39	41.5%	3
香寺地区	104	104	44	42.3%	6
安富地区	23	23	13	56.5%	1
地区不明	—	0	11		
無回答	—	0	40		
総計	3,000	2,991	1,192	39.9%	175



2 集計・分析

- ・ 集計、分析にあたっては、小数点第 2 位以下を四捨五入して算出しました。したがって、比率の合計回答率が 100% にならず、1 % の範囲内で増減することがあります。
- ・ 複数回答の項目については、回答数の比率及び回答人数の比率を掲載しています。回答人数の比率については、合計が 100% になりません。
- ・ 性別、年齢別、居住地域など基本属性について、単数回答の質問については、クロス集計を行い、分析しました。
- ・ アンケートの最後「姫路市において、市民活動を盛んにしていくうえで、ご意見・ご提言がありましたら、お聞かせください」の欄に記入があった意見については、生成 AI を活用し、要約しています。
- ・ 一部の設問について、前回（令和 2 年度）と比較し考察を行っています。

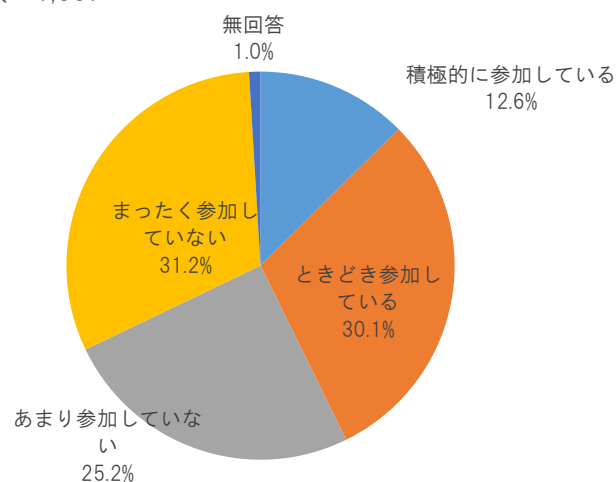
3 調査結果のまとめ

I 自治会などの地域団体への関わりについて

問1 地域団体の活動にどの程度参加されていますか。【〇はひとつ】

集計結果	R7 回答数	R2 割合	R7 割合
1 積極的に参加している	172	15.2 %	12.6%
2 ときどき参加している	412	28.3 %	30.1%
3 あまり参加していない	344	22.4 %	25.2%
4 まったく参加していない	426	30.4 %	31.2%
無回答	13	3.7%	0.95%
合計	1,367	100.0%	100.0%

問1 単数回答 件数：1,367



地域団体の活動への参加状況を令和2年度と比較すると、「積極的に参加している」は15.2%から12.6%に減少し、「ときどき参加している」は28.3%から30.1%に増加した。また、「あまり参加していない」「まったく参加していない」を合わせた非参加層は52.8%から56.4%に増加しており、地域団体活動への参加は全体としてやや低下傾向にある。

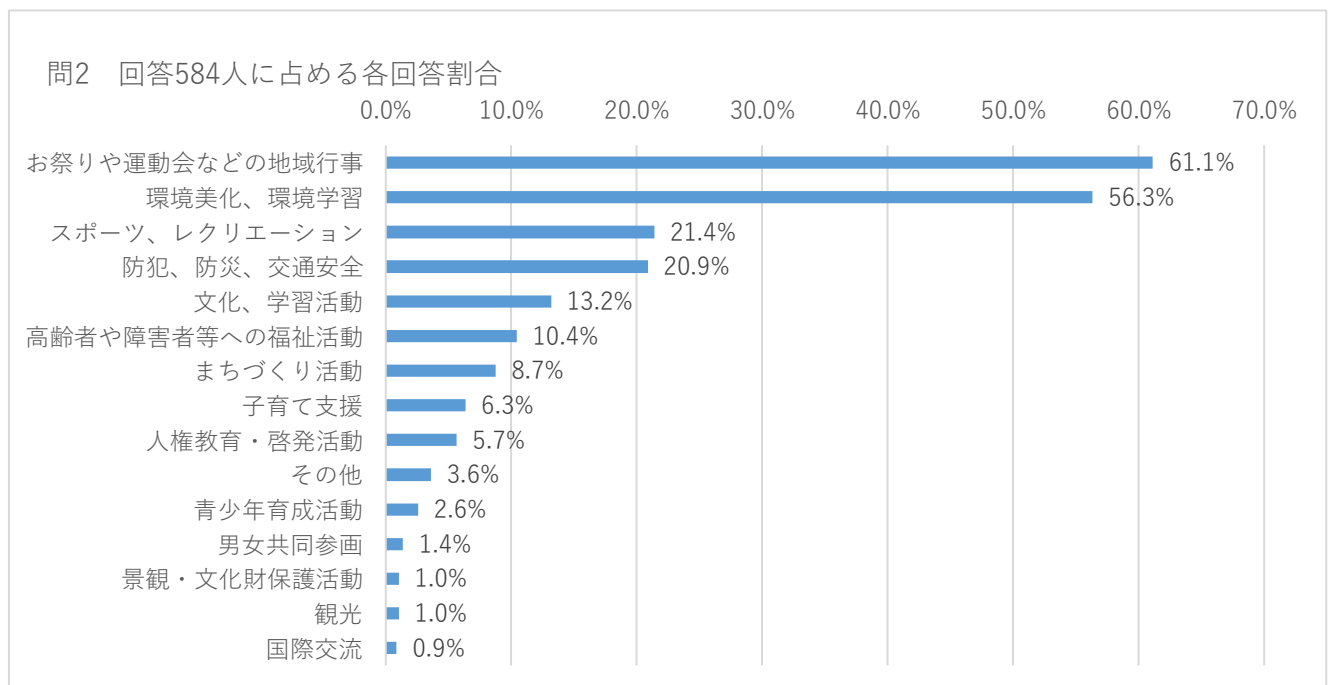
問2 問1で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

地域団体を通じて、どのような分野の活動に参加されていますか。【○はいくつでも可】

(1) 回答数の割合

集計結果	R7 回答数	R2 割合	R7 割合
1 環境美化、環境学習	329	22.6 %	26.3%
2 文化、学習活動	77	8.0 %	6.1%
3 お祭りや運動会などの地域行事	357	28.4 %	28.5%
4 スポーツ、レクリエーション	125	10.0 %	10.0%
5 防犯、防災、交通安全	122	10.0 %	9.7%
6 青少年育成活動	15	1.6 %	1.2%
7 高齢者や障害者等への福祉活動	61	6.0 %	4.9%
8 まちづくり活動	51	4.1 %	4.1%
9 子育て支援	37	2.4 %	3.0%
10 人権教育・啓発活動	33	3.5 %	2.6%
11 男女共同参画	8	0.3 %	0.6%
12 景観・文化財保護活動	6	0.9 %	0.5%
13 国際交流	5	0.5 %	0.4%
14 観光	6	0.7 %	0.5%
15 その他	21	1.1 %	1.7%
合計	1,253	100.1%	100.0%

(2) 回答人数の割合



【その他自由記述】

- ・ PTA のベルマーク集め
- ・ 子ども会、中学会等

地域団体を通じて参加している活動分野を回答人数 584 人に占める割合でみると、「お祭りや運動会などの地域行事」が 61.1%で最も多く、次いで「環境美化、環境学習」が 56.3%と高かった。以下、「スポーツ、レクリエーション」21.4%、「防犯、防災、交通安全」20.9%が続いており、地域団体の活動は地域行事と環境分野を中心に構成されていることがうかがえる。

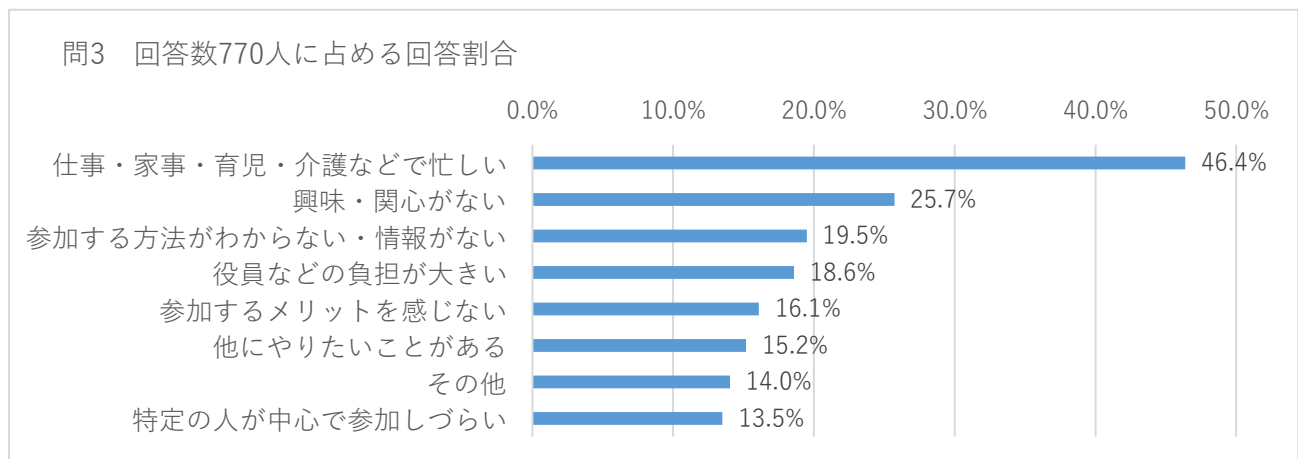
問3 問1で3又は4に○をつけた方のみお答えください。

地域団体の活動に参加されていないのはなぜですか。【○はいくつでも可】

(1) 回答数の割合

集計結果	R7回答数	R2割合	R7割合
1 仕事・家事・育児・介護などで忙しい	357	27.5%	27.4%
2 興味・関心がない	198	17.1%	15.2%
3 特定の人为中心で参加しづらい	104	7.1%	8.0%
4 役員などの負担が大きい	143	8.5%	11.0%
5 他にやりたいことがある	117	6.9%	9.0%
6 参加するメリットを感じない	124	6.2%	9.5%
7 参加する方法がわからない・情報がない	150	9.8%	11.5%
8 その他	108	9.8%	8.3%
(R2のみ) 参加したい活動がない	—	7.1%	—
合計	1,301	100.0%	100.0%

(2) 回答人数の割合



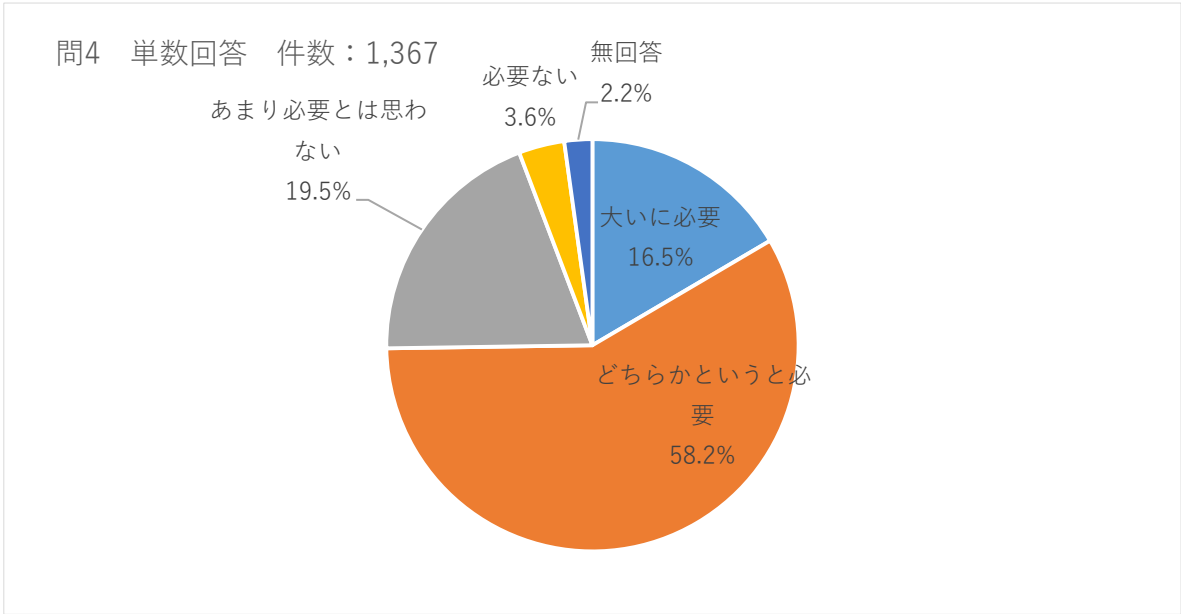
【その他自由記述】

- ・健康上の問題（病気、体調不良、高齢のため）
- ・何年も自治会活動を行ってきたため 等

回答人数に占める割合では、「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」が 46.4%で最も多く、時間的制約が参加を妨げる主な要因となっている。次いで「興味・関心がない」「参加する方法がわからない・情報がない」「役員などの負担が大きい」が続いており、関心の低さに加え、情報不足や負担感が要因として挙げられている。

問4 地域団体の活動について、どのような感想をお持ちですか。【〇はひとつ】

集計結果	R7回答数	R2割合	R7割合
1 大いに必要	226	15.0%	16.5%
2 どちらかという必要	796	17.9%	58.2%
3 あまり必要とは思わない	266	7.4%	19.5%
4 必要ない	49	—	3.6%
(R2のみ) ある程度は必要	—	55.4%	—
無回答	30	4.3%	2.2%
合計	1,367	100.0%	100.0%

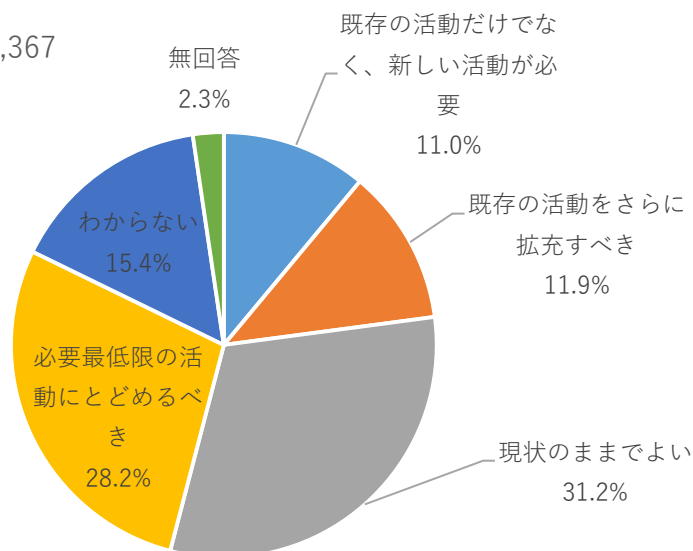


令和2年度と令和7年度を比較すると、地域団体の活動を「必要」と捉える回答は増加しており、住民の活動意義に対する認識は高まっていると評価できる。特に令和7年度は「どちらかという必要」が58.2%と最も多く、前向きな受け止めが広がっている。一方で、「あまり必要とは思わない」「必要ない」も一定数みられ、活動の必要性の認識や情報発信などが課題となっている。

問5 地域団体の活動は今後どうあるべきだとお考えですか。【〇はひとつ】

集計結果	R7回答数	R2割合	R7割合
1 既存の活動だけでなく、新しい活動が必要	151	10.6%	11.0%
2 既存の活動をさらに拡充すべき	162	11.4%	11.9%
3 現状のままでよい	426	28.0%	31.2%
4 必要最低限の活動にとどめるべき	385	26.8%	28.2%
5 わからない	211	16.1%	15.4%
無回答	32	4.9%	2.3%
(R2のみ) その他	—	2.2%	—
合計	1,367	100.0%	100.0%

問5 単数回答 件数：1,367



令和 2 年度と令和 7 年度を比較すると、「現状のままでよい」「必要最低限の活動にとどめるべき」がいずれも 3 割前後を占めており、活動拡大よりも現状維持を望む傾向がうかがえる。一方で、「新しい活動が必要」「既存の活動をさらに拡充すべき」も一定数あり、地域活動への期待は残されている。

問 6 問 5 で 1 又は 2 に○をつけた方のみお答えください。

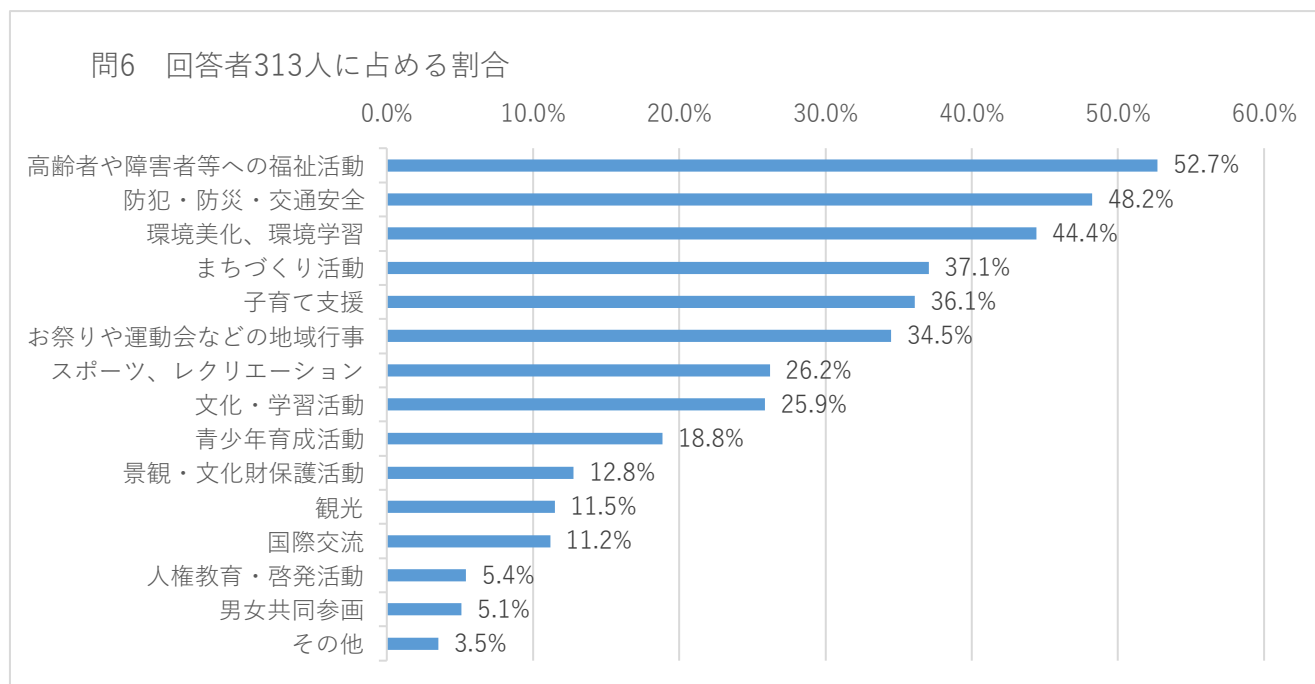
地域団体は、どのような分野において新たな活動や拡充をしていくべきだとお考えですか。

【○はいくつでも可】

(1) 回答数の割合

集計結果	R7 回答数	R7 割合
1 環境美化、環境学習	139	11.9%
2 文化・学習活動	81	6.9%
3 お祭りや運動会などの地域行事	108	9.2%
4 スポーツ、レクリエーション	82	7.0%
5 防犯・防災・交通安全	151	12.9%
6 青少年育成活動	59	5.0%
7 高齢者や障害者等への福祉活動	165	14.1%
8 まちづくり活動	116	9.9%
9 子育て支援	113	9.7%
10 人権教育・啓発活動	17	1.5%
11 男女共同参画	16	1.4%
12 景観・文化財保護活動	40	3.4%
13 国際交流	35	3.0%
14 観光	36	3.1%
15 その他	11	0.9%
合計	1,169	100.0%

(2) 回答人数の割合



【その他自由記述】

- ・ 独居老人に対して社会参加が出来る場所の提供
- ・ 交流の場があればいいなと思う
- ・ 具体的な活動を増やすと家庭に負担がかかる

回答人数に占める割合では、「高齢者や障害者等への福祉活動」が52.7%で最も多く、次いで「防犯・防災・交通安全」48.2%、「環境美化、環境学習」44.4%と続いた。生活の安心・安全に直結する分野への関心が高く、「まちづくり活動」や「子育て支援」も多いことから、地域課題に応じた実践的な活動の充実が求められている。

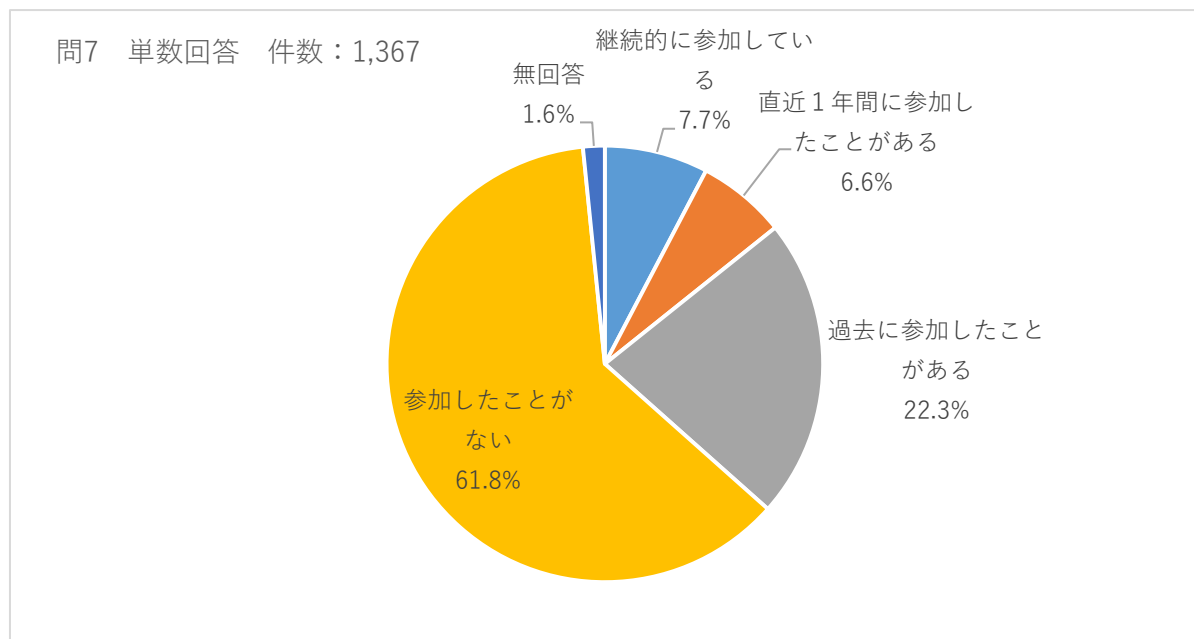
II ボランティア活動や NPO への関わりについて

問7 ボランティア活動や NPO 活動に参加されたことがありますか。【〇はひとつ】

集計結果	R7 回答数	R7 割合
1 継続的に参加している	105	7.7%
2 直近1年間に参加したことがある	90	6.6%
3 過去に参加したことがある	305	22.3%
4 参加したことがない	845	61.8%
無回答	22	1.6%
合計	1,367	100.0%

※参考（R2 調査）

集計結果	R2 回答数	R2 割合
1 参加している	92	8.0%
2 参加したことがある	176	15.3%
3 参加したことがない	809	70.1%
無回答	77	6.7%
合計	1,154	100.1%



NPO・ボランティア活動への参加経験者は、令和2年度の23.3%から令和7年度は36.6%へ13.3ポイント増加した。一方、「参加したことがない」は70.1%から61.8%へ減少し、参加の広がりが見られる。

問8 問7で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

直近1年間でボランティア活動やNPO活動に参加された日数をお答えください。【○はひとつ】

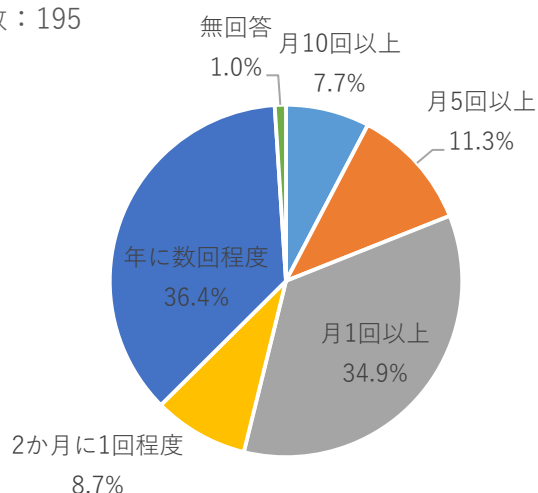
集計結果	R7 回答数	R7 割合
1 月10回以上	15	7.7%
2 月5回以上	22	11.3%
3 月1回以上	68	34.9%
4 2か月に1回程度	17	8.7%
5 年に数回程度	71	36.4%
無回答	2	1.0%
合計	195	100.0%

※参考(R2 調査)

ボランティア活動やNPO活動に「参加している」または「参加したことがある」と回答した方に対して、ここ一年間に参加された日数について聞いたもの

集計結果	R2 回答数	R2 割合
1 120日以上	11	3.9%
2 60日～119日	13	4.6%
3 12日～59日	54	19.2%
4 6日～11日	34	12.1%
5 3～5日	48	17.1%
6 1～2日	57	20.3%
7 参加なし	50	17.8%
8 無回答	14	5.0%
合計	281	100.0

問8 単数回答 件数：195

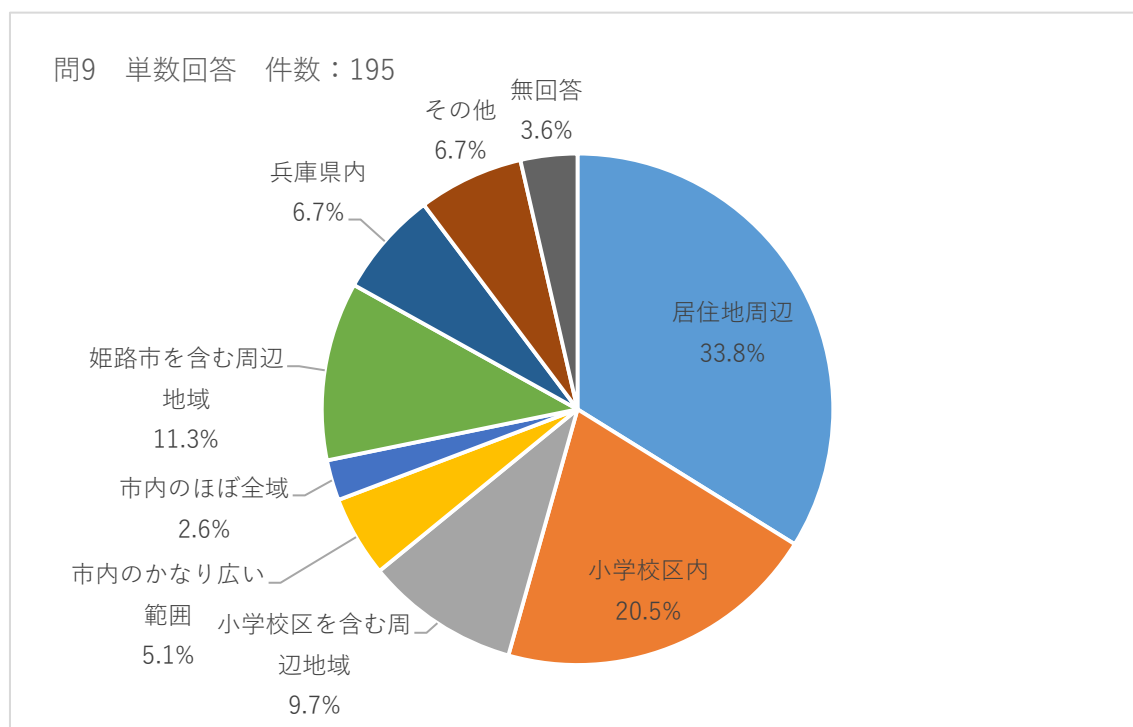


令和2年度は、直近1年間の参加日数を尋ねており、12日以上参加した人は27.7%、6日以上は39.8%、1日以上は77.2%であった一方、令和7年度は参加頻度を尋ねており、月1回以上参加した人は53.8～53.9%、2か月に1回程度以上は62.5～62.6%、年に数回以上参加した人は99.0%であった。質問形式と選択肢が異なるため厳密な比較はできないが、概ね令和7年度の方が、直近1年間に参加している人、特に比較的高い頻度で参加している人の割合が高い結果となっている。

問9 問7で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

ボランティア活動や NPO 活動を主にどの範囲で行われていますか。【○はひとつ】

集計結果	R7回答数	R7割合
1 居住地周辺	66	33.8%
2 小学校区内	40	20.5%
3 小学校区を含む周辺地域	19	9.7%
4 市内のかなり広い範囲	10	5.1%
5 市内のほぼ全域	5	2.6%
6 姫路市を含む周辺地域	22	11.3%
7 兵庫県内	13	6.7%
8 その他	13	6.7%
無回答	7	3.6%
合計	195	100.0%



令和7年度は、活動範囲として「居住地周辺」が33.8%で最も多く、次いで「小学校区内」が20.5%であった。小学校区を含む周辺地域まで合わせると64.0%を占め、身近な地域を中心に活動していることが分かる。

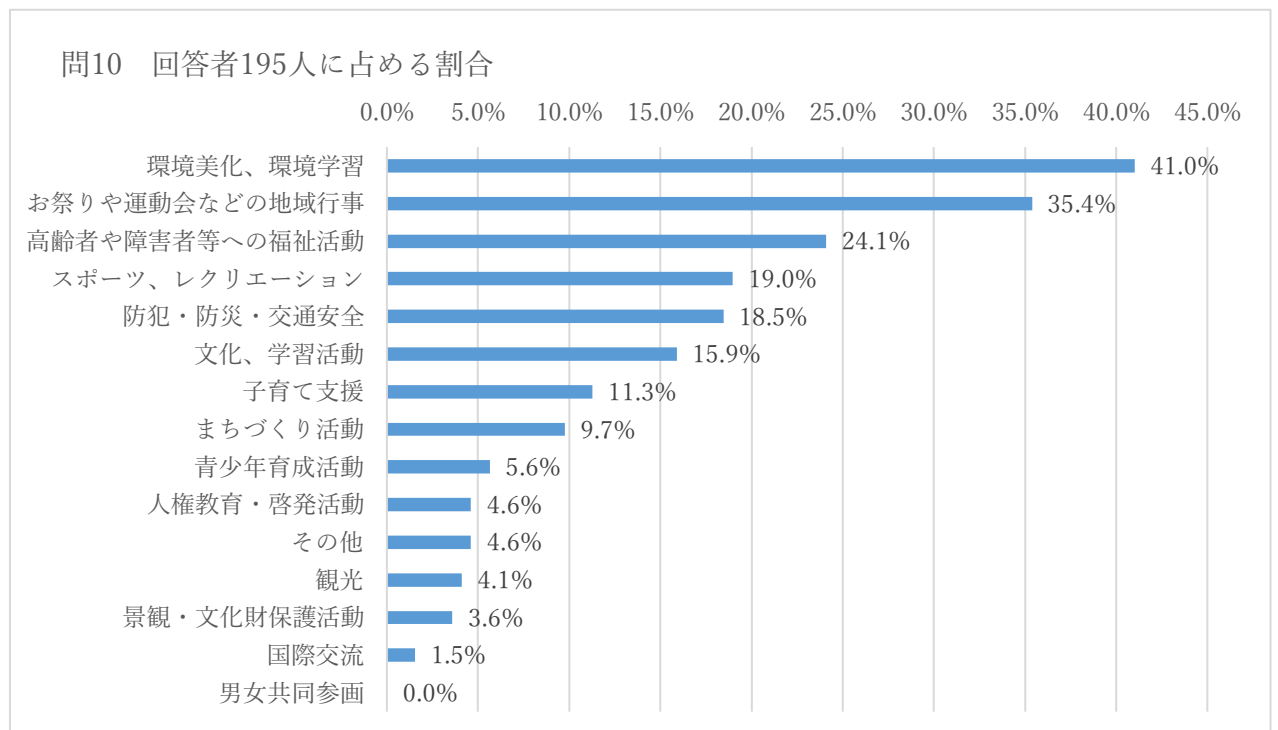
問10 問7で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

どのような分野のボランティア活動・NPO活動に参加されていますか。【○はいくつでも可】

(1) 回答数の割合

集計結果	R7 回答数	R7 割合
1 環境美化、環境学習	80	20.6%
2 文化、学習活動	31	8.0%
3 お祭りや運動会などの地域行事	69	17.8%
4 スポーツ、レクリエーション	37	9.5%
5 防犯・防災・交通安全	36	9.3%
6 青少年育成活動	11	2.8%
7 高齢者や障害者等への福祉活動	47	12.1%
8 まちづくり活動	19	4.9%
9 子育て支援	22	5.7%
10 人権教育・啓発活動	9	2.3%
11 男女共同参画	0	0.0%
12 景観・文化財保護活動	7	1.8%
13 国際交流	3	0.8%
14 観光	8	2.1%
15 その他	9	2.3%
合計	388	100.0%

(2) 回答した人数の割合



【その他自由記述】

- ・動物愛護
- ・イベント補助等

参加している活動は、「環境美化・環境学習」が41.0%で最も多く、次いで「お祭りや運動会などの地域行事」が35.4%、「高齢者や障害者等への福祉活動」が24.1%となっている。身近な環境・地域活動への参加が中心である。

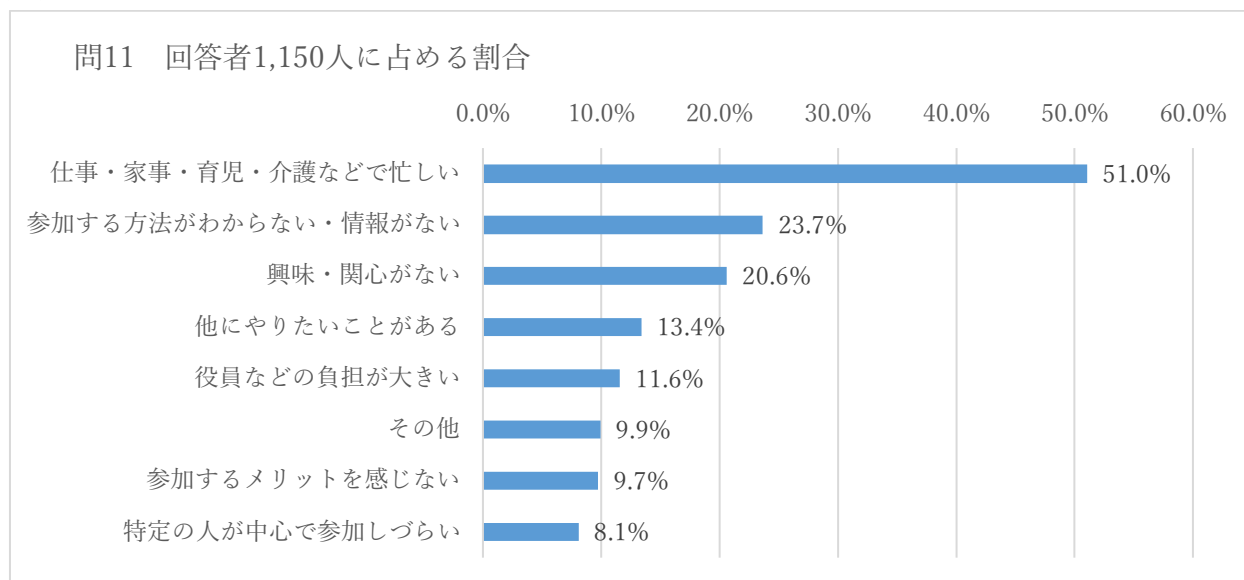
問11 問7で3又は4に○をつけた方のみお答えください。

現在ボランティア活動やNPO活動に参加されていないのはなぜですか。【○はいくつでも】

(1) 回答数による回答割合

集計結果	R7回答数	R7割合
1 仕事・家事・育児・介護などで忙しい	587	34.5%
2 興味・関心がない	237	13.9%
3 特定の人为中心で参加しづらい	93	5.5%
4 役員などの負担が大きい	133	7.8%
5 他にやりたいことがある	154	9.0%
6 参加するメリットを感じない	112	6.6%
7 参加する方法がわからない・情報がない	272	16.0%
8 その他	114	6.7%
合計	1,702	100.0%

(2) 回答人数に占める割合



【その他自由記述】

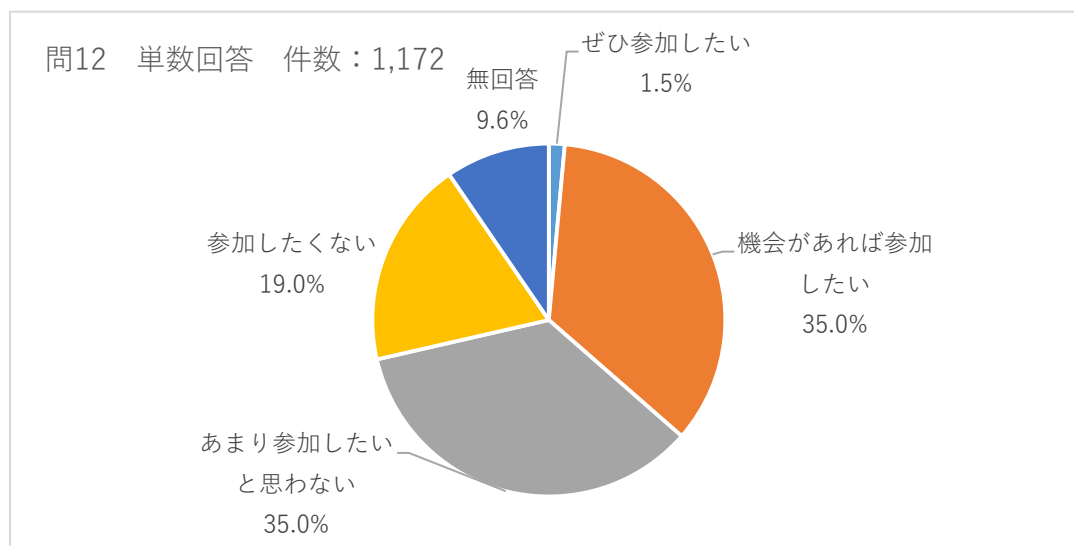
- ・健康上の問題（病気、体調不良、高齢のため）
- ・自己満足な団体が多い
- ・地域活動メインで活動しているため、時間の確保がしづらい 等

参加していない理由は、「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」が51.0%で最も多く、次いで「参加する方法がわからない・情報がない」が23.7%、「興味・関心がない」が20.6%であった。時間的制約や情報不足が主な要因となっている。

問12 問7で3又は4に○をつけた方のみお答えください。

今後、ボランティア活動やNPO活動に参加したいと思われますか、【○はひとつ】

集計結果	回答数	割合
1 ぜひ参加したい	17	1.5%
2 機会があれば参加したい	410	35.0%
3 あまり参加したいと思わない	410	35.0%
4 参加したくない	223	19.0%
無回答	112	9.6%
合計	1,172	100.0%



今後の参加意向は、「機会があれば参加したい」が35.0%で最も多く、「ぜひ参加したい」の1.5%と合わせると、参加に前向きな人は36.5%であった。一方、「あまり参加したいと思わない」も35.0%を占め、意向が分かれる結果となった。

問13 問12で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

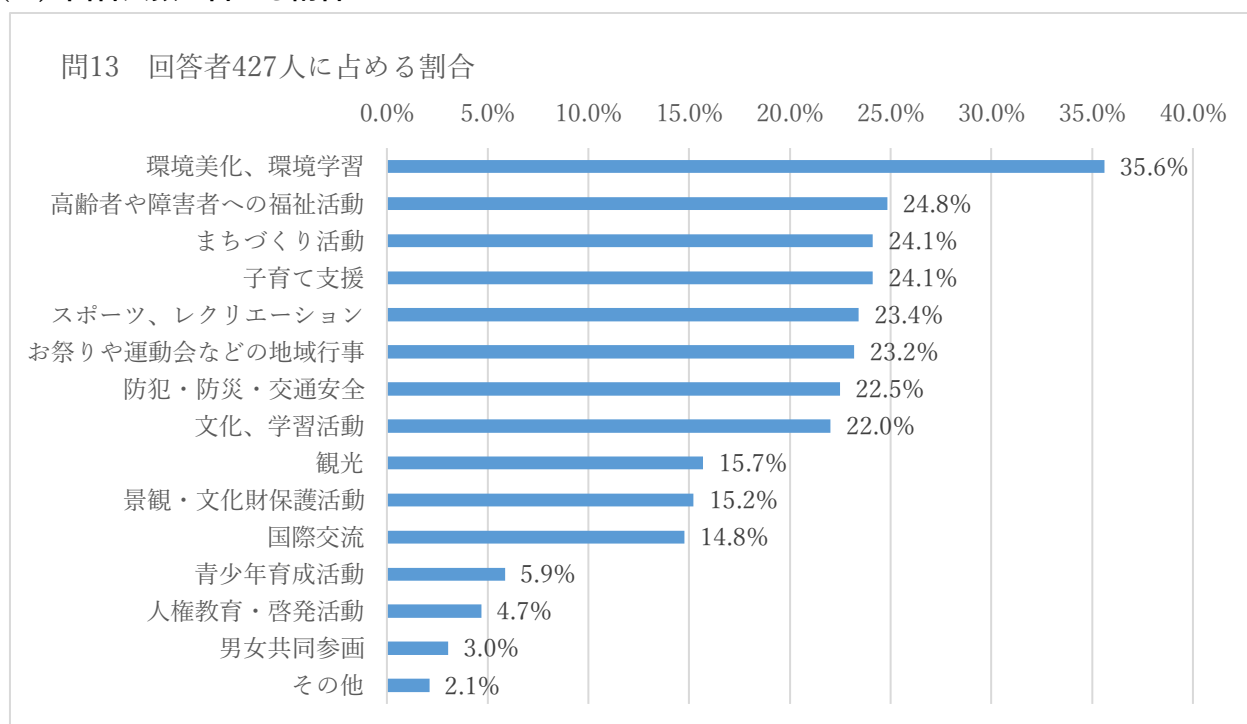
今後、ボランティア活動やNPO活動に参加するとすれば、どのような分野の活動に参加してみたいですか。【○はいくつでも可】

(1) 回答数による割合

集計結果	回答数	割合
1 環境美化、環境学習	152	13.6%
2 文化、学習活動	94	8.4%

3	お祭りや運動会などの地域行事	99	8.9%
4	スポーツ、レクリエーション	100	9.0%
5	防犯・防災・交通安全	96	8.6%
6	青少年育成活動	25	2.2%
7	高齢者や障害者への福祉活動	106	9.5%
8	まちづくり活動	103	9.2%
9	子育て支援	103	9.2%
10	人権教育・啓発活動	20	1.8%
11	男女共同参画	13	1.2%
12	景観・文化財保護活動	65	5.8%
13	国際交流	63	5.7%
14	観光	67	6.0%
15	その他	9	0.8%
合計		1,115	100.0%

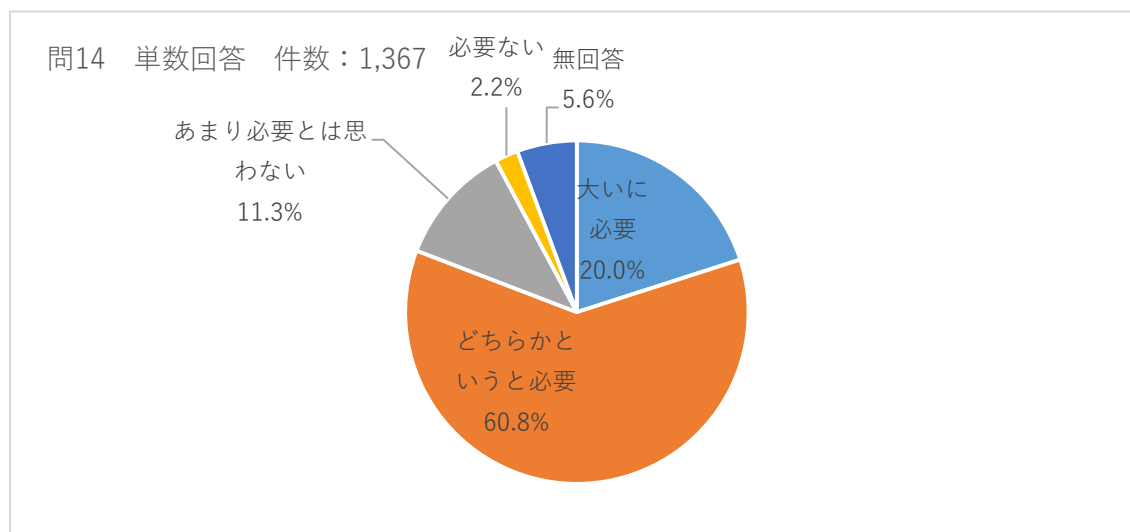
(2) 回答人数に占める割合



今後参加してみたい活動分野は、「環境美化、環境学習」が 35.6%で最も多く、次いで「高齢者や障害者への福祉活動」が 24.8%、「まちづくり活動」「子育て支援」がともに 24.1%となった。また、「スポーツ、レクリエーション」23.4%、「お祭りや運動会などの地域行事」23.2%、「防犯・防災・交通安全」22.5%なども一定の関心を集めており、環境や福祉をはじめ、地域に密着した活動への参加意向が幅広く示されている。

問 14 ボランティア活動や NPO 活動について、どのような感想をお持ちですか。【〇はひとつ】

集計結果	回答数	割合
1 大いに必要	274	20.0%
2 どちらかという必要	831	60.8%
3 あまり必要とは思わない	155	11.3%
4 必要ない	30	2.2%
無回答	77	5.6%
	1,367	



ボランティア活動や NPO 活動について、「大いに必要」と「どちらかという必要」を合わせると 80.8%を占め、多くの人が必要性を感じている。一方、「あまり必要とは思わない」は 11.3%、「必要ない」は 2.2%にとどまり、活動の意義が広く認識されている。

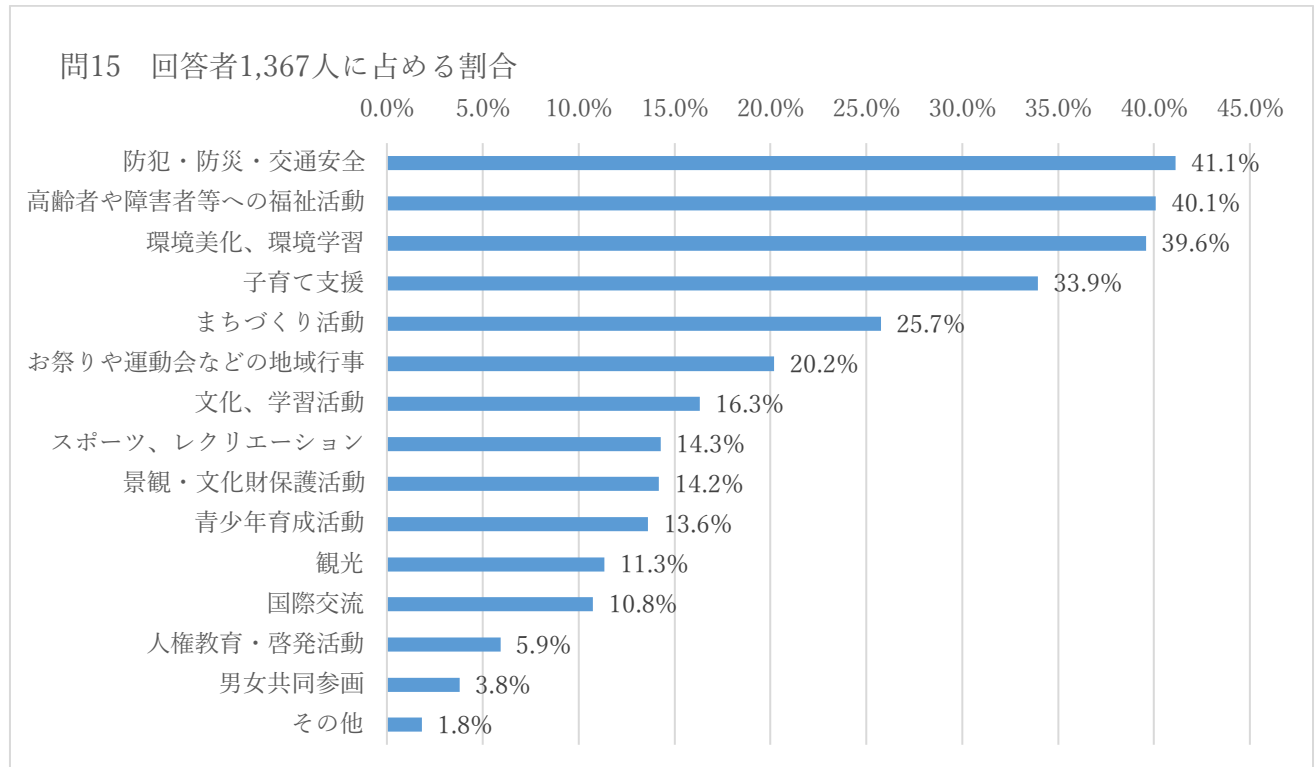
問 15 ボランティア活動や NPO 活動に期待する分野をお選びください【〇はいくつでも可】

(1) 回答数による割合

集計結果	R7 回答数	R7 割合
1 環境美化、環境学習	541	13.5%
2 文化、学習活動	223	5.6%
3 お祭りや運動会などの地域行事	276	6.9%
4 スポーツ、レクリエーション	195	4.9%
5 防犯・防災・交通安全	562	14.0%
6 青少年育成活動	186	4.6%
7 高齢者や障害者等への福祉活動	548	13.7%
8 まちづくり活動	352	8.8%
9 子育て支援	464	11.6%
10 人権教育・啓発活動	81	2.0%
11 男女共同参画	52	1.3%

1 2	景観・文化財保護活動	194	4.8%
1 3	国際交流	147	3.7%
1 4	観光	155	3.9%
1 5	その他	25	0.6%
合計		4,001	100.0%

(2) 回答人数に占める割合



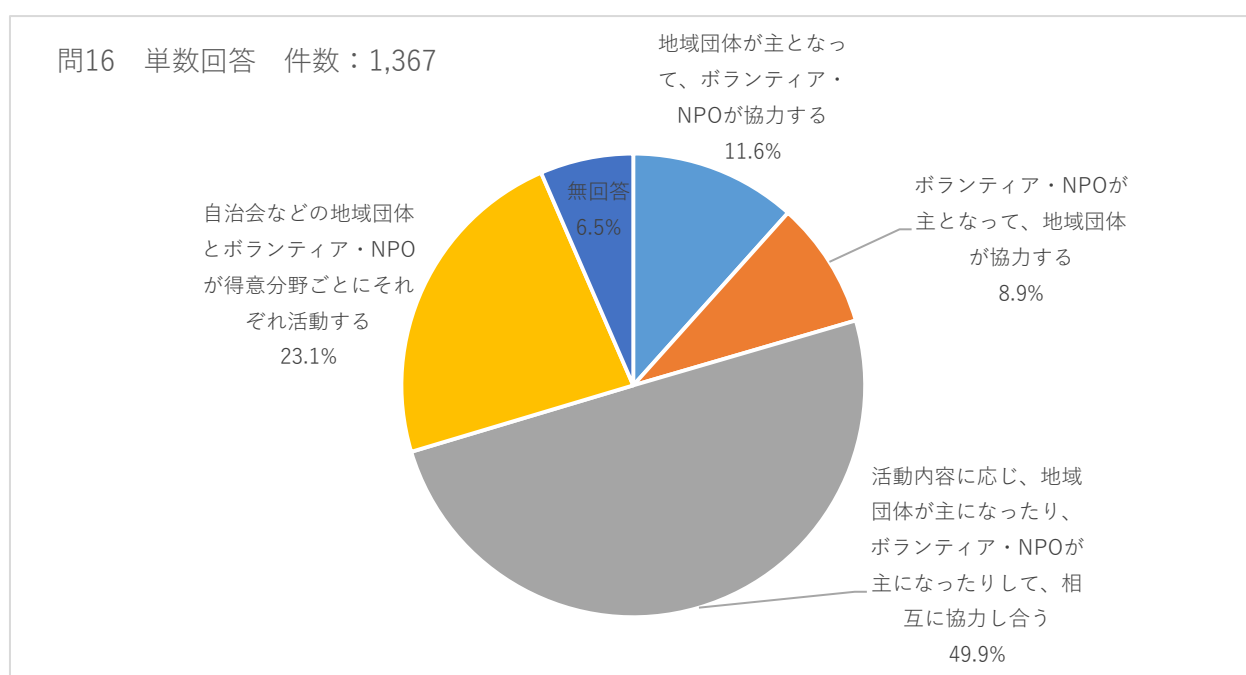
【その他自由記述】

- ・地域の介護予防や独居老人の見守り
- ・保護犬、保護猫活動 他

ボランティア活動やNPO活動に期待する分野は、「防犯・防災・交通安全」が41.1%で最も高く、次いで「高齢者や障害者等への福祉活動」40.1%、「環境美化・環境学習」39.6%となった。また、「子育て支援」33.9%、「まちづくり活動」25.7%も一定の期待を集めている。安全・福祉・環境に加え、子育てなど、暮らしに密着した分野への期待が特に大きい。

問 16 これからのまちづくりでは、自治会などの地域団体とボランティア・NPO がどのように役割分担をすることがよいと思われますか。【〇はひとつ】

集計結果	R7 回答数	R2 割合	R7 割合
1 地域団体が主となって、ボランティア・NPO が協力する	159	9.0%	11.6%
2 ボランティア・NPO が主となって、地域団体が協力する	121	7.3%	8.9%
3 活動内容に応じ、地域団体が主になったり、ボランティア・NPO が主になったりして、相互に協力し合う	682	52.0%	49.9%
4 自治会などの地域団体とボランティア・NPO が得意分野ごとにそれぞれ活動する	316	23.7%	23.1%
5 無回答	89	8.1%	6.5%
合計	1,367	100.1%	100.0%



これからのまちづくりにおける役割分担は、令和2年度、令和7年度ともに「活動内容に応じて、地域団体とボランティア・NPO が相互に協力する」が最も多かった。令和7年度は49.9%で、R2年度の52.0%から2.1ポイント減少した。一方、「地域団体が主となって協力する」は9.0%から11.6%へ、「ボランティア・NPO が主となって協力する」は7.3%から8.9%へ増加した。相互協力を基本としつつ、役割に応じた柔軟な分担を求める傾向がみられる。

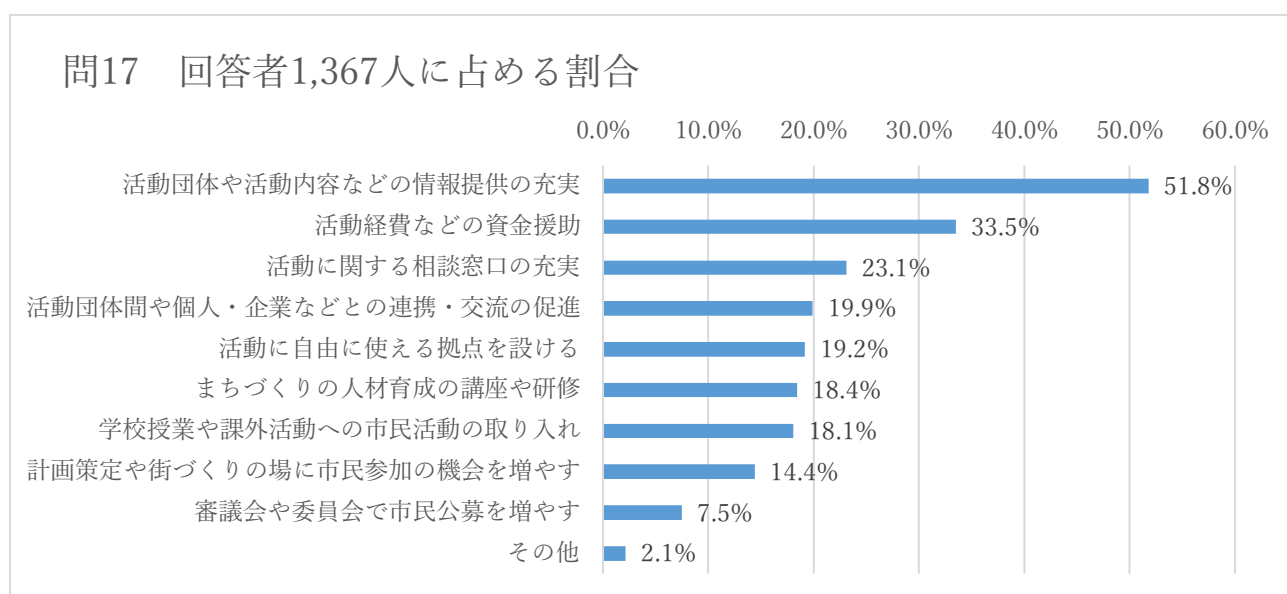
問 17 市民活動を行うにあたり、重要と思われるものをお選びください。【〇はいくつでも】

(1) 回答数に占める割合

集計結果	R7 回答数	R7 割合
1 活動団体や活動内容などの情報提供の充実	708	24.9%
2 活動に関する相談窓口の充実	316	11.1%
3 審議会や委員会で市民公募を増やす	102	3.6%

4	活動に自由に使える拠点を設ける	262	9.2%
5	まちづくりの人材育成の講座や研修	252	8.9%
6	活動経費などの資金援助	458	16.1%
7	計画策定や街づくりの場に市民参加の機会を増やす	197	6.9%
8	学校授業や課外活動への市民活動の取り入れ	247	8.7%
9	活動団体間や個人・企業などとの連携・交流の促進	272	9.6%
10	その他	29	1.0%
合計		2,814	100.0%

(2) 回答人数に占める割合



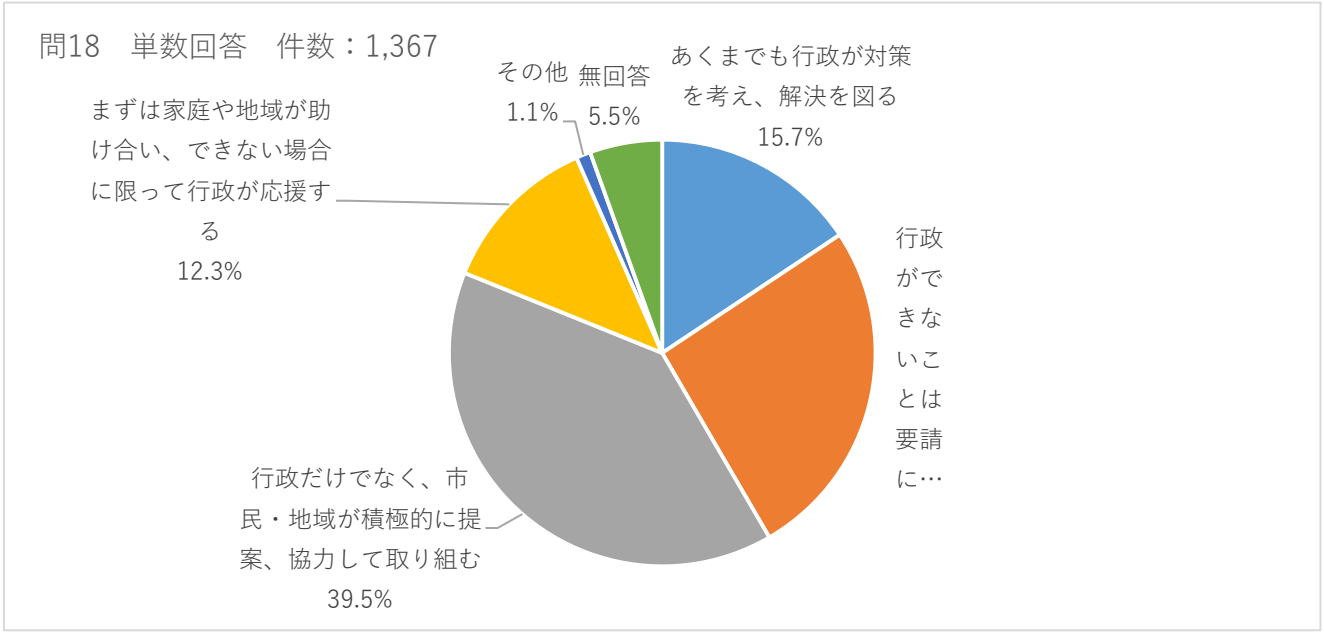
【その他自由記述】

- ・活動が生活の負担にならないこと
- ・参加／不参加の自由を保障すること。世間の目も含めて 等

市民活動を行う上で重要なものは、「活動団体や活動内容などの情報提供」が 51.8%で最も高く、次いで「活動経費などの資金援助」33.5%、「活動に関する相談窓口の充実」23.1%となった。また、団体・個人・企業等の連携、活動拠点の整備、人材育成への期待もみられ、情報提供を中心に、資金面や相談体制の充実が求められている。

問 18 地域の問題解決のために、行政と市民はどうあるべきだと思いますか【〇はひとつ】

集計結果	R7 回答数	R2 割合	R7 割合
1 あくまでも行政が対策を考え、解決を図る	214	9.4%	15.7%
2 行政ができないことは要請に応じて市民も協力していく	355	20.9%	26.0%
3 行政だけでなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む	540	51.0%	39.5%
4 まずは家庭や地域が助け合い、できない場合に限って行政が応援する	168	12.0%	12.3%
5 その他	15	—	1.1%
無回答	75	6.8%	5.5%
合計	1,367	100.1%	100.0%



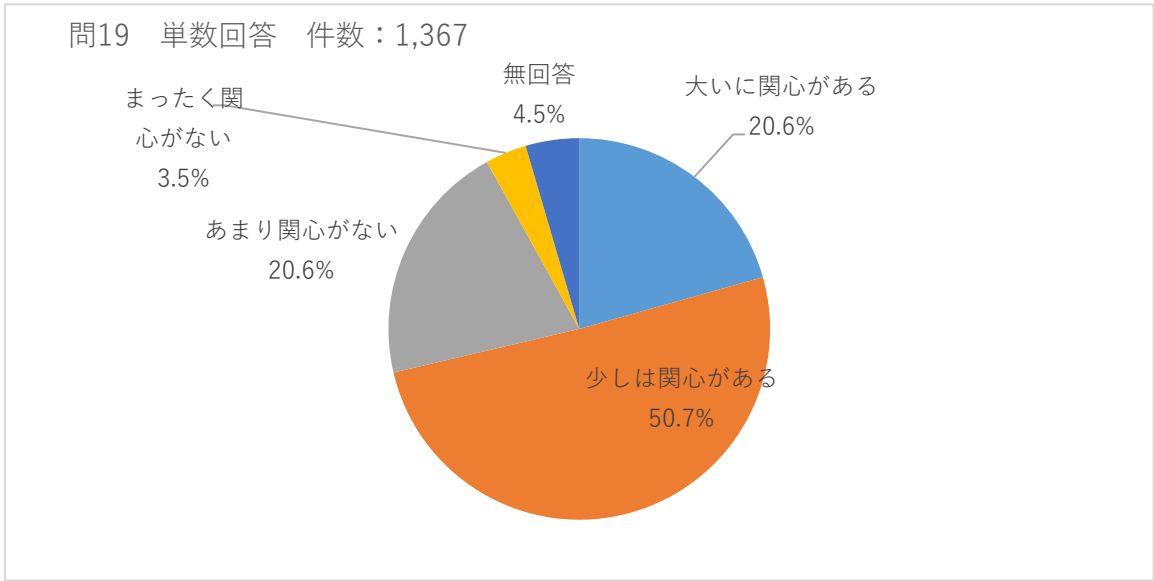
- 【その他自由記述】
- ・あくまでも行政が勧めてほしい。市民には意見を聞く。協力出来る市民はする
 - ・行政の範疇、市民の範疇と縦割りするのではなく、お互い気づいたことをやっていく
 - ・わからない 他

令和2年度と令和7年度を比較すると、「行政だけでなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む」は51.0%から39.5%へ11.5ポイント減少した。一方、「行政が対策を考え解決する」は6.3ポイント、「行政ができないことに市民も協力する」は5.1ポイント増加した。全体として、市民・地域の主体的な取り組みより、行政の役割や行政との協力を重視する傾向が強まった。

III 市政への関わりについて

問 19 市役所がどのような仕事をしているか、どのような計画を立てているか関心をお持ちですか。
【〇はひとつ】

集計結果	R7 回答数	R2 割合	R7 割合
1 大いに関心がある	282	21.1%	20.6%
2 少しは関心がある	693	49.5%	50.7%
3 あまり関心がない	282	20.5%	20.6%
4 まったく関心がない	48	4.9%	3.5%
無回答	62	3.3%	4.5%
合計	1,367	99.9%	100.0%

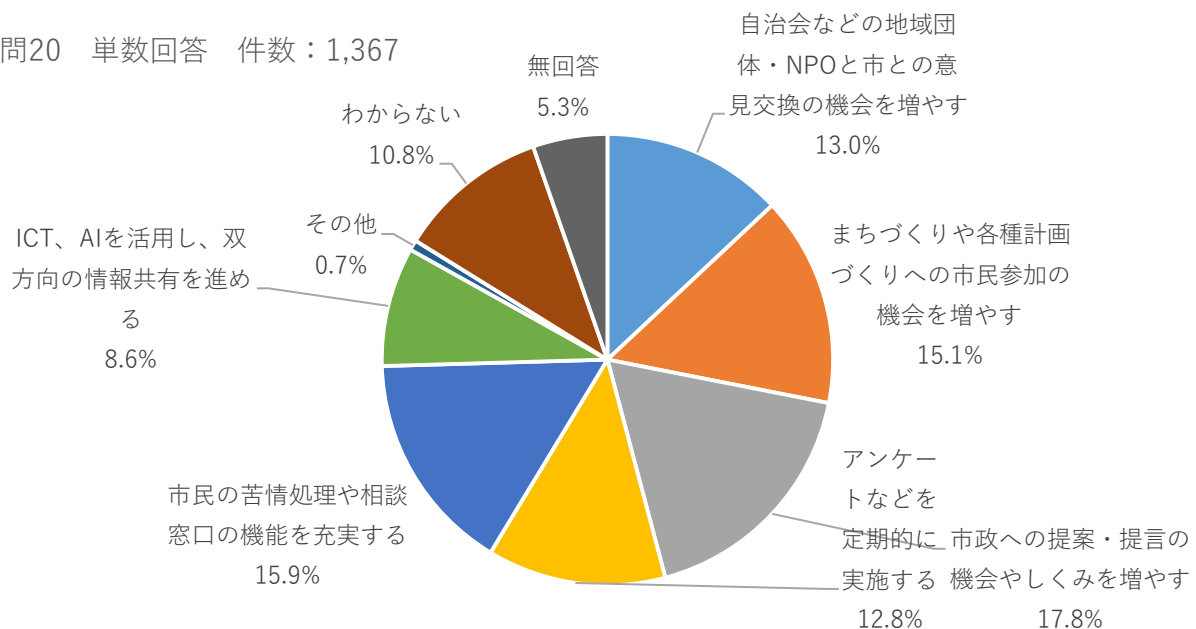


令和 2 年度と令和 7 年度を比較すると、市役所の仕事や計画に「大いに関心がある」は 21.1%から 20.6%へ微減した。一方、「少しは関心がある」は 49.5%から 50.7%へ増加し、関心がある人の割合は 70.6%から 71.3%へわずかに上昇した。全体として、関心度はおおむね横ばいである。

問 20 市民の声を市政に反映していくためには、どのようなことが大切でしょうか【〇はひとつ】

集計結果	R7 回答数	R2 割合	R7 割合
1 自治会などの地域団体・NPO と市との意見交換の機会を増やす	178	13.8%	13.0%
2 まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす	206	14.0%	15.1%
3 市政への提案・提言の機会やしくみを増やす	243	19.2%	17.8%
4 アンケートなどを定期的に実施する	175	14.6%	12.8%
5 市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する	217	13.3%	15.9%
6 ICT、AI を活用し、双方向の情報共有を進める	117	8.8%	8.6%
7 その他	10	1.3%	0.7%
8 わからない	148	8.7%	10.8%
無回答	73	6.3%	5.3%
合計	1,367	100.0%	100.0%

問20 単数回答 件数：1,367



【その他自由記述】

- ・担当部署の職員が現場をよく訪れて、市民と会話し、要望を真剣に受け止めること
- ・アクション→報告までの時間を短縮する
- ・市民に不利な情報ほど隠さずに率先して開示する 等

令和2年度と令和7年度を比較すると、「市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する」が13.3%から15.9%へ増加し、最も高い割合となった。また、「まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす」は14.0%から15.1%へ微増した。一方、「市政への提案・提言の機会」や「定期的なアンケート」は減少し、相談機能の充実を求める傾向が強まった。

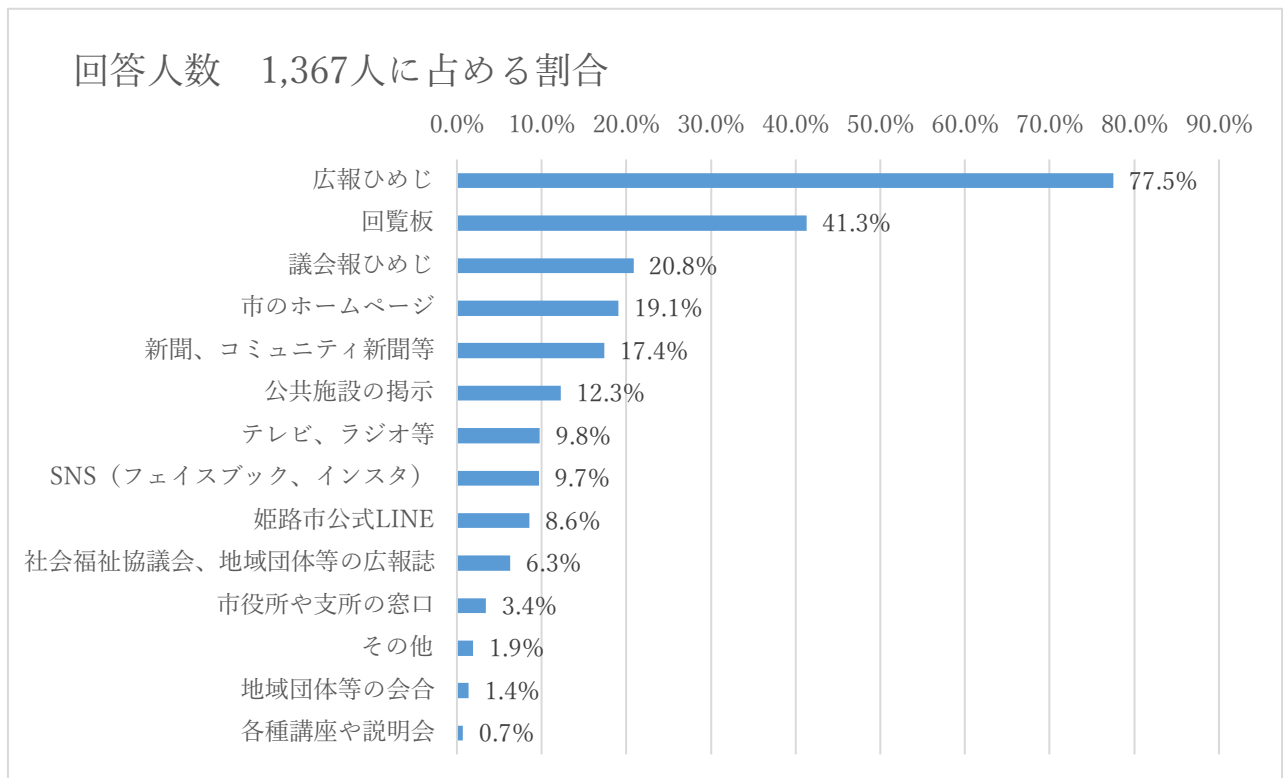
問21 どのような方法で市政情報を入手されていますか。【〇はいくつでも可】

(1) 回答数の割合

集計結果	R7 回答数	R7 割合
1 広報ひめじ	1,060	33.7%
2 議会報ひめじ	285	9.1%
3 市のホームページ	261	8.3%
4 市役所や支所の窓口	47	1.5%
5 公共施設の掲示	168	5.3%
6 回覧板	565	17.9%
7 テレビ、ラジオ等	134	4.3%
8 新聞、コミュニティ新聞等	238	7.6%
9 各種講座や説明会	10	0.3%
10 SNS（フェイスブック、Instagram、X等）	132	4.2%
11 姫路市公式LINE	117	3.7%
12 社会福祉協議会、地域団体等の広報誌	86	2.7%
13 地域団体等の会合	19	0.6%
14 その他	26	0.8%

合計	3,148	100.0%
----	-------	--------

(2) 回答人数に占める割合



【その他自由記述】

- ・人づてに聞く
- ・配布チラシ 等

市政情報の入手方法は、「広報ひめじ」が77.5%で最も多く、次いで「回覧板」が41.3%、「議会報ひめじ」が20.8%、「市のホームページ」が19.1%となった。新聞・コミュニティ紙、公共施設の掲示、テレビ・ラジオ、SNSなども利用されており、紙媒体を中心に多様な手段が活用されている。

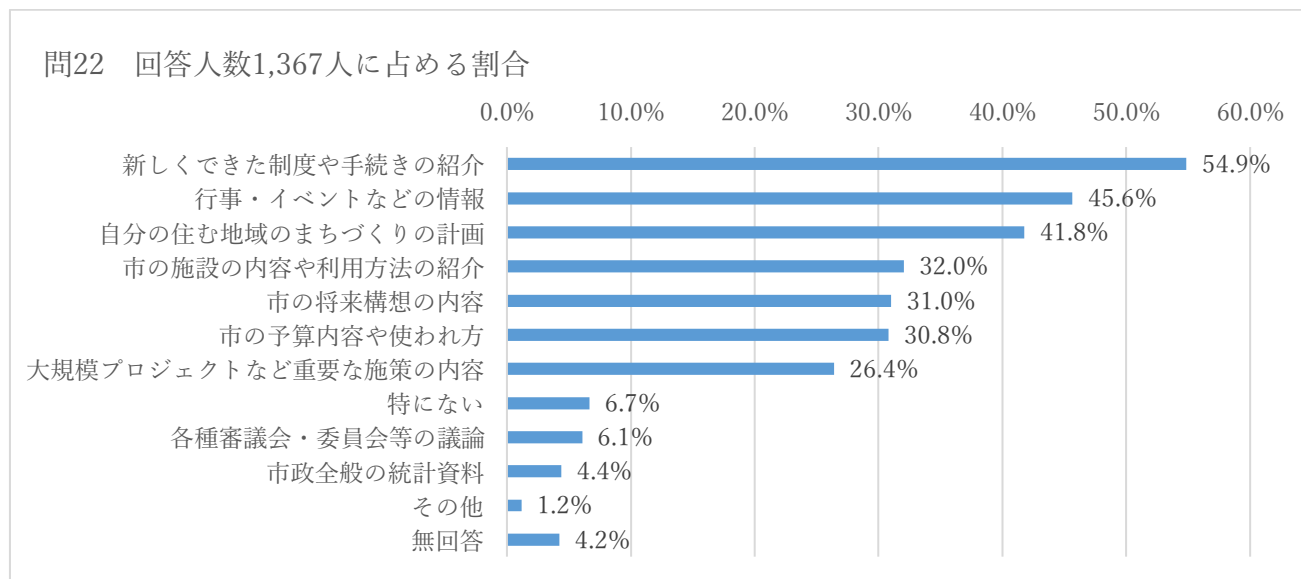
問 22 市政についてどのようなことをお知りになりたいですか。【〇はいくつでも可】

(1) 回答数に占める割合

集計結果	回答数	割合
1 市の将来構想の内容	424	11.0%
2 大規模プロジェクトなど重要な施策の内容	361	9.4%
3 市の予算内容や使われ方	421	11.0%
4 各種審議会・委員会等の議論	83	2.2%
5 自分の住む地域のまちづくりの計画	571	14.9%
6 新しくできた制度や手続きの紹介	750	19.5%
7 市の施設の内容や利用方法の紹介	438	11.4%
8 行事・イベントなどの情報	624	16.3%
9 市政全般の統計資料	60	1.6%
10 その他	16	0.4%

1 1 特にない	91	2.4%
合計	3,839	100.0%

(2) 回答人数に占める割合



【その他自由記述】

- ・ 道路や土地の使い方の方向性
- ・ インフラ整備計画
- ・ 市民への補助金制度の詳しい内容提示 等

市政について知りたいことは、「新しくできた制度や手続き」が54.9%で最も多く、次いで「行事・イベントなどの情報」が45.6%、「自分の住む地域のまちづくり」が41.8%となった。また、市の施設の内容や利用方法、市の将来構想、予算や使われ方、大規模プロジェクトへの関心も高く、暮らしに直結する情報が重視されている。

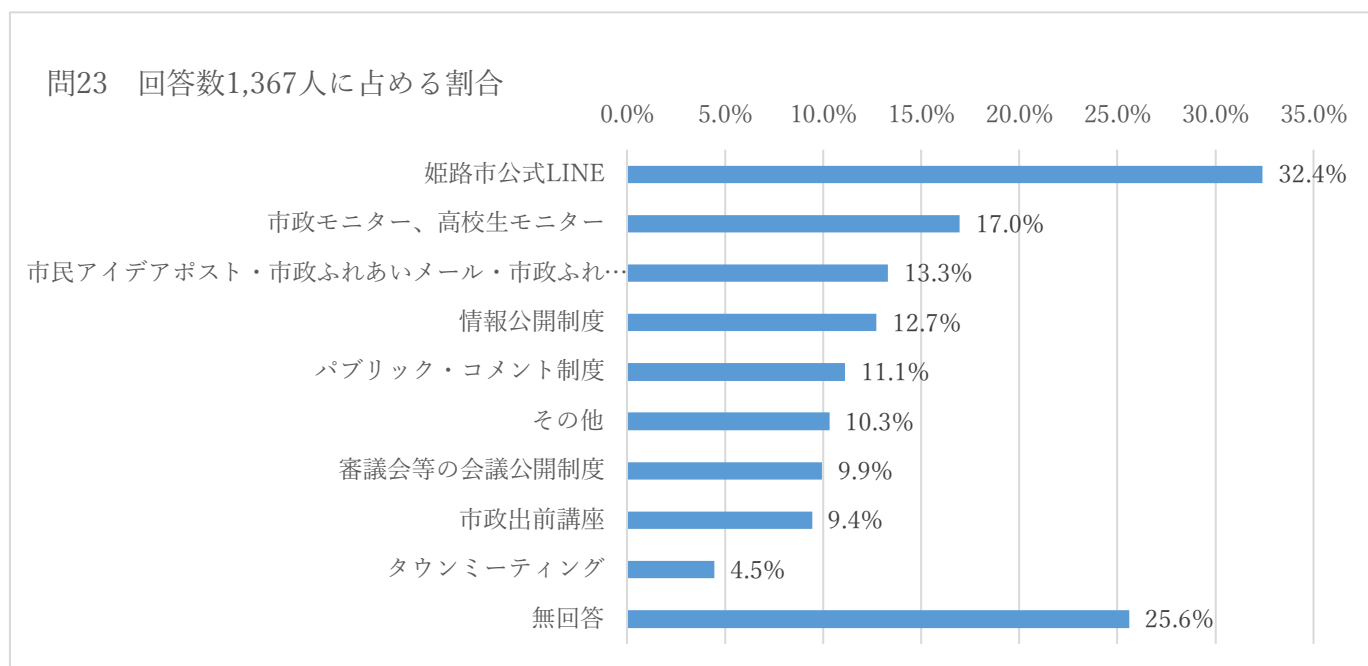
問 23 本市における市民参加のための取組みについて、ご存じのものをお選びください。

【〇はいくつでも可】※市政モニターの回答含む

(1) 回答数に占める割合

集計結果	R7 回答数	割合
1 市民アイデアポスト・市政ふれあいメール・市政ふれあい FAX	182	11.0%
2 姫路市公式 LINE	443	26.8%
3 審議会等の会議公開制度	136	8.2%
4 情報公開制度	174	10.5%
5 市政出前講座	129	7.8%
6 パブリック・コメント制度	152	9.2%
7 タウンミーティング	61	3.7%
8 市政モニター、高校生モニター	232	14.1%
9 その他	141	8.5%
合計	1,650	100.0%

(2) 回答人数に占める割合



【その他自由記述】

- ・全部知らない
- ・各部署が開催する講座

市民参加の取組については、「姫路市公式 LINE」の認知度が 32.4%で最も高く、次いで「市政モニター・高校生モニター」が 17.0%、「市民アイデアポスト等」が 13.3%、「情報公開制度」が 12.7%となりました。一方、「タウンミーティング」は 4.5%で最も低い結果でした。なお、回答者には市政モニターが含まれるため、同制度の認知度は実際より高く表れている可能性がある。

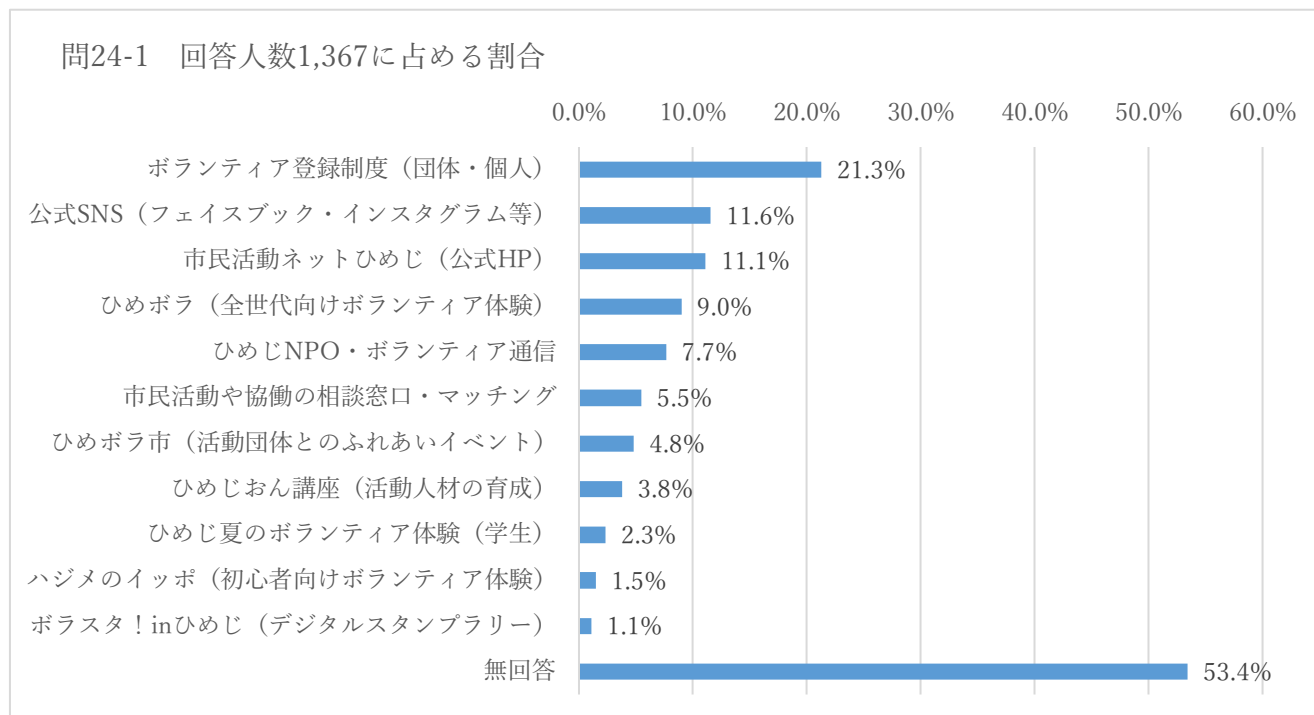
問 24 市民活動に関する取組み、施策等について、ご存じのものをお選びください。【〇はいくつでも可】

《市民活動・ボランティアサポートセンターの取組み》

(1) 回答数に占める割合

集計結果	回答数	割合
1 ボランティア登録制度（団体・個人）	291	27.6%
2 市民活動や協働の相談窓口・マッチング	75	7.1%
3 ひめじ NPO・ボランティア通信	105	10.0%
4 市民活動ネットひめじ（公式 HP）	152	14.4%
5 公式 SNS（フェイスブック・インスタグラム等）	158	15.0%
6 ひめじおん講座（活動人材の育成）	52	4.9%
7 ひめじ夏のボランティア体験（学生）	32	3.0%
8 ひめボラ（全世代向けボランティア体験）	123	11.7%
9 ひめボラ市（活動団体とのふれあいイベント）	66	6.3%
10 ハジメのイッポ（初心者向けボランティア体験）	20	1.9%
11 ボラスト！in ひめじ（デジタルスタンプラリー）	15	1.4%
合計	1,054	100.0%

(2) 回答人数に占める割合



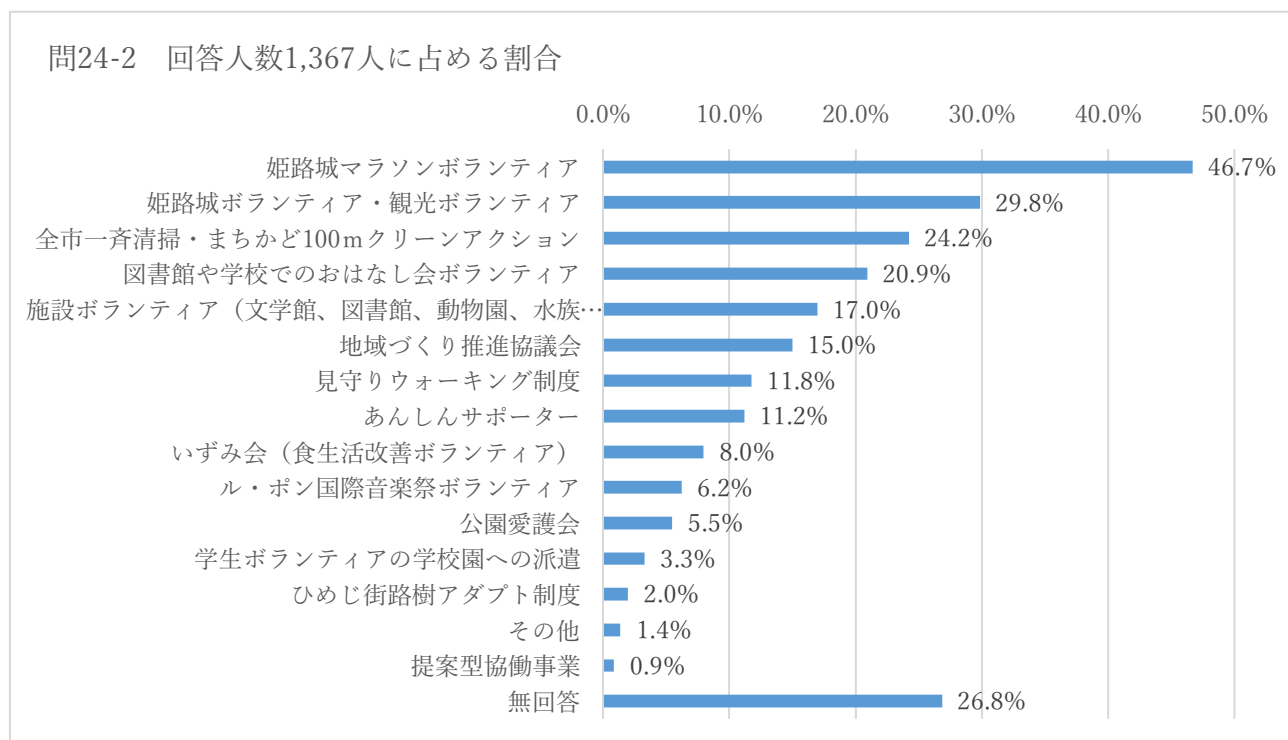
市民活動・ボランティアサポートセンターの取組では、「ボランティア登録制度（団体・個人）」が 21.3% で最も認知度が高く、次いで「公式 SNS」が 11.6%、「市民活動ネットひめじ」11.1%、「ひめボラ」が 9.0%となりました。一方、「ボラスト！in ひめじ」が 1.1%や「ハジメのイッポ」が 1.5%など低い結果となっている。また、無回答（知っている取組がない）は 53.4%に上り、全体として認知度に課題が見られる

問 24 市民活動に関する取組み、施策等について、ご存じのものをお選びください。【〇はいくつでも可】
《その他の市の取組み》

(1) 回答数に占める割合

集計結果	回答数	割合
1 地域づくり推進協議会	205	7.4%
2 提案型協働事業	12	0.4%
3 学生ボランティアの学校園への派遣	45	1.6%
4 見守りウォーキング制度	161	5.8%
5 公園愛護会	75	2.7%
6 図書館や学校でのおはなし会ボランティア	286	10.3%
7 あんしんサポーター	153	5.5%
8 ひめじ街路樹アダプト制度	27	1.0%
9 全市一斉清掃・まちかど 100m クリーンアクション	331	11.9%
10 施設ボランティア（文学館、図書館、動物園、水族館、美術館等）	232	8.3%
11 いずみ会（食生活改善ボランティア）	109	3.9%
12 姫路城マラソンボランティア	638	22.9%
13 ル・ボン国際音楽祭ボランティア	85	3.1%
14 姫路城ボランティア・観光ボランティア	408	14.6%
15 その他	19	0.7%
合計	2,786	100.0%

(2) 回答人数に占める割合

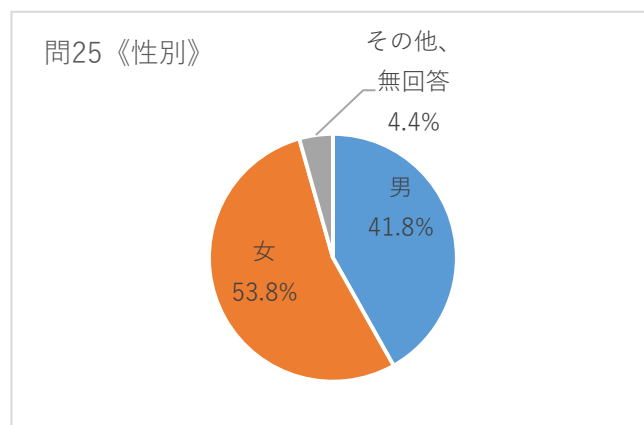


その他の市の取組では、「姫路城マラソンボランティア」が46.7%で最も認知度が高く、次いで「姫路城ボランティア・観光ボランティア」(29.8%)、「全市一斉清掃・まちかど100 kmクリーンアクション」(24.2%)となりました。一方、「提案型協働事業」(0.9%)が最も低い結果でした。無回答は(26.8%)で、取組によって認知度に差が見られている。

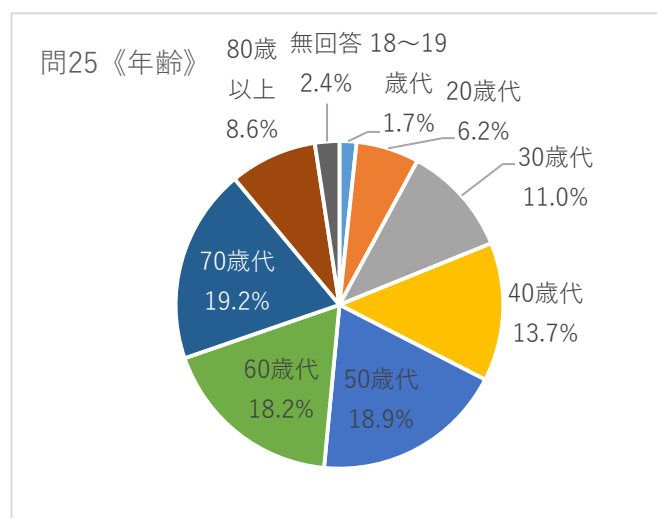
IV 回答者自身について

問 25 性別と年齢についてお答えください。【それぞれ〇はひとつ】

集計結果（性別）	回答数	割合
1 男	572	41.8%
2 女	735	53.8%
3 その他、無回答	60	4.4%
合計	1,367	100.0%



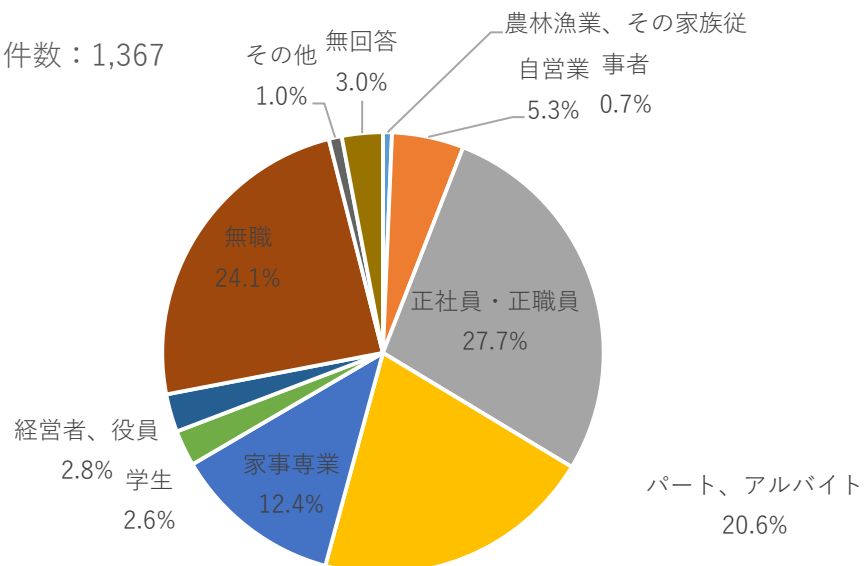
集計結果（年齢）	回答数	割合
1 18～19 歳代	23	1.7%
2 20 歳代	85	6.2%
3 30 歳代	150	11.0%
4 40 歳代	187	13.7%
5 50 歳代	259	18.9%
6 60 歳代	249	18.2%
7 70 歳代	263	19.2%
8 80 歳以上	118	8.6%
無回答	33	2.4%
合計	1,367	100.0%



問 26 主な職業についてお答えください。【〇はひとつ】

集計結果	回答数	割合
1 農林漁業、その家族従事者	9	0.7%
2 自営業（商工サービス、自由業等）	72	5.3%
3 正社員・正職員	379	27.7%
4 パート、アルバイト、契約、派遣、嘱託社員	281	20.6%
5 家事専業	169	12.4%
6 学生	36	2.6%
7 経営者、役員	38	2.8%
8 無職	329	24.1%
9 その他	13	1.0%
無回答	41	3.0%
合計	1,367	100.0%

問26 単数回答 件数：1,367



【その他自由記述】

- ・ サービス業
- ・ 作業所 他

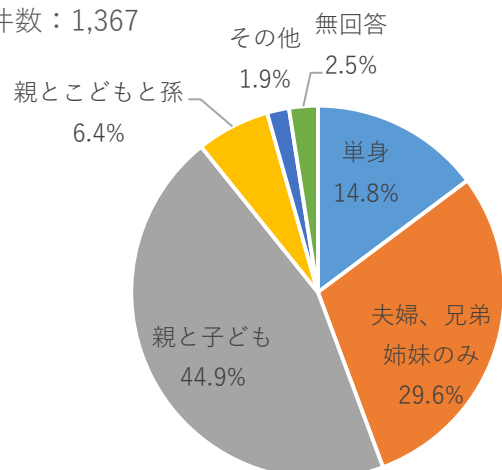
問 27 ご家族の構成についてお答えください。【〇はひとつ】

集計結果	回答数	割合
1 単身（一人暮らし）	202	14.8%
2 夫婦、兄弟姉妹のみ（1世代）	404	29.6%
3 親と子ども（2世代）	614	44.9%
4 親とこどもと孫など3世代以上の家族	87	6.4%
5 その他	26	1.9%
無回答	34	2.5%
合計	1,367	100.0%

【その他自由記述】

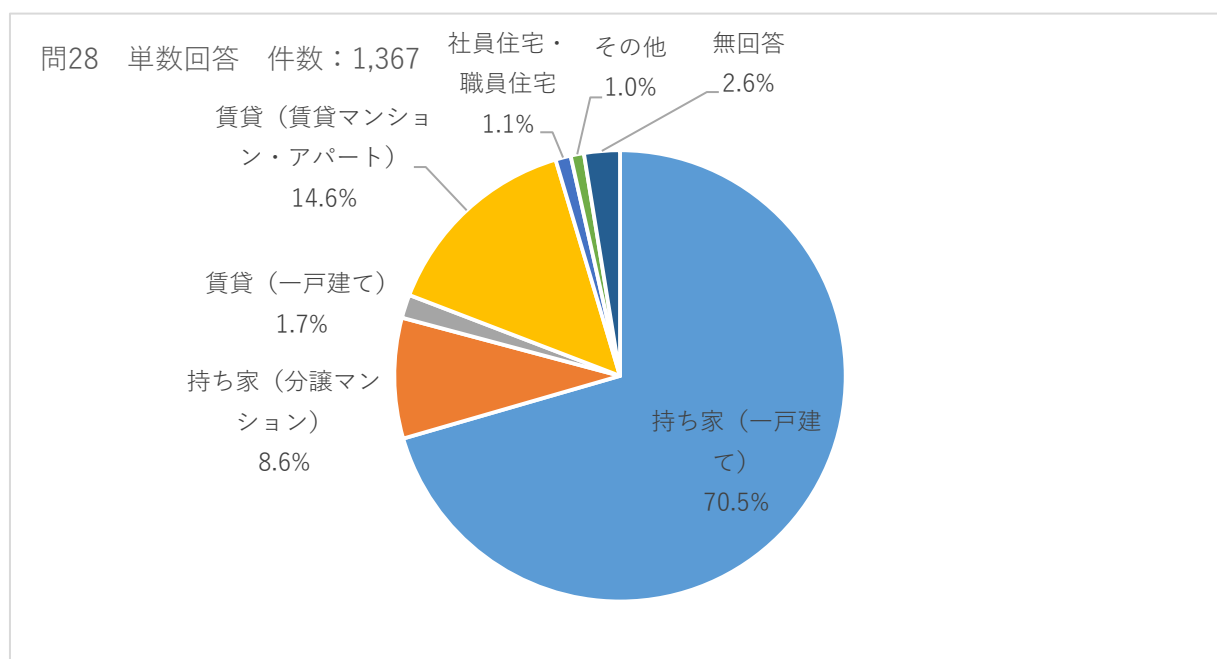
- ・ 夫婦と子供
- ・ 夫婦と母親

問27 単数回答 件数：1,367



問 28 お住まいの住宅形態について、お答えください。【〇はひとつ】

集計結果	回答数	割合
1 持ち家（一戸建て）	964	70.5%
2 持ち家（分譲マンション等）	118	8.6%
3 賃貸（一戸建て）	23	1.7%
4 賃貸（賃貸マンション・アパート）	199	14.6%
5 社員住宅・職員住宅	15	1.1%
6 その他	13	1.0%
無回答	35	2.6%
合計	1,367	100.0%



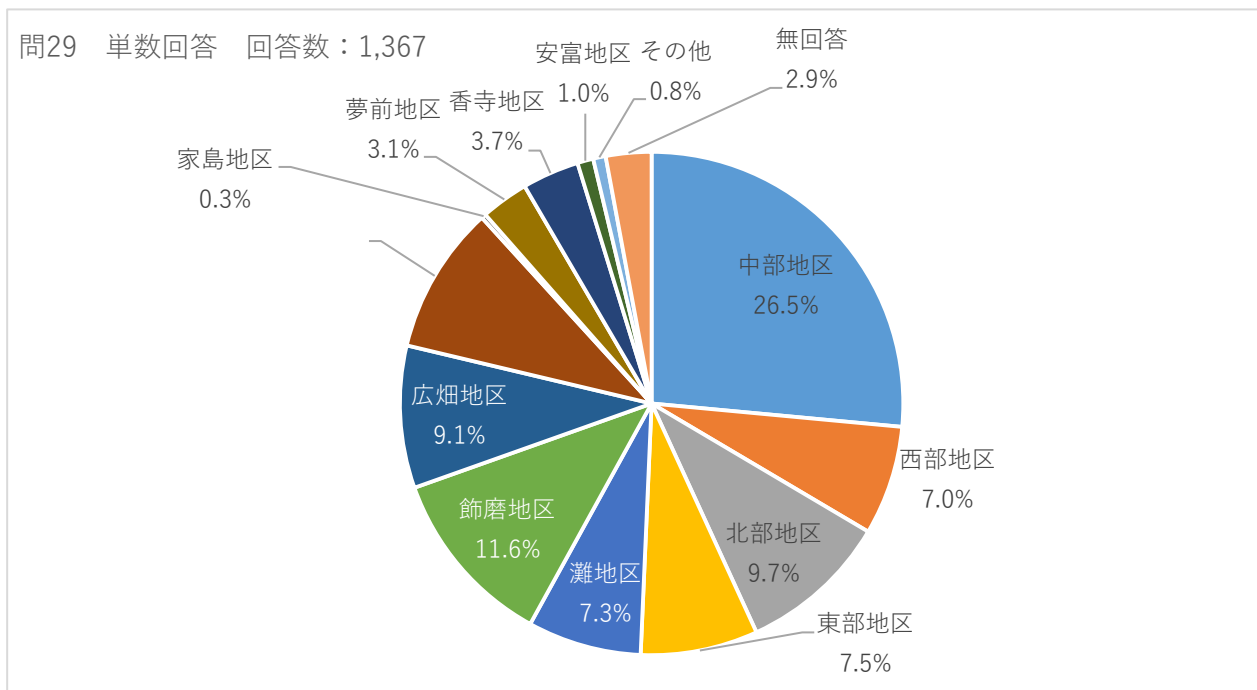
【その他自由記述】

・市営住宅、県営住宅 等

問 29 お住まいの地区（小学校区）あてはまる番号に〇印をつけてください。

集計結果	回答数	割合
1 中部地区	362	26.5%
2 西部地区	96	7.0%
3 北部地区	132	9.7%
4 東部地区	103	7.5%
5 灘地区	100	7.3%
6 飾磨地区	158	11.6%
7 広畑地区	125	9.1%
8 網干地区	130	9.5%
9 家島地区	4	0.3%
10 夢前地区	42	3.1%

1 1 香寺地区	50	3.7%
1 2 安富地区	14	1.0%
1 3 地区がわからない	11	0.8%
無回答	40	2.9%
合計	1,367	100.0%



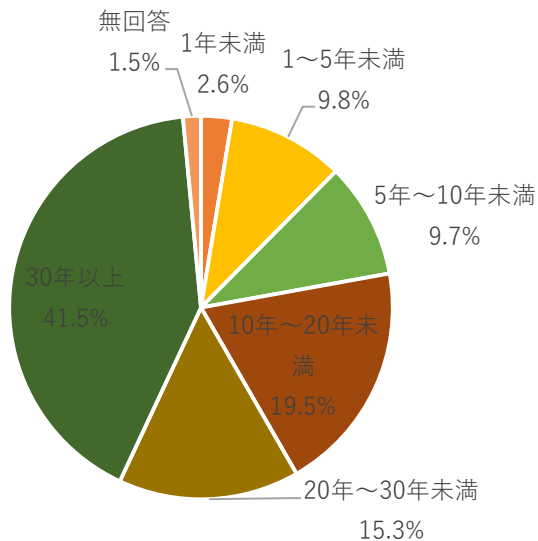
【その他自由記述】

- ・ 三左衛門堀東の町
- ・ 日出町
- ・ 安田 等

問 30 現住所には通算して何年ぐらいお住まいですか。【〇はひとつ】

集計結果	回答数	割合
1 1 年未満	37	2.6%
2 1～5 年未満	137	9.8%
3 5 年～10 年未満	153	9.7%
4 10 年～20 年未満	268	19.5%
5 20 年～30 年未満	206	15.3%
6 30 年以上	548	41.5%
無回答	18	1.5%
	1,367	100.0%

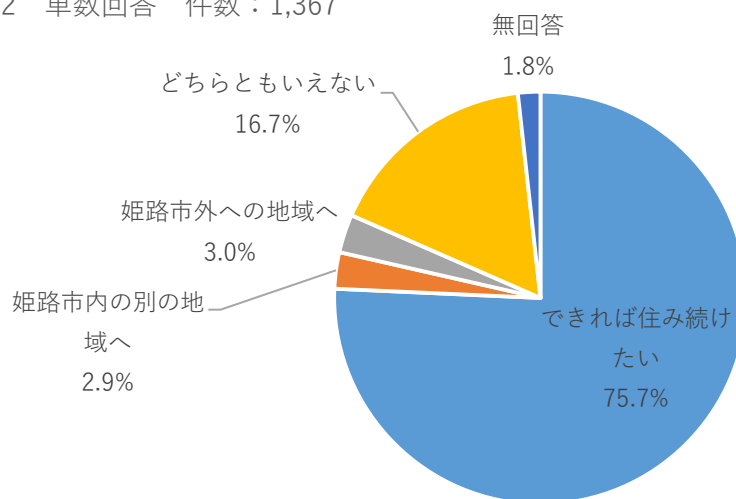
問30 単数回答 件数：1,367



問 31 これからも、現住所に住み続けたいとお考えですか。【〇はひとつ】

集計結果	R7 回答数	R2 割合	R7 割合
1 できれば住み続けたい	1,035	76.7%	75.7%
2 姫路市内の別の地域へ	39	3.5%	2.9%
3 姫路市外への地域へ	41	3.5%	3.0%
4 どちらともいえない	228	14.2%	16.7%
無回答	24	2.2%	1.8%
合計	1,367	100.1%	

問32 単数回答 件数：1,367



【2 姫路市内の別の地域へ】

- ・夢前町、安富町：空気がきれいだから
- ・南条、北条：公共の交通機関に近い、古いしがらみが少ない印象がある、利便性が高そう
- ・どこかへ：食肉加工会社があつくさい。人は平気みたいだけど私は洗濯物も外に干せない

【3 姫路市外の地域へ】

- ・加西市：子育て支援が姫路市よりも手厚い
- ・北海道：どこに行くにも渋滞があり、移動に時間が読めない為
- ・神戸、大阪、東京：田舎にしては都会だし新幹線も止まるからいいが、流行り物やイベントは神戸、大阪などが強いと感じている

「できれば住みたい」が75.7%を占め、現住所への定住意向が高いことが分かる。一方、姫路市内の別地域への転居希望は2.9%、市外への転居希望は3.0%にとどまった。「どちらともいえない」は16.7%で、令和2年度と比べて2.5ポイント増加している。定住意向はやや低下したものの、全体としては現住所に住み続けたい人が大多数を占めている。

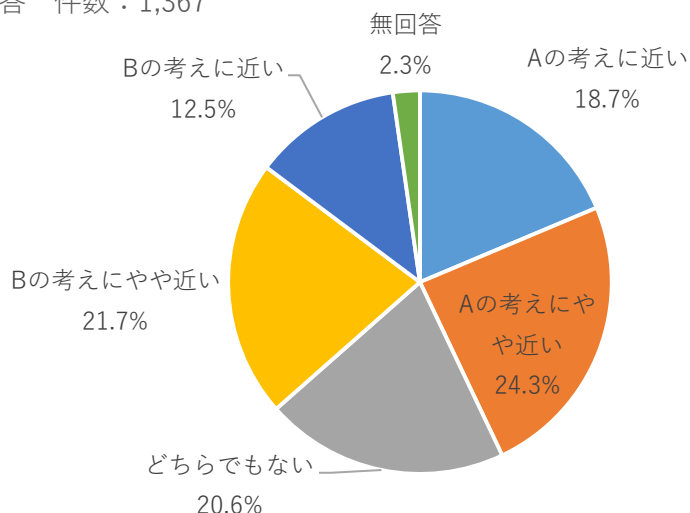
問32 次のA)とB)のうち、あなたの考えに近いものを教えてください【〇はひとつ】

A) 多くの人とコミュニケーションをとる機会を持ちたい。

B) なるべく人とのコミュニケーションをとらずに静かに暮らしたい

集計結果	R7 回答数	R2 割合	R7 割合
1 Aの考えに近い	255	21.0%	18.7%
2 Aの考えにやや近い	332	26.0%	24.3%
3 どちらでもない	281	21.8%	20.6%
4 Bの考えにやや近い	297	19.1%	21.7%
5 Bの考えに近い	171	8.2%	12.5%
無回答	31	4.0%	2.3%
合計	1,367	100.1%	100.0%

問32 単数回答 件数：1,367



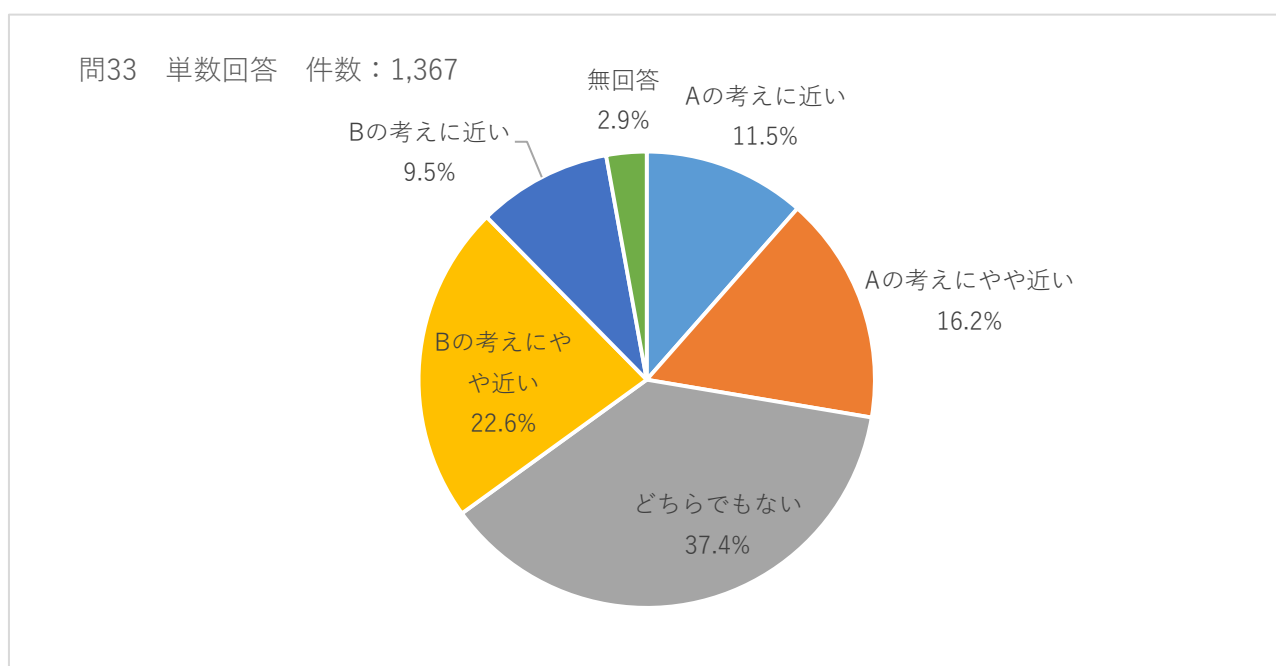
A（多くの人とコミュニケーションをとる機会を持ちたい）を選択した人が計43.0%で最も多く、対人交流を求める傾向がみられた。一方、B（なるべく人とのコミュニケーションをとらずに静かに暮らしたい）は計34.2%、「どちらでもない」は20.6%であった。令和2年度と比べると、Aは47.0%から減し、Bは27.3%から増加しており、交流を控えたい人の割合が高まっている。

問33 次のA)とB)のうち、あなたの考えに近いものを教えてください。【〇はひとつ】

A) 自分とは違う世代の人と交流したい。

B) できるだけ同世代の人と交流したい。

集計結果	R7 回答数	R2 割合	R7 割合
1 Aの考えに近い	157	10.5%	11.5%
2 Aの考えにやや近い	221	19.1%	16.2%
3 どちらでもない	511	34.8%	37.4%
4 Bの考えにやや近い	309	21.8%	22.6%
5 Bの考えに近い	130	8.9%	9.5%
無回答	39	4.9%	2.9%
合計	1,367	100.0%	100.0%



「どちらでもない」を選択した人が37.4%で最も多く、世代間交流・同世代交流のいずれにも明確な好みを示さない人が中心となった。A（異世代との交流）に近い回答は計27.7%、B（同世代との交流）は計32.1%で、Bがやや上回っている。令和2年度と比べると、Aは減少し、Bと中立は増加した。

■ 姫路市において、市民活動を盛んにしていくうえで、ご意見・ご提言がありましたらお聞かせください。
※生成AI（GaiXer）を活用し、意見を要約しました。

（1）アンケート全体について

本アンケートでは、地域コミュニティが抱える深刻な課題が浮き彫りになりました。自治会活動では高齢化による担い手不足、共働き世帯への土日祝日前提の活動負担、強制参加や不公平感への不満が顕著であり、市道の草刈りなど自治会が担う業務への市支援や、多様なライフスタイルに合わせた活動の見直しが強く求められています。

市民生活の利便性向上を求める声も多く、公共交通の不便さ、山間部の買い物困難、福祉サービスの不足、子育て支援の拡充が課題として挙げられました。住民税や固定資産税の高さ、税金の使途の透明化、中心

部偏重ではない公平な施策、そして世代間の優遇不均衡への改善要望が目立ちます。

市民活動を活性化するためには、SNS など現代的な情報発信手段の活用、活動内容の分かりやすい説明、無料参加や柔軟な時間設定による参加ハードルの低減が不可欠です。異世代交流イベントや趣味を通じた活動の機会創出により、市民が自発的に関わりたくなるような魅力的な「きっかけ」作りが期待されています。市民は、これらの課題解決と、開かれた市政運営を通じて、誰もが住みやすい持続可能なまちづくりを強く望んでいます。

(2) 自治会への意見について

自治会活動は、高齢化による役員不足や、共働き世帯への土日祝日中心の強制的な活動参加が大きな負担となっています。自治会費の高さや使途の不透明性、不公平感も指摘され、時代に合わせた活動の見直しや、地域外住民・若者層への配慮が不可欠です。市に対し、自治会の不祥事への介入・指導や、活動のあり方に関する具体的な支援が求められており、このままでは地域コミュニティの維持が困難になるという危機感が示されています。

(3) 自治会以外の地域団体について

自治会以外の地域団体も、高齢化による担い手不足や活動維持の困難に直面し、子供会や婦人会、地域イベントの縮小・停止が地域の一体感を失わせています。個人主義の増加や活動への負担感が参加意欲の低下を招く一方、スポーツや福祉活動、災害時の互助といった「ゆるやかな繋がり」や、高齢者の経験を活用する場、子育て世代が参加しやすいイベントへの期待も高まっています。多様な価値観に合わせた団体活動の見直しと、情報発信強化による参加促進が課題です。

(4) 市民活動について

市民活動に関する意見は多岐にわたり、主に情報発信の強化（SNS 活用）が強く求められています。参加へのハードルが高いと感じる市民が多く、無料化や柔軟な時間設定、気軽に体験できる機会を増やすことで、参加しやすさを向上させる工夫が必要です。また、高齢者の経験活用や多世代交流イベントの創出、義務的ではない楽しさやメリットを感じられる活動内容の充実が望まれます。既存の自治会活動との兼ね合いで負担を感じる声も多く、時代に合わせた仕組みの見直しが市民活動全体の活性化につながると期待されています。

(5) 主な意見【抜粋】

(自治会等地域団体に関する意見)

- ・ 親に自治会の事を聞くと 2/3 以上が 65 歳で自治会の役員になる人がいないので大変困っているとのこと。
- ・ 夫婦ともにサービス業の為、土日、祝日、休み前提の活動には疑問を抱いています。一斉清掃なども参加しないと罰金があり、その為に会社を休むなど困っています。自治会活動も参加できないし役員を引き受けられない事情がある事も受け入れてほしい（行事がすべて土日祝日の為）親が役員できなければ 子供会も入れないので、子供たちは子供会に入れませんでした。
- ・ 今の時代に合った仕組みへの見直しが必要だと思います。特に自治会は共働き世帯の増加や女性の社会進出で、参加が難しくなっていると思います。

(市民活動に関する意見)

- ・ インスタなどの SNS で情報が知りたいです。もっと手軽に情報を仕入れたい。

- ・ 市民活動、ボランティア、と聞くと、自分に出来るのかな？と、ちょっと身構えてしまう人も多いかもしれません。気負わず軽い気持ちでも参加できる内容、雰囲気だと参加しやすいかなと思います。
- ・ 無料で参加できるようにすれば、参加してみようかと思えるようになりやすい。活動内容をわかりやすく説明して欲しい。
- ・ 市民活動というと、自治会など義務的で憂鬱なものしかないイメージです。市民活動することで得られるメリットがないと思っており、避けたいのが現状です。なので、市民活動で得られる良い点を発信していくべきだと思います。
- ・ 意欲はあってもきっかけが無い人がいると思います。自治会経由？で簡単なことから始めてはどうでしょうか。
- ・ 高校生や大学生が参加できそうな活動が増えたらいいなと思います。情報が少ない、もしくは目にする機会が少ないように感じます。

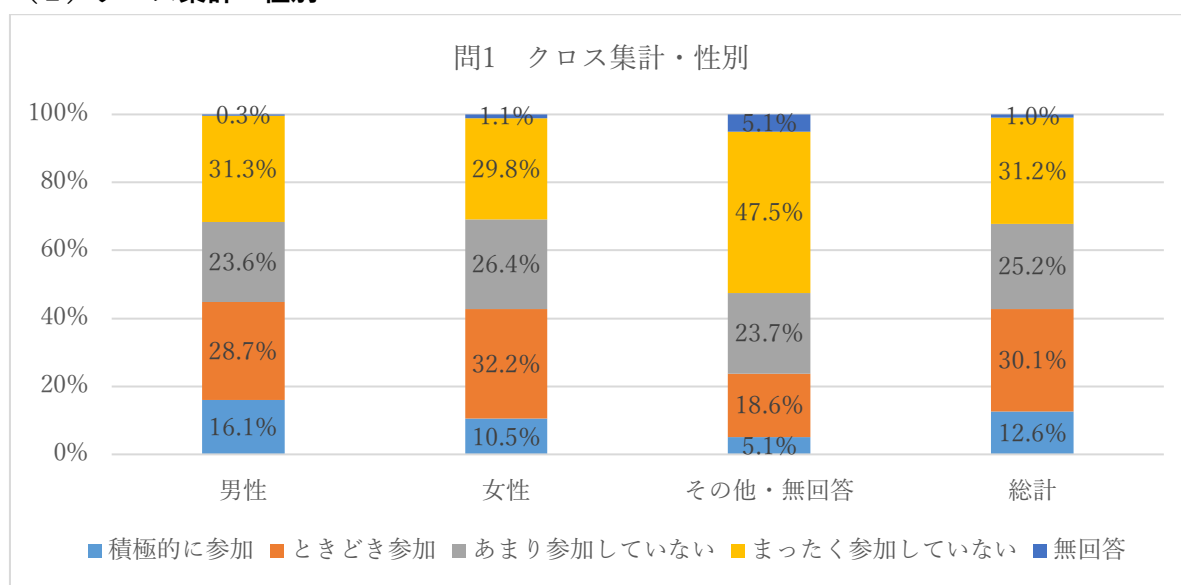
4 クロス集計

・調査項目のうち、単数回答となる以下の設問について、性別・年齢別・地域別の項目でクロス集計を行いました。

I 自治会などの地域団体への関わりについて

問1 地域団体の活動にどの程度参加されていますか。【〇はひとつ】

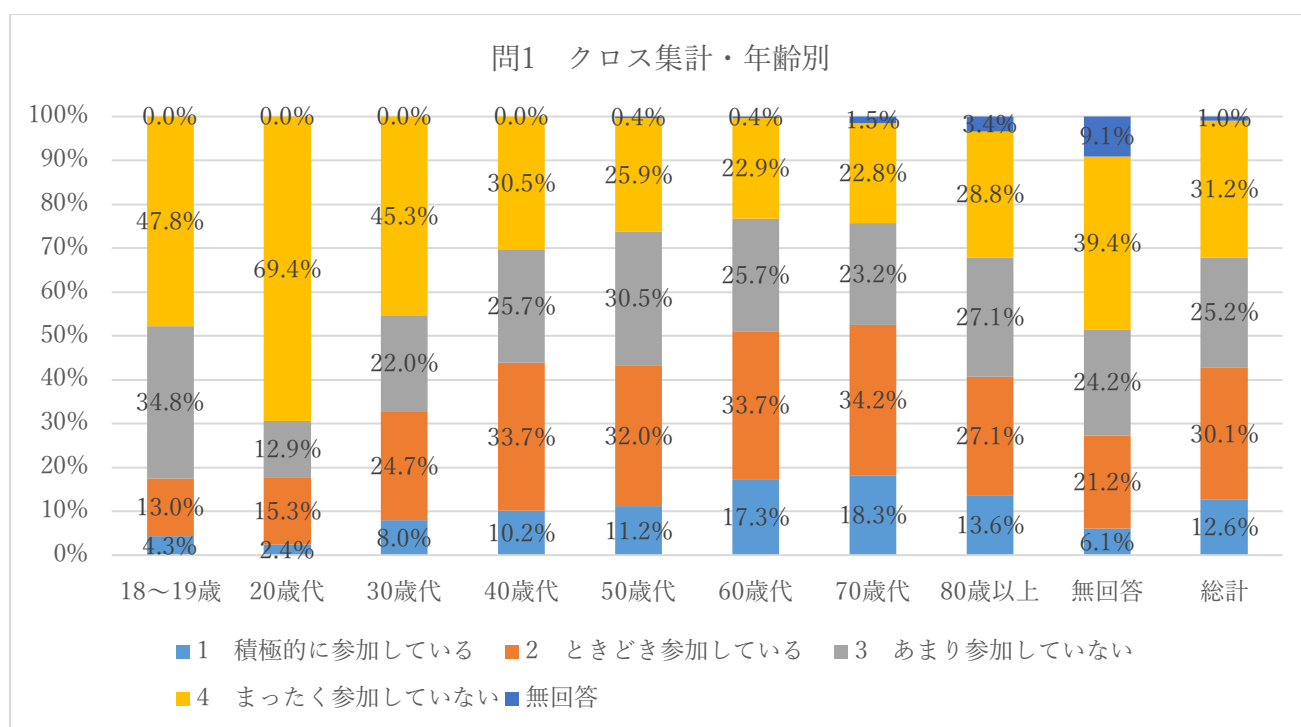
(1) クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	92	77	3	172
	16.1%	10.5%	5.1%	12.6%
2	164	237	11	412
	28.7%	32.2%	18.6%	30.1%
3	135	194	14	344
	23.6%	26.4%	23.7%	25.2%
4	179	219	29	426
	31.3%	29.8%	47.5%	31.2%
無回答	2	8	3	13
	0.3%	1.1%	5.1%	1.0%
合計	572	735	60	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域活動への参加状況を男女別にみると、「積極的に参加している」は男性 16.1%、女性 10.5%で男性が多い。一方、「ときどき参加している」は女性 32.2%、男性 28.7%で女性が上回る。「あまり参加していない」も女性がやや多いが、「まったく参加していない」は男性 31.3%、女性 29.8%と男性が上回った。全体として、男性は積極・不参加の両極に、女性は時々参加に分かれる傾向がみられる。

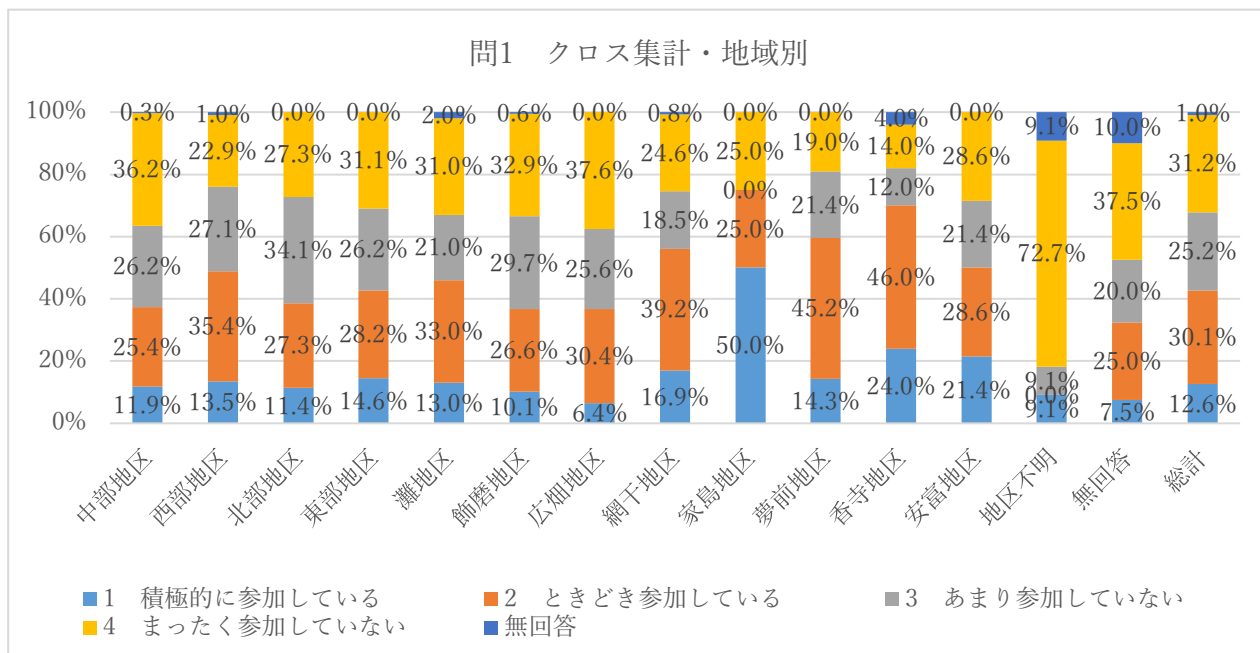
(2) クロス集計・年齢別



	18～19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	無回答	総計
1	1	2	12	19	29	43	48	16	2	172
	4.3%	2.4%	8.0%	10.2%	11.2%	17.3%	18.3%	13.6%	6.1%	12.6%
2	3	13	37	63	83	84	90	32	7	412
	13.0%	15.3%	24.7%	33.7%	32.0%	33.7%	34.2%	27.1%	21.2%	30.1%
3	8	11	33	48	79	64	61	32	8	344
	34.8%	12.9%	22.0%	25.7%	30.5%	25.7%	23.2%	27.1%	24.2%	25.2%
4	11	59	68	57	67	57	60	34	13	426
	47.8%	69.4%	45.3%	30.5%	25.9%	22.9%	22.8%	28.8%	39.4%	31.2%
無回答	0	0	0	0	1	1	4	4	3	13
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	1.5%	3.4%	9.1%	1.0%
合計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢別にみると、「積極的に参加している」割合は若年層で低く、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられる。特に70歳代で最も高い。一方、「まったく参加していない」は20歳代が目立ち、40歳代以降は減少する。高齢層では積極・時々参加が多く、年齢による参加意識の違いが表れている。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	43	13	15	15	13	16	8	22
	11.9%	13.5%	11.4%	14.6%	13.0%	10.1%	6.4%	16.9%
2	92	34	36	29	33	42	38	51
	25.4%	35.4%	27.3%	28.2%	33.0%	26.6%	30.4%	39.2%
3	95	26	45	27	21	47	32	24
	26.2%	27.1%	34.1%	26.2%	21.0%	29.7%	25.6%	18.5%
4	131	22	36	32	31	52	47	32
	36.2%	22.9%	27.3%	31.1%	31.0%	32.9%	37.6%	24.6%
無回答	1	1	0	0	2	1	0	1
	0.3%	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.6%	0.0%	0.8%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

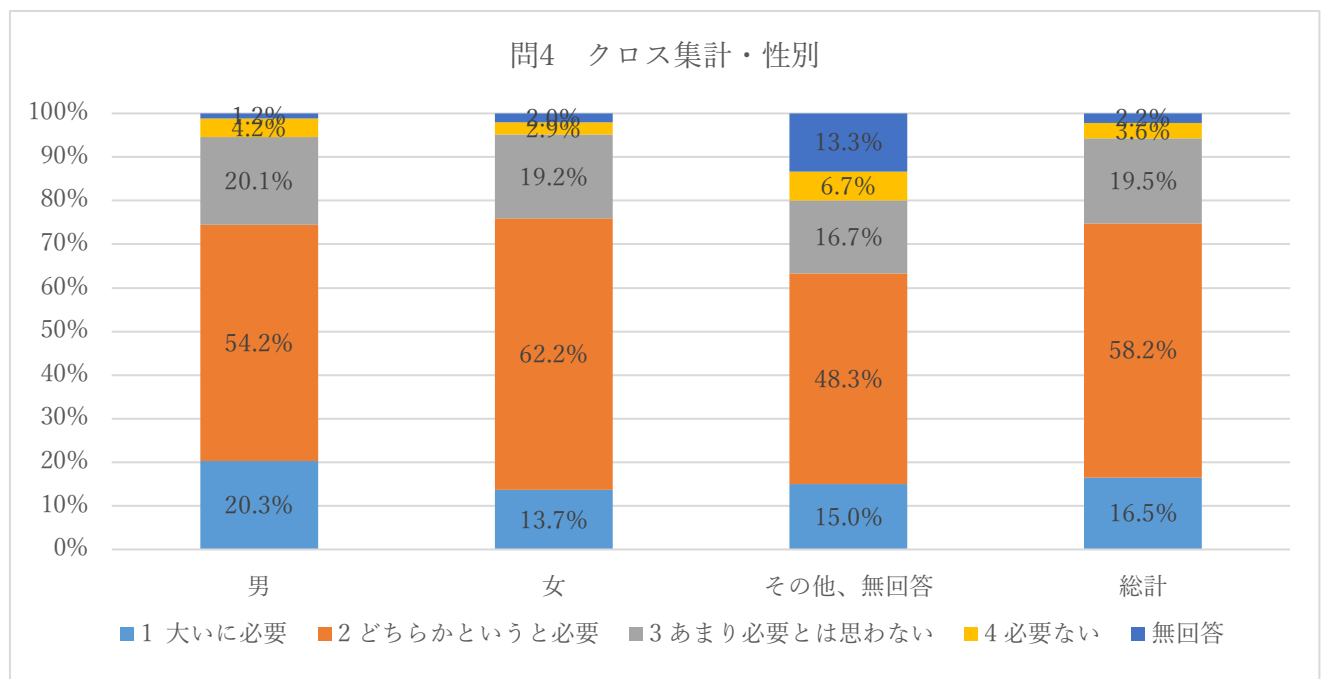
	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	2	6	12	3	1	3	172
	50.0%	14.3%	24.0%	21.4%	9.1%	7.5%	12.6%
2	1	19	23	4	0	10	412
	25.0%	45.2%	46.0%	28.6%	0.0%	25.0%	30.1%
3	0	9	6	3	1	8	344
	0.0%	21.4%	12.0%	21.4%	9.1%	20.0%	25.2%
4	1	8	7	4	8	15	426
	25.0%	19.0%	14.0%	28.6%	72.7%	37.5%	31.2%
無回答	0	0	2	0	1	4	13
	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	9.1%	10.0%	1.0%
総計	4	42	50	14	11	40	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域団体の活動に「積極的に」または「ときどき」参加している割合は、最も高いのは家島地区の 75.0%、次いで香寺地区の 70.0%、夢前地区の 59.5%、網干地区の 56.1%である。一方、広畑地区は 36.8%、中部地区は 37.3%、飾磨地区は 36.7%にとどまり、「まったく参加していない」割合が高い。特に地区がわからない回答では 72.7%が「まったく参加していない」となっている。全体として、北部地区や飾磨地区などでは「あまり参加していない」割合も高く、地域ごとに相違がある。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要。

問4 地域団体の活動について、どのような感想をお持ちですか。【〇はひとつ】

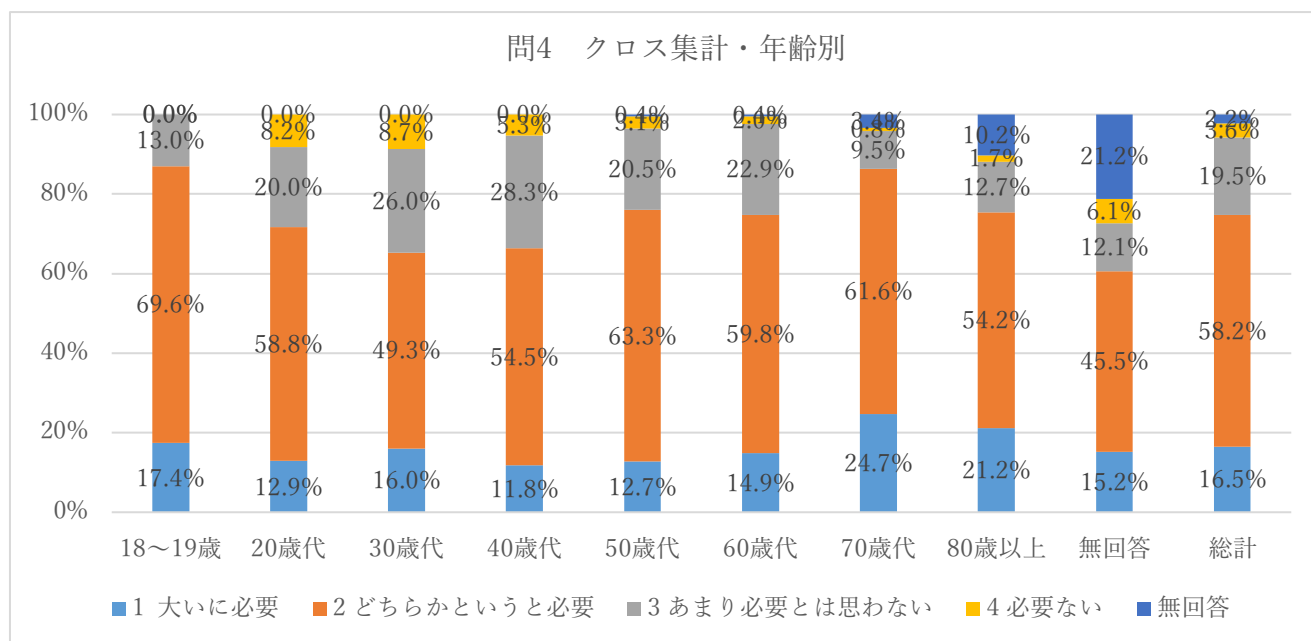
(1) クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	116	101	9	226
	20.3%	13.7%	15.0%	16.5%
2	310	457	29	796
	54.2%	62.2%	48.3%	58.2%
3	115	141	10	266
	20.1%	19.2%	16.7%	19.5%
4	24	21	4	49
	4.2%	2.9%	6.7%	3.6%
無回答	7	15	8	30
	1.2%	2.0%	13.3%	2.2%
総計	572	735	60	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性別にみると、男性は「大いに必要」20.3%、「どちらかという必要」54.2%で、必要とする割合は計 74.5%となった。女性は「大いに必要」が 13.7%と男性を 6.6 ポイント下回る一方、「どちらかという必要」は 62.2%と男性を 8.0 ポイント上回り、必要とする割合は計 75.9%であった。女性は強い必要性の回答は少ないものの、全体として必要と考える割合は男性をやや上回っている。否定的な回答は男性 24.3%、女性 22.1%で、男性の方がやや高かった。

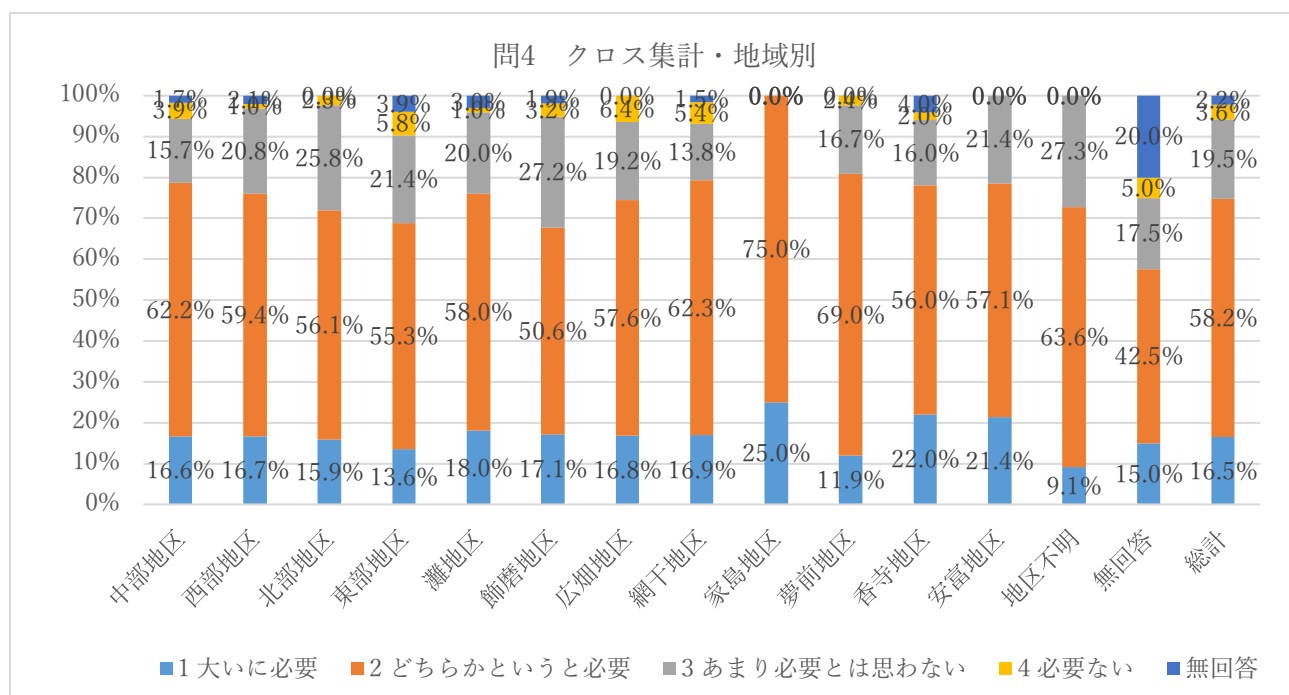
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	総計
1	4	11	24	22	33	37	65	25	5	226
	17.4%	12.9%	16.0%	11.8%	12.7%	14.9%	24.7%	21.2%	15.2%	16.5%
2	16	50	74	102	164	149	162	64	15	796
	69.6%	58.8%	49.3%	54.5%	63.3%	59.8%	61.6%	54.2%	45.5%	58.2%
3	3	17	39	53	53	57	25	15	4	266
	13.0%	20.0%	26.0%	28.3%	20.5%	22.9%	9.5%	12.7%	12.1%	19.5%
4	0	7	13	10	8	5	2	2	2	49
	0.0%	8.2%	8.7%	5.3%	3.1%	2.0%	0.8%	1.7%	6.1%	3.6%
無回答	0	0	0	0	1	1	9	12	7	30
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	3.4%	10.2%	21.2%	2.2%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.1%	100.0%

年齢別では、18～19歳が87.0%、70歳代が86.3%と高く、特に70歳代は「大いに必要」が24.7%で最も高い。一方、30歳代は65.3%、40歳代は66.3%にとどまり、「あまり必要とは思わない」「必要ない」の割合がそれぞれ34.7%、33.6%と高かった。20歳代も必要性を感じる割合が71.7%にとどまる。80歳以上は75.4%であるが、無回答が10.2%と比較的多い。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	60	16	21	14	18	27	21	22
	16.6%	16.7%	15.9%	13.6%	18.0%	17.1%	16.8%	16.9%
2	225	57	74	57	58	80	72	81
	62.2%	59.4%	56.1%	55.3%	58.0%	50.6%	57.6%	62.3%
3	57	20	34	22	20	43	24	18
	15.7%	20.8%	25.8%	21.4%	20.0%	27.2%	19.2%	13.8%
4	14	1	3	6	1	5	8	7
	3.9%	1.0%	2.3%	5.8%	1.0%	3.2%	6.4%	5.4%
無回答	6	2	0	4	3	3	0	2
	1.7%	2.1%	0.0%	3.9%	3.0%	1.9%	0.0%	1.5%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	1	5	11	3	1	6	226
	25.0%	11.9%	22.0%	21.4%	9.1%	15.0%	16.5%
2	3	29	28	8	7	17	796
	75.0%	69.0%	56.0%	57.1%	63.6%	42.5%	58.2%
3	0	7	8	3	3	7	266
	0.0%	16.7%	16.0%	21.4%	27.3%	17.5%	19.5%
4	0	1	1	0	0	2	49
	0.0%	2.4%	2.0%	0.0%	0.0%	5.0%	3.6%
無回答	0	0	2	0	0	8	30
	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	20.0%	2.2%
総計	4	42	50	14	11	40	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

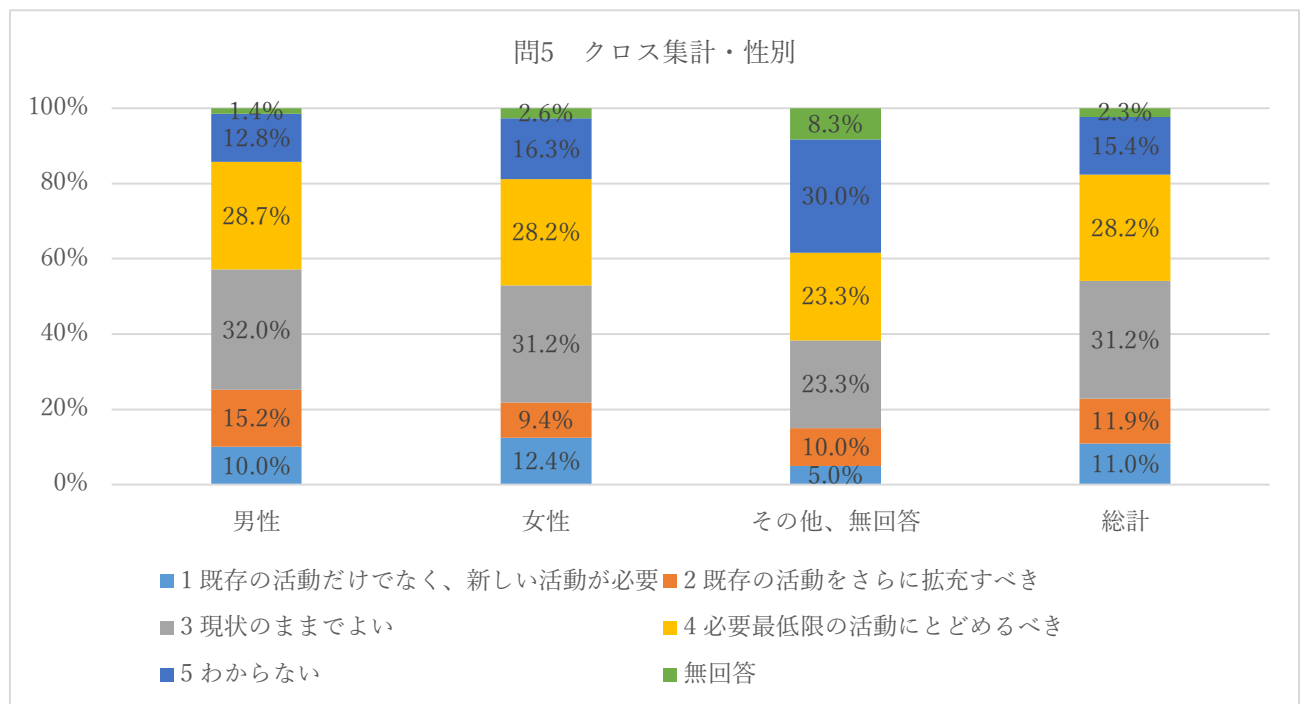
「

地区別では、家島地区が 100.0%で最も高く、夢前地区 80.9%、網干地区 79.2%、中部地区 78.8%、安富地区 78.5%、香寺地区 78.0%なども高い。一方、飾磨地区は 67.7%、東部地区は 68.9%と比較的低く、「あまり必要とは思わない」の割合も高い。地区不明では否定的な回答が 27.3%、無回答では必要とする割合が 57.5%にとどまる。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

問5 地域団体の活動は今後どうあるべきだとお考えですか。【〇はひとつ】

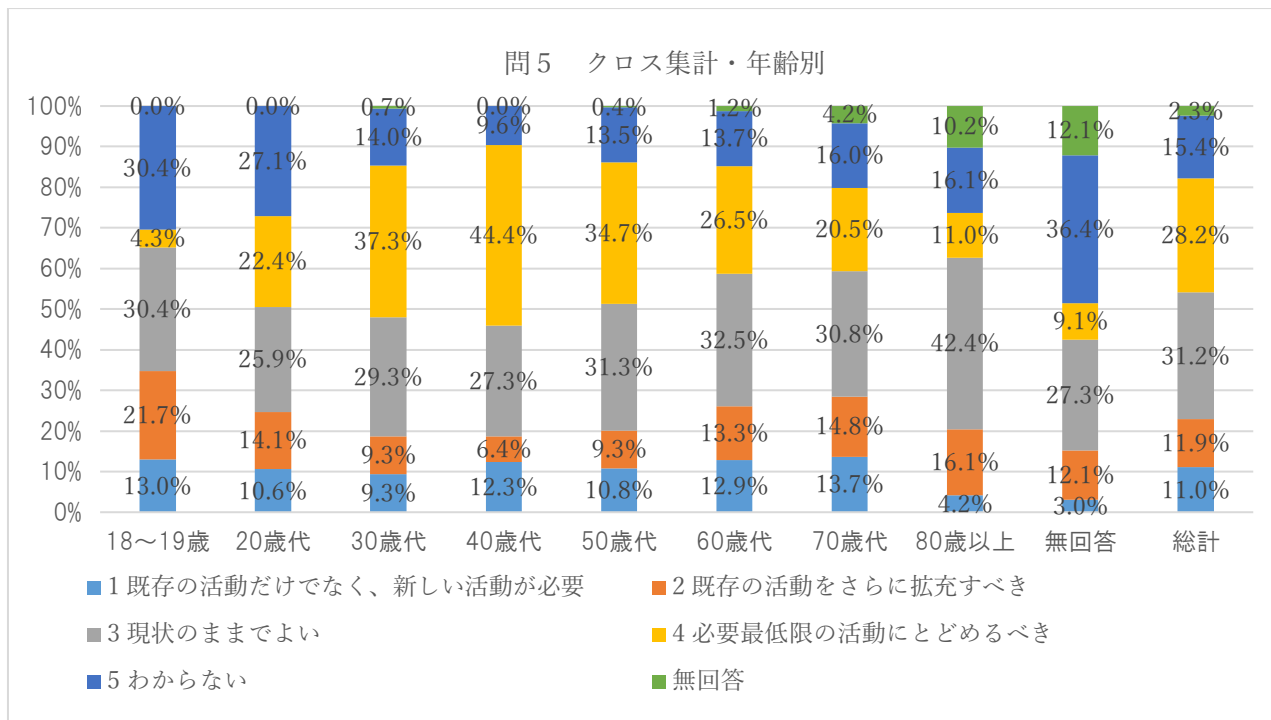
(1) クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	57	91	3	151
	10.0%	12.4%	5.0%	11.0%
2	87	69	6	162
	15.2%	9.4%	10.0%	11.9%
3	183	229	14	426
	32.0%	31.2%	23.3%	31.2%
4	164	207	14	385
	28.7%	28.2%	23.3%	28.2%
5	73	120	18	211
	12.8%	16.3%	30.0%	15.4%
無回答	8	19	5	32
	1.4%	2.6%	8.3%	2.3%
総計	572	735	60	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性別では、男性が 25.2%、女性が 21.8%で、男性の方が 3.4 ポイント高い。内訳をみると、男性は「既存の活動をさらに拡充すべき」が 15.2%と女性の 9.4%を上回る一方、女性は「新しい活動が必要」が 12.4%で、男性の 10.0%を上回った。「現状のままでよい」「必要最低限」とする割合は男性 60.7%、女性 59.4%と大きな差はないが、「わからない」は女性が 16.3%で男性の 12.8%より高かった。

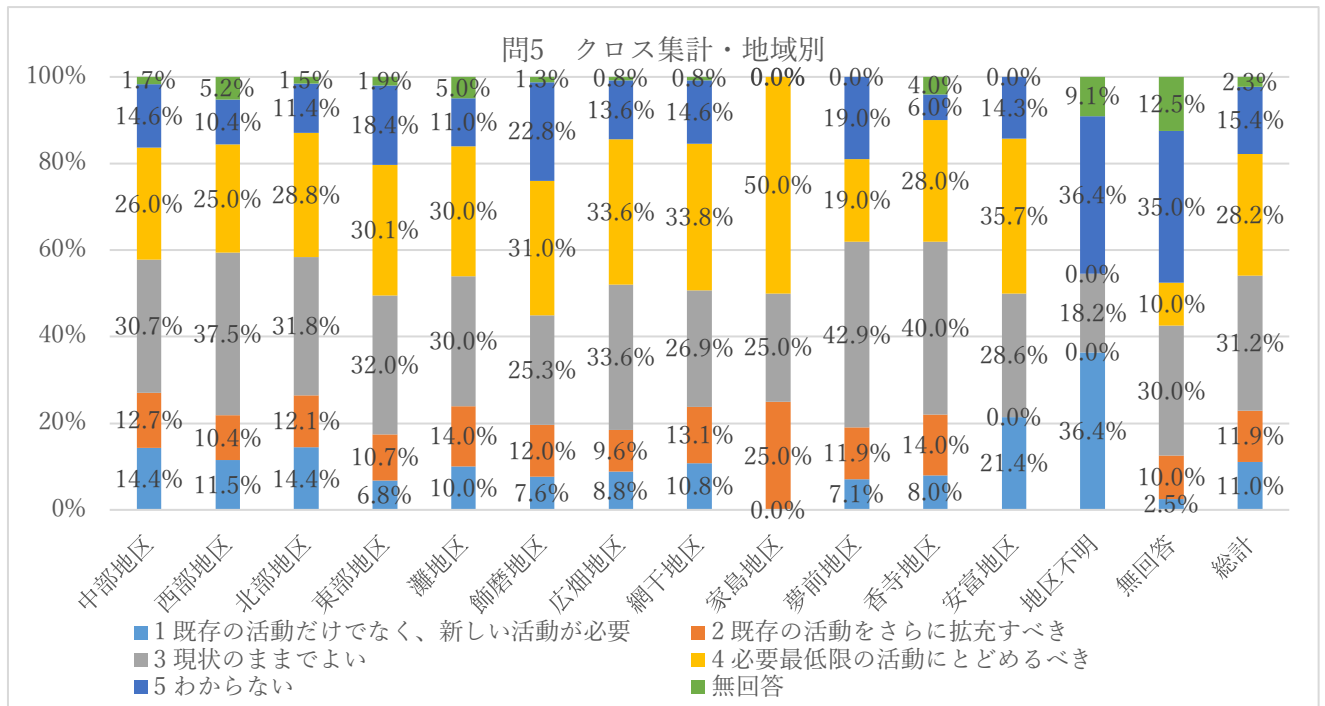
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	3	9	14	23	28	32	36	5	1	151
	13.0%	10.6%	9.3%	12.3%	10.8%	12.9%	13.7%	4.2%	3.0%	11.0%
2	5	12	14	12	24	33	39	19	4	162
	21.7%	14.1%	9.3%	6.4%	9.3%	13.3%	14.8%	16.1%	12.1%	11.9%
3	7	22	44	51	81	81	81	50	9	426
	30.4%	25.9%	29.3%	27.3%	31.3%	32.5%	30.8%	42.4%	27.3%	31.2%
4	1	19	56	83	90	66	54	13	3	385
	4.3%	22.4%	37.3%	44.4%	34.7%	26.5%	20.5%	11.0%	9.1%	28.2%
5	7	23	21	18	35	34	42	19	12	211
	30.4%	27.1%	14.0%	9.6%	13.5%	13.7%	16.0%	16.1%	36.4%	15.4%
無回答	0	0	1	0	1	3	11	12	4	32
	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.4%	1.2%	4.2%	10.2%	12.1%	2.3%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢別では、18～19歳が34.7%で最も高く、70歳代28.5%、60歳代26.2%が続く。一方、40歳代は18.7%、30歳代は18.6%と低く、「現状のままでよい」「必要最低限」とする割合がそれぞれ71.7%、66.6%に達した。「わからない」は18～19歳で30.4%、20歳代で27.1%と若い世代で高くなっている。80歳以上は「現状のままでよい」が42.4%と最も高く、無回答も10.2%であった。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	52 14.4%	11 11.5%	19 14.4%	7 6.8%	10 10.0%	12 7.6%	11 8.8%	14 10.8%
2	46 12.7%	10 10.4%	16 12.1%	11 10.7%	14 14.0%	19 12.0%	12 9.6%	17 13.1%
3	111 30.7%	36 37.5%	42 31.8%	33 32.0%	30 30.0%	40 25.3%	42 33.6%	35 26.9%
4	94 26.0%	24 25.0%	38 28.8%	31 30.1%	30 30.0%	49 31.0%	42 33.6%	44 33.8%
5	53 14.6%	10 10.4%	15 11.4%	19 18.4%	11 11.0%	36 22.8%	17 13.6%	19 14.6%
無回答	6 1.7%	5 5.2%	2 1.5%	2 1.9%	5 5.0%	2 1.3%	1 0.8%	1 0.8%
総計	362 100.0%	96 100.0%	132 100.0%	103 100.0%	100 100.0%	158 100.0%	125 100.0%	130 100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	0 0.0%	3 7.1%	4 8.0%	3 21.4%	4 36.4%	1 2.5%	151 11.0%
2	1 25.0%	5 11.9%	7 14.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 10.0%	162 11.9%
3	1 25.0%	18 42.9%	20 40.0%	4 28.6%	2 18.2%	12 30.0%	426 31.2%
4	2 50.0%	8 19.0%	14 28.0%	5 35.7%	0 0.0%	4 10.0%	385 28.2%
5	0 0.0%	8 19.0%	3 6.0%	2 14.3%	4 36.4%	14 35.0%	211 15.4%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	2 4.0%	0 0.0%	1 9.1%	5 12.5%	32 2.3%
総計	4 100.0%	42 100.0%	50 100.0%	14 100.0%	11 100.0%	40 100.0%	1,367 100.0%

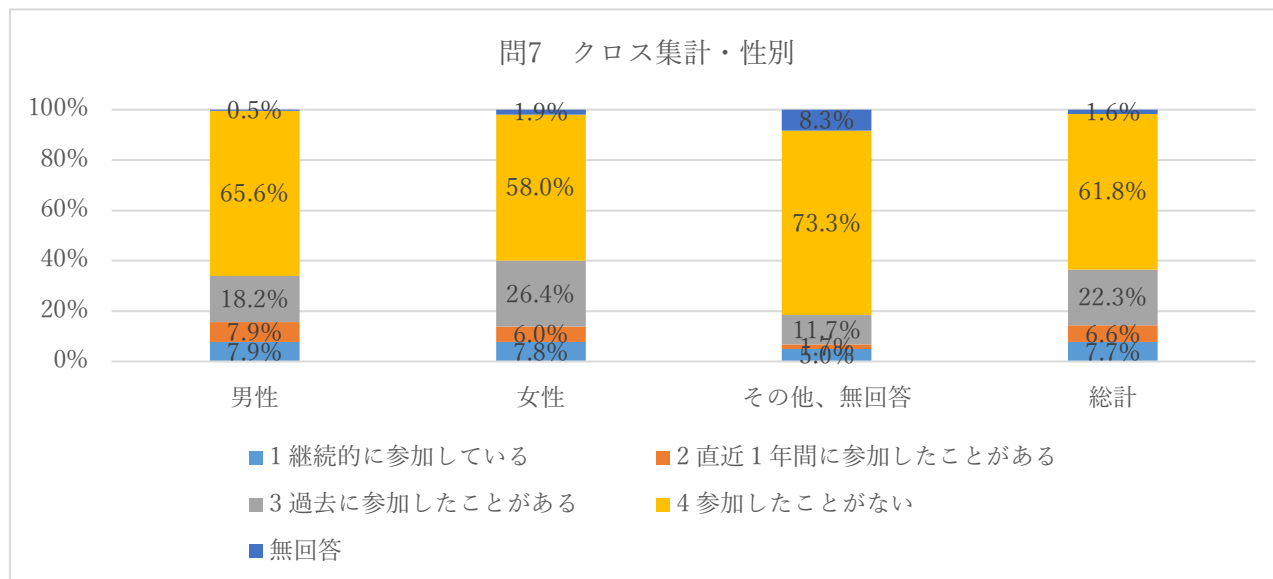
「新しい活動が必要」または「既存の活動をさらに拡充すべき」とする発展志向の回答は、全体で 22.9%であった中、地区別では中部地区が 27.1%、北部地区が 26.5%、家島地区が 25.0%と比較的高く、東部地区は 17.5%、広畑地区は 18.4%、夢前地区は 19.0%と低い。一方、「現状のままでよい」「必要最低限」とする割合は家島地区で 75.0%、広畑地区で 67.2%、香寺地区で 68.0%と高い。飾磨地区は「わからない」が 22.8%で、地区による意識の違いがみられる。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

Ⅱ ボランティア活動や NPO への関わり（地域団体は除く）

問7 ボランティア活動や NPO 活動に参加されたことがありますか。【〇はひとつ】

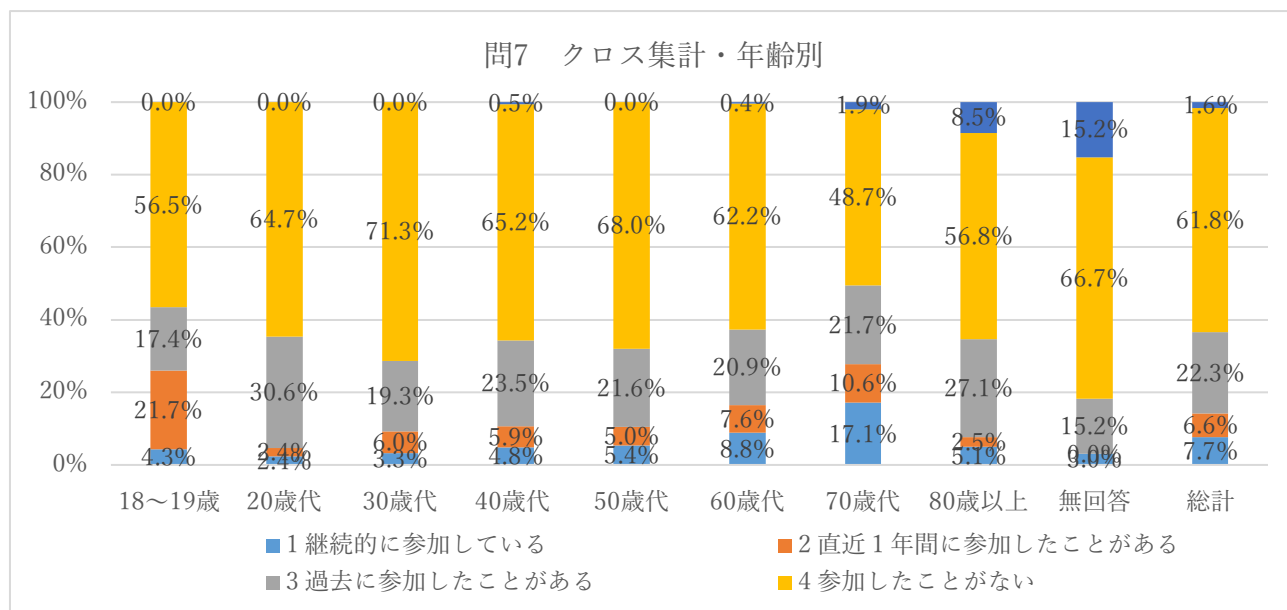
（1）クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	45	57	3	105
	7.9%	7.8%	5.0%	7.7%
2	45	44	1	90
	7.9%	6.0%	1.7%	6.6%
3	104	194	7	305
	18.2%	26.4%	11.7%	22.3%
4	375	426	44	845
	65.6%	58.0%	73.3%	61.8%
無回答	3	14	5	22
	0.5%	1.9%	8.3%	1.6%
総計	572	735	60	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ボランティア活動や NPO 活動への参加経験は、全体で 36.6%（「継続的に参加している」7.7%、「直近1年間に参加したことがある」6.6%、「過去に参加したことがある」22.3%）であった。性別では、女性の参加経験率が 40.2%と男性の 34.0%を 6.2 ポイント上回っている。女性は「過去に参加したことがある」が 26.4%で、男性の 18.2%より高い。一方、継続的な参加は男性 7.9%、女性 7.8%、直近1年間の参加は男性 7.9%、女性 6.0%で、大きな差はみられない。「参加したことがない」は男性 65.6%、女性 58.0%で、女性の方が参加経験を持つ割合が高い。

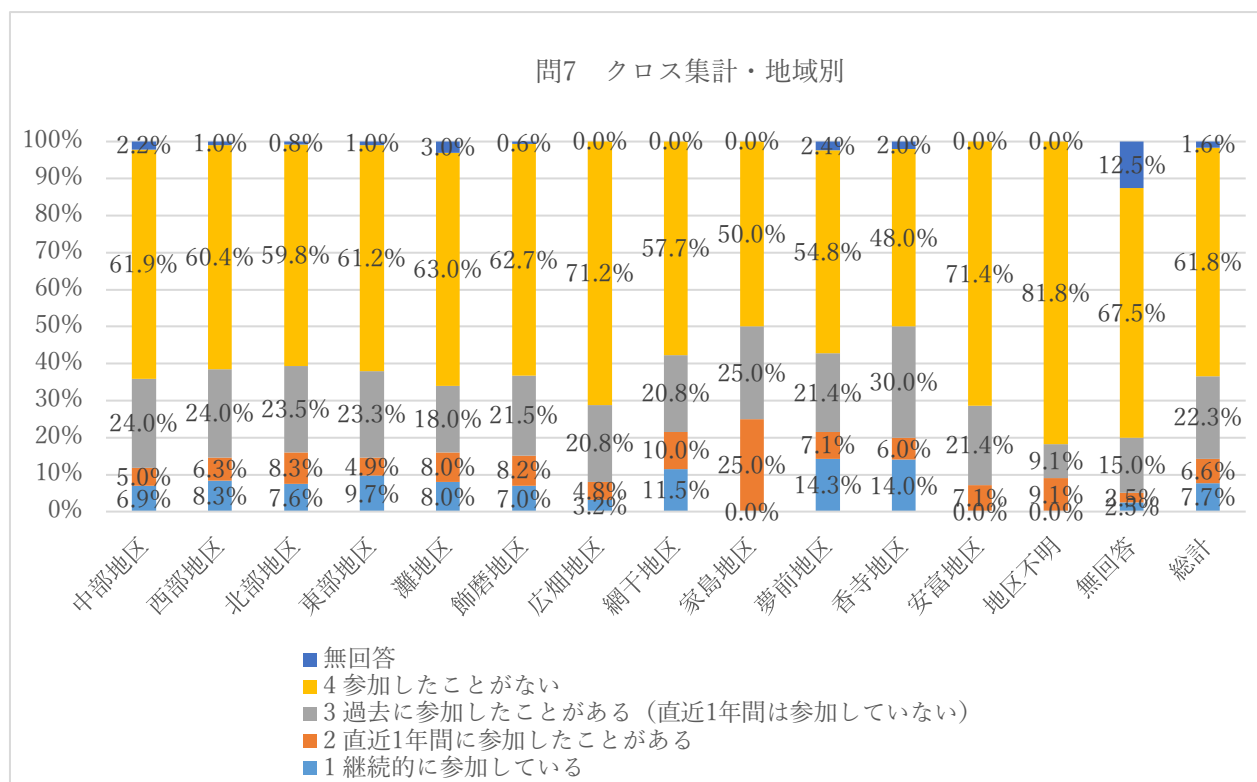
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	年齢不明	総計
1	1	2	5	9	14	22	45	6	1	105
	4.3%	2.4%	3.3%	4.8%	5.4%	8.8%	17.1%	5.1%	3.0%	7.7%
2	5	2	9	11	13	19	28	3	0	90
	21.7%	2.4%	6.0%	5.9%	5.0%	7.6%	10.6%	2.5%	0.0%	6.6%
3	4	26	29	44	56	52	57	32	5	305
	17.4%	30.6%	19.3%	23.5%	21.6%	20.9%	21.7%	27.1%	15.2%	22.3%
4	13	55	107	122	176	155	128	67	22	845
	56.5%	64.7%	71.3%	65.2%	68.0%	62.2%	48.7%	56.8%	66.7%	61.8%
無回答	0	0	0	1	0	1	5	10	5	22
	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.4%	1.9%	8.5%	15.2%	1.6%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ボランティア活動やNPO活動への参加経験（「継続的」「直近1年間」「過去」を合わせた割合）は、全体で36.6%であった。年齢別では、70歳代が49.4%で最も高く、18～19歳が43.4%、60歳代が37.3%と続く。70歳代は「継続的に参加している」が17.1%で、全体の7.7%を大きく上回っている。18～19歳は「直近1年間に参加したことがある」が21.7%と突出して高い。一方、30歳代は28.6%で最も低く、「参加したことがない」が71.3%に達した。20歳代、40～50歳代でも未経験者が6割を超えており、現役世代を中心に参加機会の拡充が課題といえる。80歳以上は無回答が8.5%とやや多い。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	25	8	10	10	8	11	4	15
	6.9%	8.3%	7.6%	9.7%	8.0%	7.0%	3.2%	11.5%
2	18	6	11	5	8	13	6	13
	5.0%	6.3%	8.3%	4.9%	8.0%	8.2%	4.8%	10.0%
3	87	23	31	24	18	34	26	27
	24.0%	24.0%	23.5%	23.3%	18.0%	21.5%	20.8%	20.8%
4	224	58	79	63	63	99	89	75
	61.9%	60.4%	59.8%	61.2%	63.0%	62.7%	71.2%	57.7%
無回答	8	1	1	1	3	1	0	0
	2.2%	1.0%	0.8%	1.0%	3.0%	0.6%	0.0%	0.0%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

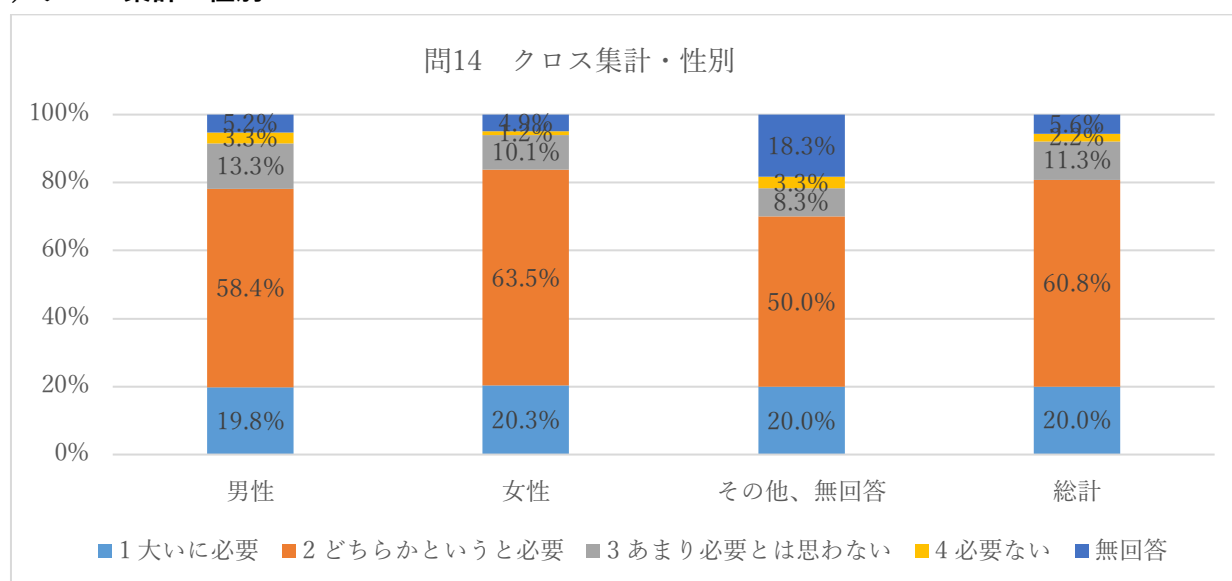
	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	0	6	7	0	0	1	105
	0.0%	14.3%	14.0%	0.0%	0.0%	2.5%	7.7%
2	1	3	3	1	1	1	90
	25.0%	7.1%	6.0%	7.1%	9.1%	2.5%	6.6%
3	1	9	15	3	1	6	305
	25.0%	21.4%	30.0%	21.4%	9.1%	15.0%	22.3%
4	2	23	24	10	9	27	845
	50.0%	54.8%	48.0%	71.4%	81.8%	67.5%	61.8%
無回答	0	1	1	0	0	5	22
	0.0%	2.4%	2.0%	0.0%	0.0%	12.5%	1.6%
総計	4	42	50	14	11	40	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ボランティア活動や NPO 活動への参加経験（「継続的」「直近 1 年間」「過去」を合わせた割合）は、全体で 36.6%であった。地区別では、家島地区と香寺地区がともに 50.0%で最も高く、夢前地区 42.8%、網干地区 42.3%、北部地区 39.4%が続く。継続的な参加は夢前地区 14.3%、香寺地区 14.0%、直近 1 年間の参加は家島地区 25.0%、網干地区 10.0%で高い。一方、地区不明は 18.2%、安富地区 28.5%、広畑地区 28.8%にとどまり、未経験者が多い。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

問 14 ボランティア活動や NPO 活動について、どのような感想をお持ちですか。【〇はひとつ】

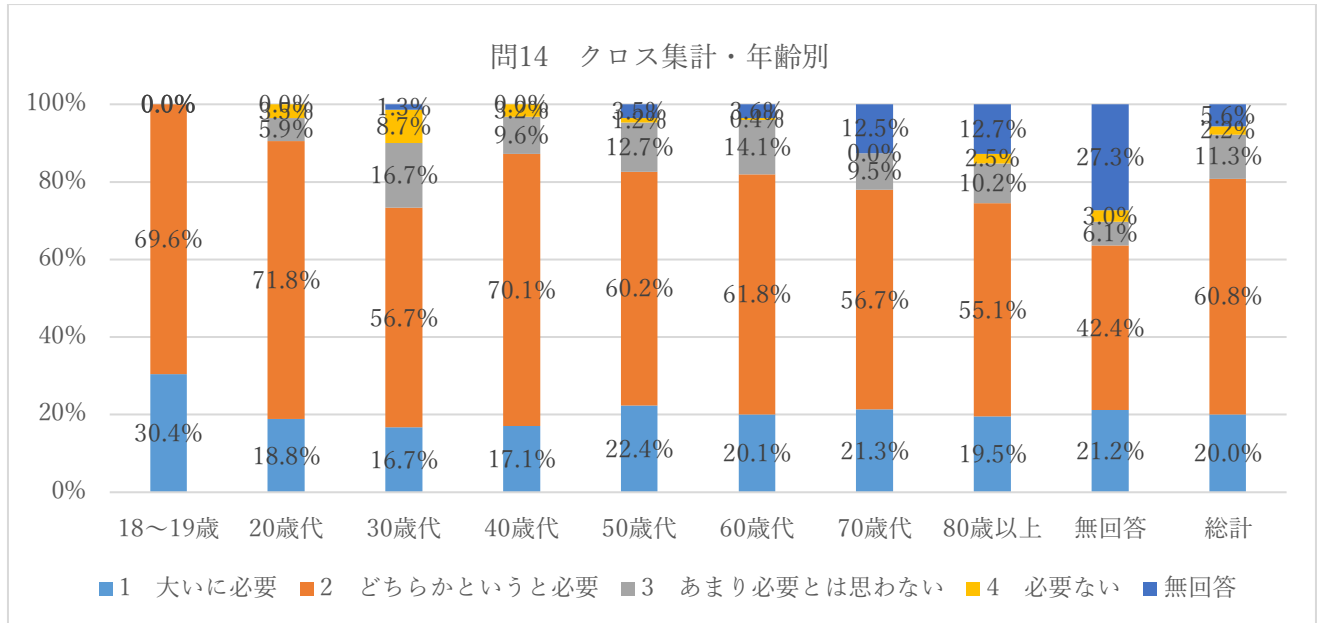
（１）クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	113	149	12	274
	19.8%	20.3%	20.0%	20.0%
2	334	467	30	831
	58.4%	63.5%	50.0%	60.8%
3	76	74	5	155
	13.3%	10.1%	8.3%	11.3%
4	19	9	2	30
	3.3%	1.2%	3.3%	2.2%
無回答	30	36	11	77
	5.2%	4.9%	18.3%	5.6%
総計	572	735	60	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ボランティア活動や NPO 活動について、必要性を感じている人（「大いに必要」＋「どちらかという必要」）は全体で 80.8%に達した。性別では、女性が 83.8%で最も高く、男性は 78.2%、その他・無回答は 70.0%であった。「大いに必要」は男性 19.8%、女性 20.3%とほぼ同程度である一方、「どちらかという必要」は女性が 63.5%で、男性の 58.4%を 5.1 ポイント上回っている。必要性を感じない人（「あまり必要とは思わない」＋「必要ない」）は男性 16.6%、女性 11.3%で、男性の方が高かった。全体として、女性の方が肯定的な認識を示している。

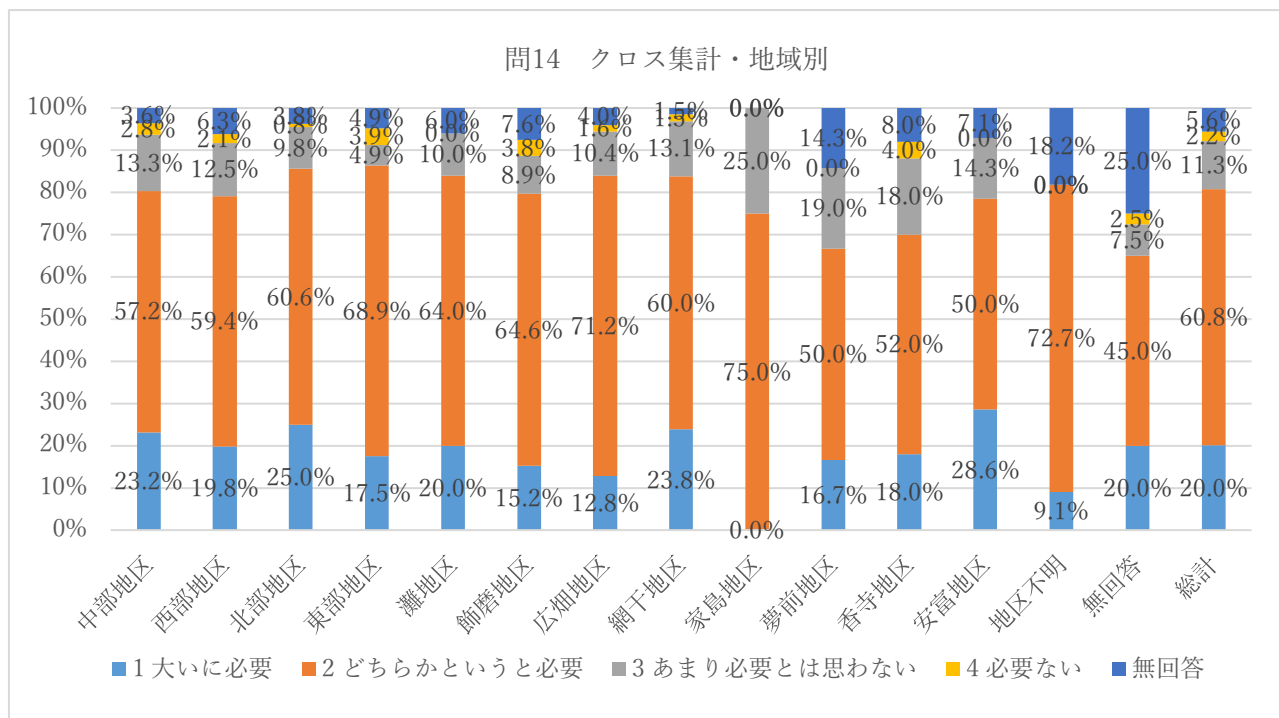
(2) クロス集計・年齢別



	18~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	7	16	25	32	58	50	56	23	7	274
	30.4%	18.8%	16.7%	17.1%	22.4%	20.1%	21.3%	19.5%	21.2%	20.0%
2	16	61	85	131	156	154	149	65	14	831
	69.6%	71.8%	56.7%	70.1%	60.2%	61.8%	56.7%	55.1%	42.4%	60.8%
3	0	5	25	18	33	35	25	12	2	155
	0.0%	5.9%	16.7%	9.6%	12.7%	14.1%	9.5%	10.2%	6.1%	11.3%
4	0	3	13	6	3	1	0	3	1	30
	0.0%	3.5%	8.7%	3.2%	1.2%	0.4%	0.0%	2.5%	3.0%	2.2%
無回答	0	0	2	0	9	9	33	15	9	77
	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	3.5%	3.6%	12.5%	12.7%	27.3%	5.6%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ボランティア活動やNPO活動を必要と感じている割合（「大いに必要」＋「どちらかという必要」）は、全体で80.8%であった。年齢別では、18～19歳が100.0%で最も高く、20歳代も90.6%と高い。40歳代は87.2%、50歳代は82.6%、60歳代は81.9%で、必要性への理解が広くみられる。一方、30歳代は73.4%、80歳以上は74.6%と比較的低く、「あまり必要とは思わない」「必要ない」の割合が高い。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	84 23.2%	19 19.8%	33 25.0%	18 17.5%	20 20.0%	24 15.2%	16 12.8%	31 23.8%
2	207 57.2%	57 59.4%	80 60.6%	71 68.9%	64 64.0%	102 64.6%	89 71.2%	78 60.0%
3	48 13.3%	12 12.5%	13 9.8%	5 4.9%	10 10.0%	14 8.9%	13 10.4%	17 13.1%
4	10 2.8%	2 2.1%	1 0.8%	4 3.9%	0 0.0%	6 3.8%	2 1.6%	2 1.5%
無回答	13 3.6%	6 6.3%	5 3.8%	5 4.9%	6 6.0%	12 7.6%	5 4.0%	2 1.5%
総計	362 100.0%	96 100.0%	132 100.0%	103 100.0%	100 100.0%	158 100.0%	125 100.0%	130 100.0%

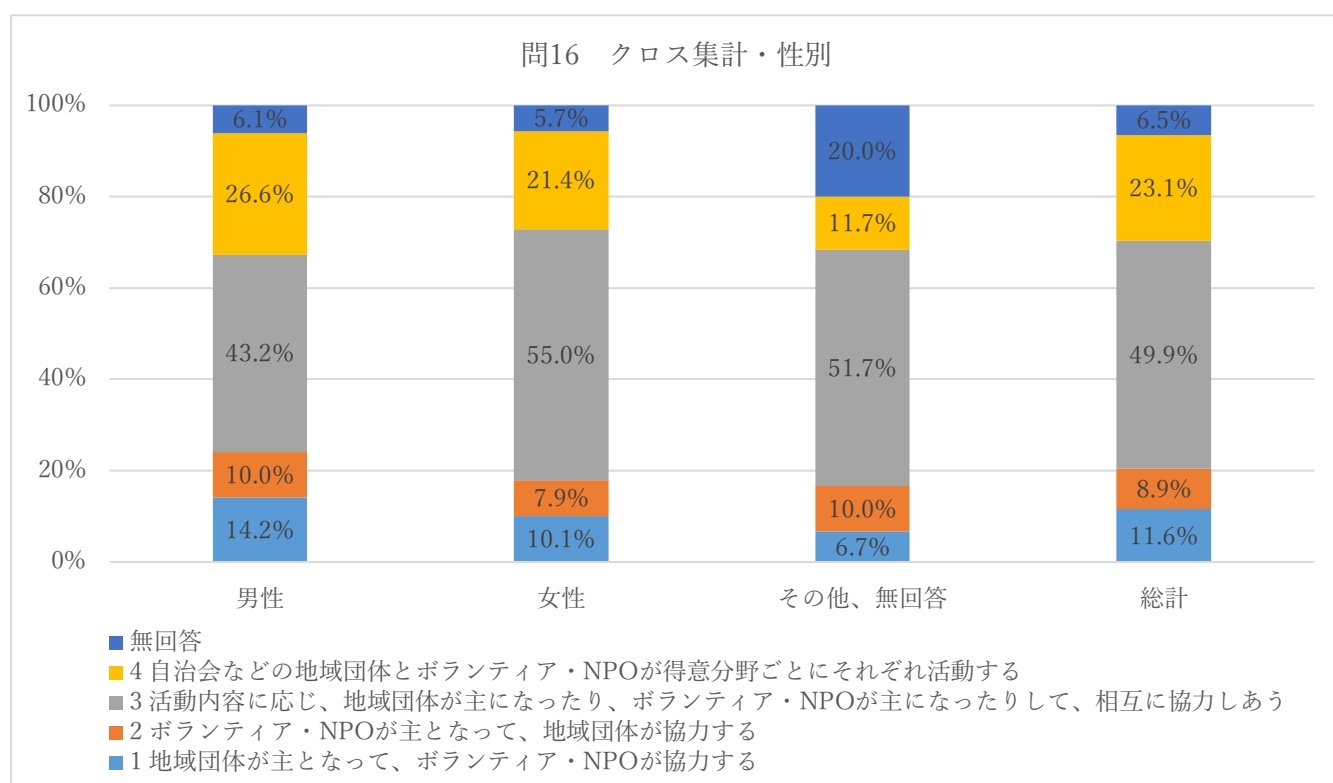
	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	0 0.0%	7 16.7%	9 18.0%	4 28.6%	1 9.1%	8 20.0%	274 20.0%
2	3 75.0%	21 50.0%	26 52.0%	7 50.0%	8 72.7%	18 45.0%	831 60.8%
3	1 25.0%	8 19.0%	9 18.0%	2 14.3%	0 0.0%	3 7.5%	155 11.3%
4	0 0.0%	0 0.0%	2 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	30 2.2%
無回答	0 0.0%	6 14.3%	4 8.0%	1 7.1%	2 18.2%	10 25.0%	77 5.6%
総計	4 100.0%	42 100.0%	50 100.0%	14 100.0%	11 100.0%	40 100.0%	1367 100.0%

ボランティア活動やNPO活動を必要と感じている割合（「大いに必要」＋「どちらかという必要」）は、全体で80.8%であった。地区別では東部地区が86.4%、北部地区が85.6%、灘地区と広畑地区が84.0%で高く、活動の必要性が広く認識されている。一方、夢前地区は66.7%、香寺地区は70.0%、家島地区は75.0%と比較的低く、「あまり必要とは思わない」の割合も高い。特に夢前地区では無回答が14.3%、地区不明では18.2%に達しており、解釈には留意が必要である。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

問 16 これからのまちづくりでは、自治会などの地域団体とボランティア・NPO がどのように役割分担をすることがよいと思われますか。【〇はひとつ】

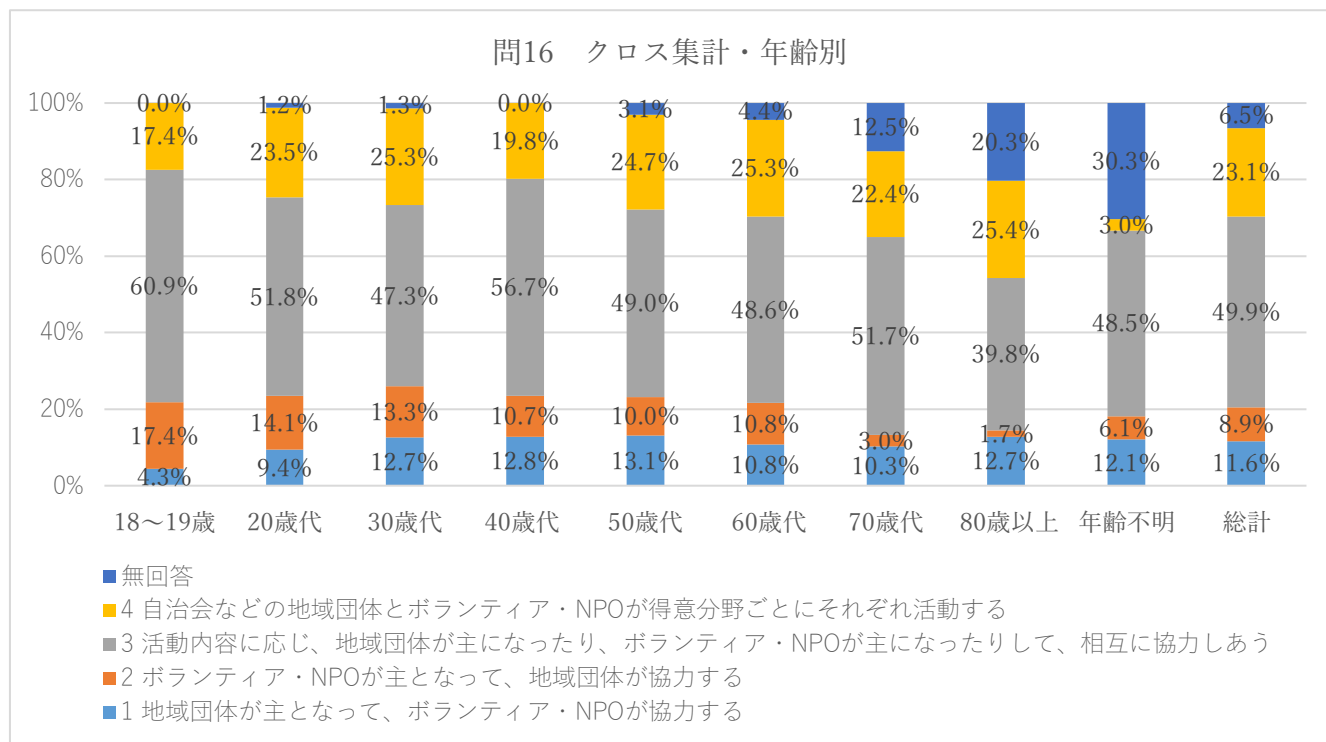
（１）クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	81	74	4	159
	14.2%	10.1%	6.7%	11.6%
2	57	58	6	121
	10.0%	7.9%	10.0%	8.9%
3	247	404	31	682
	43.2%	55.0%	51.7%	49.9%
4	152	157	7	316
	26.6%	21.4%	11.7%	23.1%
無回答	35	42	12	89
	6.1%	5.7%	20.0%	6.5%
総計	572	735	60	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

これからのまちづくりにおける地域団体とボランティア・NPO の役割分担については、「活動内容に応じて双方が主となり、相互に協力し合う」が 49.9%で最も多く、柔軟な連携を望む意見が半数を占めた。次いで、「得意分野ごとにそれぞれ活動する」が 23.1%、「地域団体が主となって協力する」が 11.6%、「ボランティア・NPO が主となって協力する」が 8.9%であった。性別では、相互協力を望む割合は女性が 55.0%で、男性の 43.2%を 11.8 ポイント上回った。一方、男性は「得意分野ごとに活動する」が 26.6%、「地域団体が主となる」が 14.2%と、女性より高い。女性は相互協力を重視し、男性は役割分担を明確にする傾向がみられる。

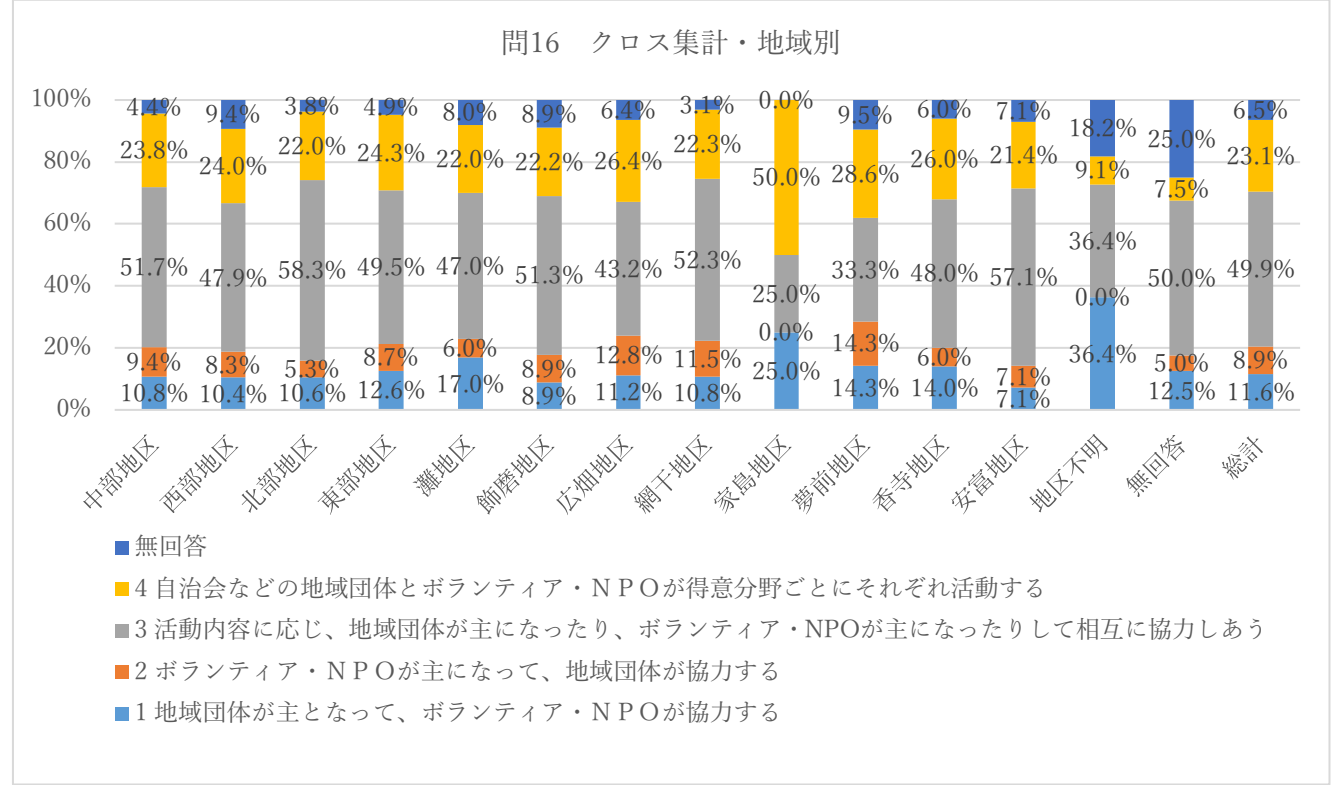
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	1	8	19	24	34	27	27	15	4	159
	4.3%	9.4%	12.7%	12.8%	13.1%	10.8%	10.3%	12.7%	12.1%	11.6%
2	4	12	20	20	26	27	8	2	2	121
	17.4%	14.1%	13.3%	10.7%	10.0%	10.8%	3.0%	1.7%	6.1%	8.9%
3	14	44	71	106	127	121	136	47	16	682
	60.9%	51.8%	47.3%	56.7%	49.0%	48.6%	51.7%	39.8%	48.5%	49.9%
4	4	20	38	37	64	63	59	30	1	316
	17.4%	23.5%	25.3%	19.8%	24.7%	25.3%	22.4%	25.4%	3.0%	23.1%
無回答	0	1	2	0	8	11	33	24	10	89
	0.0%	1.2%	1.3%	0.0%	3.1%	4.4%	12.5%	20.3%	30.3%	6.5%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

これからのまちづくりにおける役割分担は、全体で「活動内容に応じて相互に協力し合う」が49.9%と最も多く、すべての年齢で最多となった。特に18～19歳は60.9%、40歳代は56.7%と高い。一方、80歳以上は39.8%にとどまり、「得意分野ごとにそれぞれ活動する」が25.4%と比較的高い。若年層では「ボランティア・NPOが主となる」が18～19歳17.4%、20歳代14.1%と高いが、70歳代3.0%、80歳以上1.7%へと低下している。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	39	10	14	13	17	14	14	14
	10.8%	10.4%	10.6%	12.6%	17.0%	8.9%	11.2%	10.8%
2	34	8	7	9	6	14	16	15
	9.4%	8.3%	5.3%	8.7%	6.0%	8.9%	12.8%	11.5%
3	187	46	77	51	47	81	54	68
	51.7%	47.9%	58.3%	49.5%	47.0%	51.3%	43.2%	52.3%
4	86	23	29	25	22	35	33	29
	23.8%	24.0%	22.0%	24.3%	22.0%	22.2%	26.4%	22.3%
無回答	16	9	5	5	8	14	8	4
	4.4%	9.4%	3.8%	4.9%	8.0%	8.9%	6.4%	3.1%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	1	6	7	1	4	5	159
	25.0%	14.3%	14.0%	7.1%	36.4%	12.5%	11.6%
2	0	6	3	1	0	2	121
	0.0%	14.3%	6.0%	7.1%	0.0%	5.0%	8.9%
3	1	14	24	8	4	20	682

	25.0%	33.3%	48.0%	57.1%	36.4%	50.0%	49.9%
4	2	12	13	3	1	3	316
	50.0%	28.6%	26.0%	21.4%	9.1%	7.5%	23.1%
無回答	0	4	3	1	2	10	89
	0.0%	9.5%	6.0%	7.1%	18.2%	25.0%	6.5%
総計	4	42	50	14	11	40	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

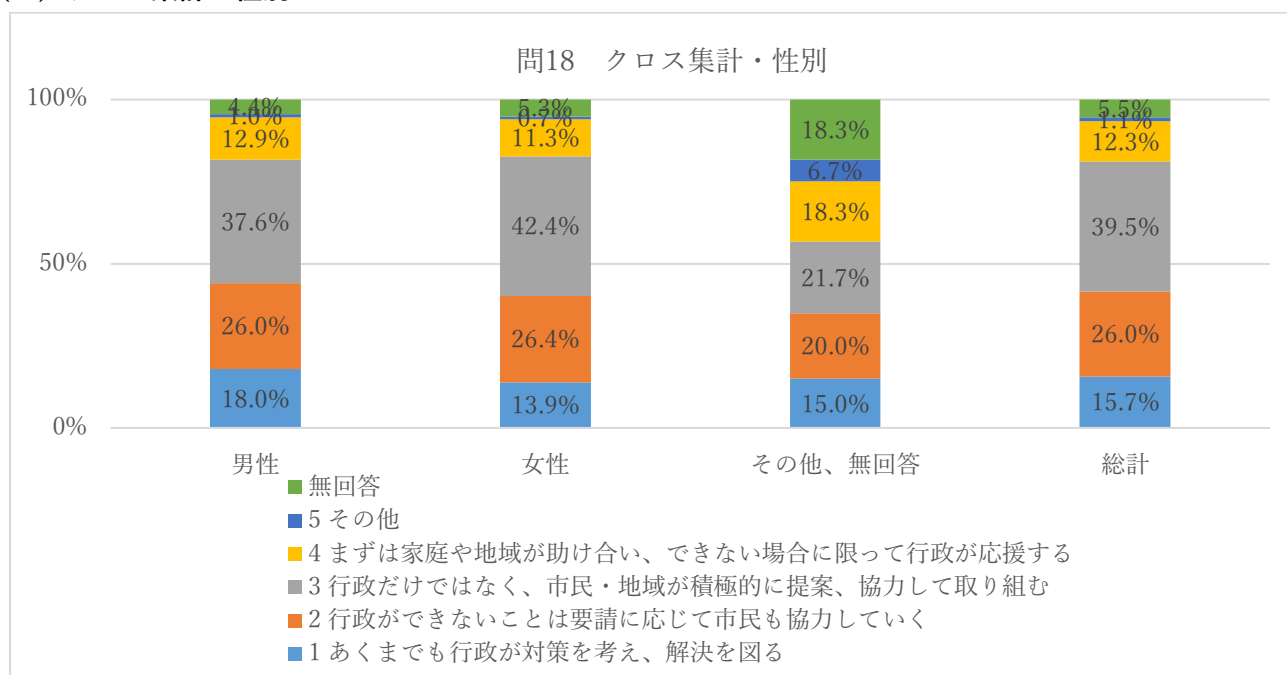
これからのまちづくりにおける役割分担は、全体では「活動内容に応じて相互に協力し合う」が49.9%で最も多く、地区別では北部地区58.3%、安富地区57.1%、網干地区52.3%などで高い。一方、家島地区は25.0%、夢前地区は33.3%にとどまる。家島地区では「得意分野ごとにそれぞれ活動する」が50.0%と最も高く、夢前地区でも28.6%であった。また、灘地区では「地域団体が主となる」が17.0%、広畑地区では「得意分野ごとに活動する」が26.4%と比較的高く、地域によって望ましい連携の形に違いがみられる。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

問18 地域の問題解決のために、行政と市民はどうあるべきだと思いますか【〇はひとつ】

全体の集計結果	回答数	割合
1 あくまでも行政が対策を考え、解決を図る	214	15.7%
2 行政ができないことは要請に応じて市民も協力していく	355	26.0%
3 行政だけでなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む	540	39.5%
4 まずは家庭や地域が助け合い、できない場合に限って行政が応援する	168	12.3%
5 その他	15	1.1%
無回答	75	5.5%
合計	1,367	100.0%

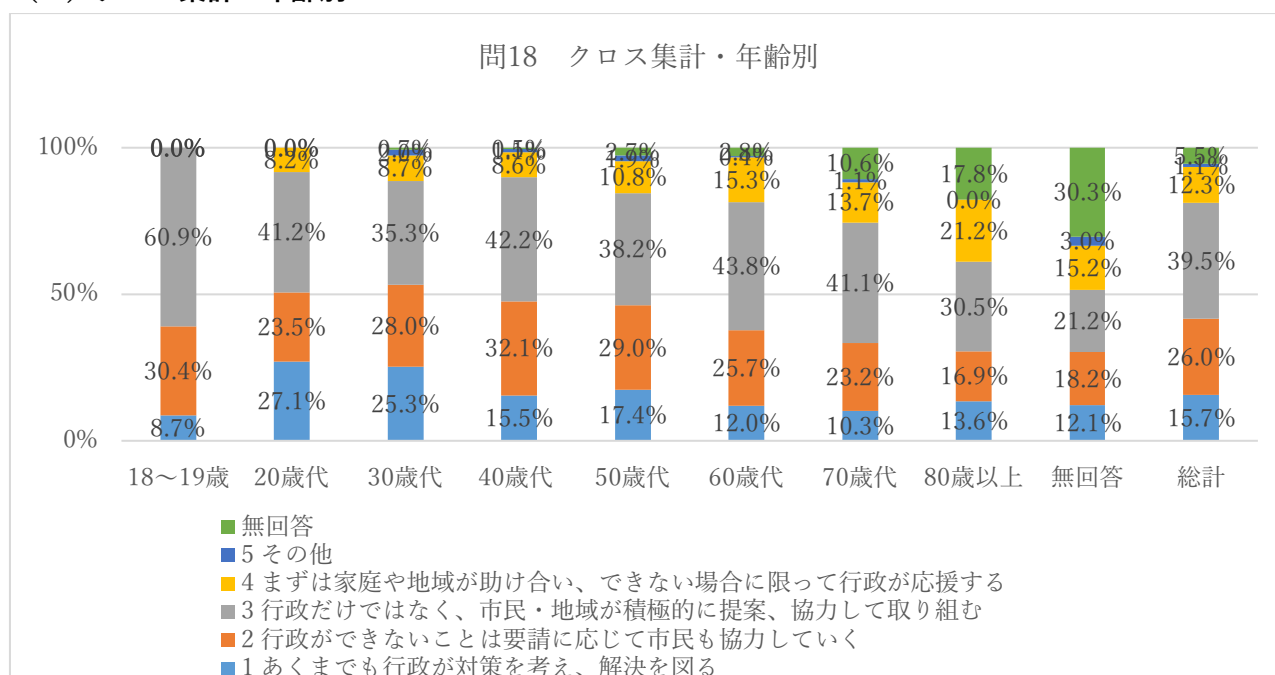
(1) クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	103	102	9	214
	18.0%	13.9%	15.0%	15.7%
2	149	194	12	355
	26.0%	26.4%	20.0%	26.0%
3	215	312	13	540
	37.6%	42.4%	21.7%	39.5%
4	74	83	11	168
	12.9%	11.3%	18.3%	12.3%
5	6	5	4	15
	1.0%	0.7%	6.7%	1.1%
無回答	25	39	11	75
	4.4%	5.3%	18.3%	5.5%
総計	572	735	60	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域の問題解決に向けて、「行政だけでなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む」が全体で39.5%と最も高く、次いで「行政ができないことは要請に応じて市民も協力していく」が26.0%であった。行政と市民の協力を重視する割合は、男性63.6%、女性68.8%で、女性が5.2ポイント高い。一方、「あくまでも行政が対策を考え、解決を図る」は男性18.0%、女性13.9%で、男性が上回った。「家庭や地域が助け合う」は男性12.9%、女性11.3%であった。全体として、女性は市民・地域の積極的な参画を、男性は行政主導をやや重視する傾向がみられる。

(2) クロス集計・年齢別

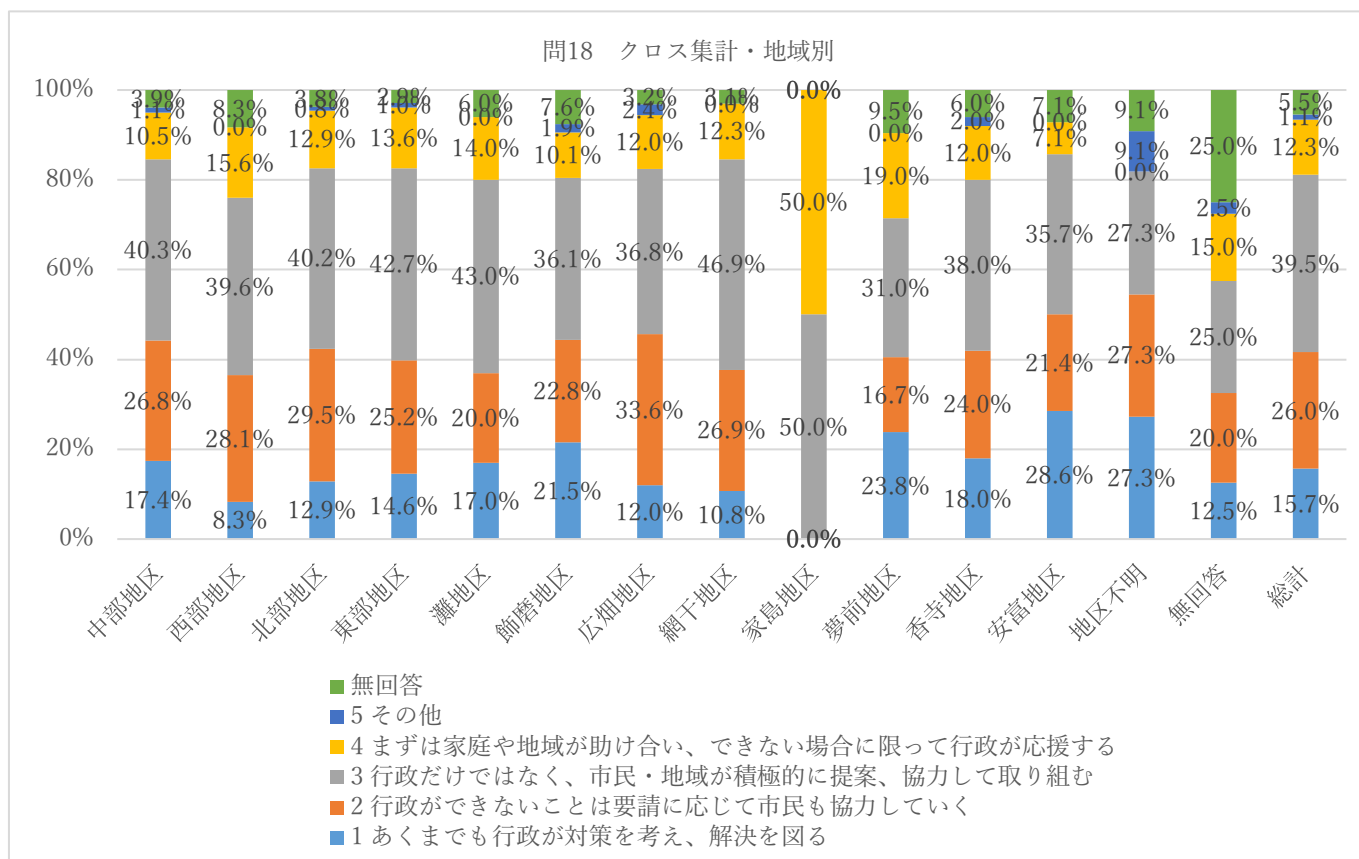


	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	2	23	38	29	45	30	27	16	4	214
	8.7%	27.1%	25.3%	15.5%	17.4%	12.0%	10.3%	13.6%	12.1%	15.7%
2	7	20	42	60	75	64	61	20	6	355
	30.4%	23.5%	28.0%	32.1%	29.0%	25.7%	23.2%	16.9%	18.2%	26.0%
3	14	35	53	79	99	109	108	36	7	540
	60.9%	41.2%	35.3%	42.2%	38.2%	43.8%	41.1%	30.5%	21.2%	39.5%
4	0	7	13	16	28	38	36	25	5	168
	0.0%	8.2%	8.7%	8.6%	10.8%	15.3%	13.7%	21.2%	15.2%	12.3%

5	0	0	3	2	5	1	3	0	1	15
	0.0%	0.0%	2.0%	1.1%	1.9%	0.4%	1.1%	0.0%	3.0%	1.1%
無回答	0	0	1	1	7	7	28	21	10	75
	0.0%	0.0%	0.7%	0.5%	2.7%	2.8%	10.6%	17.8%	30.3%	5.5%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域の問題解決に向けて、「行政だけでなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む」が全体で39.5%と最も高く、次いで「行政ができないことは要請に応じて市民も協力していく」が26.0%であった。両者を合わせた協力重視の割合は、18～19歳が91.3%で最も高く、40歳代74.3%、60歳代69.5%、70歳代64.3%と続く。一方、80歳以上は47.4%にとどまり、「まずは家庭や地域が助け合う」が21.2%と高い。20～30歳代では行政主導を求める割合が比較的高く、年齢により役割分担の意識に違いがみられる。なお、高齢層では無回答が多くなっている。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	63	8	17	15	17	34	15	14
	17.4%	8.3%	12.9%	14.6%	17.0%	21.5%	12.0%	10.8%
2	97	27	39	26	20	36	42	35
	26.8%	28.1%	29.5%	25.2%	20.0%	22.8%	33.6%	26.9%
3	146	38	53	44	43	57	46	61
	40.3%	39.6%	40.2%	42.7%	43.0%	36.1%	36.8%	46.9%
4	38	15	17	14	14	16	15	16
	10.5%	15.6%	12.9%	13.6%	14.0%	10.1%	12.0%	12.3%
5	4	0	1	1	0	3	3	0
	1.1%	0.0%	0.8%	1.0%	0.0%	1.9%	2.4%	0.0%

無回答	14	8	5	3	6	12	4	4
	3.9%	8.3%	3.8%	2.9%	6.0%	7.6%	3.2%	3.1%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	0	10	9	4	3	5	214
	0.0%	23.8%	18.0%	28.6%	27.3%	12.5%	15.7%
2	0	7	12	3	3	8	355
	0.0%	16.7%	24.0%	21.4%	27.3%	20.0%	26.0%
3	2	13	19	5	3	10	540
	50.0%	31.0%	38.0%	35.7%	27.3%	25.0%	39.5%
4	2	8	6	1	0	6	168
	50.0%	19.0%	12.0%	7.1%	0.0%	15.0%	12.3%
5	0	0	1	0	1	1	15
	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	9.1%	2.5%	1.1%
無回答	0	4	3	1	1	10	75
	0.0%	9.5%	6.0%	7.1%	9.1%	25.0%	5.5%
総計	4	42	50	14	11	40	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

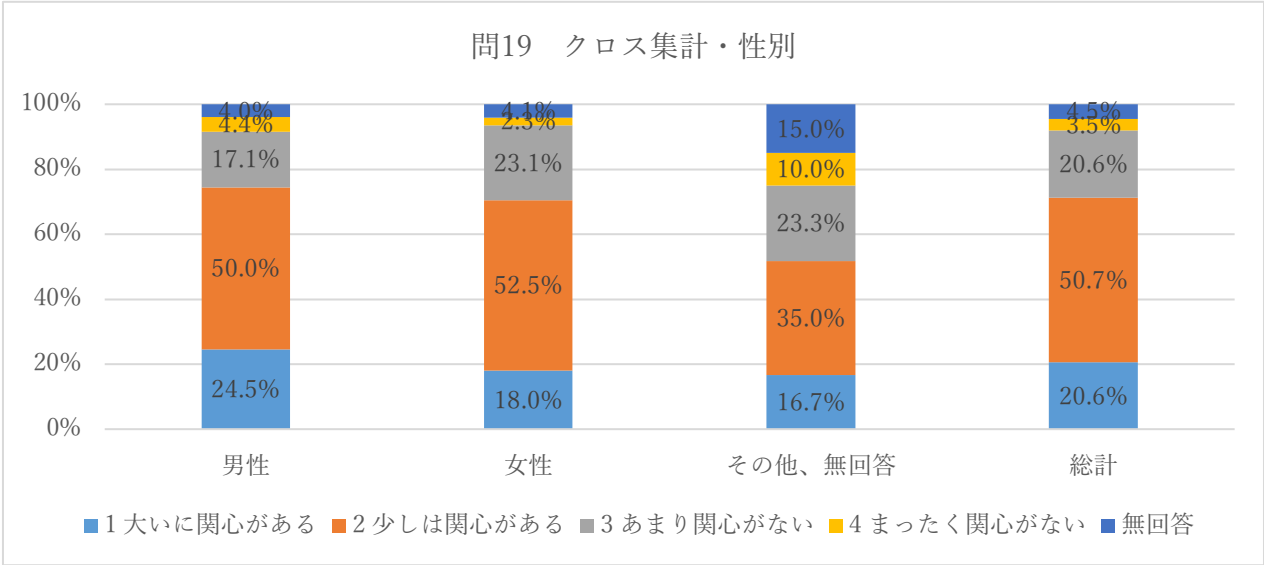
地域の問題解決に向けて、「行政ができないことは市民も協力する」と「市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む」を合わせた協力重視の割合は、全体で 65.5%であった。地区別では網干地区が 73.8%、東部地区が 67.9%、北部地区が 69.7%と高く、特に網干地区は「市民・地域が積極的に取り組む」が 46.9%で最も高い。一方、夢前地区や飾磨地区では「行政が対策を考え、解決を図る」がそれぞれ 23.8%、21.5%と比較的高い。家島地区は「市民・地域が積極的に取り組む」と「家庭や地域が助け合う」が各 50.0%であった。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

III 市政への関わりについて

問 19 市役所がどのような仕事をしているか、どのような計画を立てているか関心をお持ちですか。
【〇はひとつ】

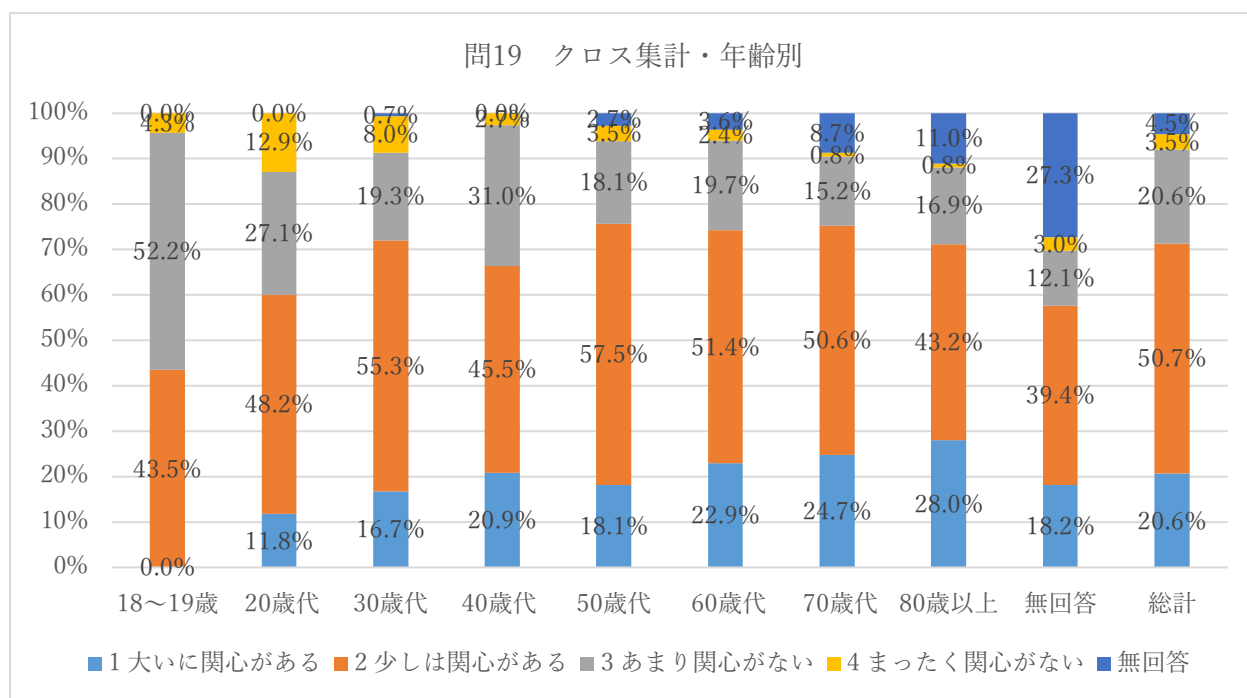
(1) クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	140	132	10	282
	24.5%	18.0%	16.7%	20.6%
2	286	386	21	693
	50.0%	52.5%	35.0%	50.7%
3	98	170	14	282
	17.1%	23.1%	23.3%	20.6%
4	25	17	6	48
	4.4%	2.3%	10.0%	3.5%
無回答	23	30	9	62
	4.0%	4.1%	15.0%	4.5%
総計	572	735	60	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

市役所の仕事や計画について関心がある人(「大いに関心がある」+「少しは関心がある」)は、全体で 71.3%であった。性別では、男性が 74.5%で最も高く、女性は 70.5%とやや低い。男性は「大いに関心がある」が 24.5%で、女性の 18.0%を 6.5 ポイント上回る一方、「少しは関心がある」は女性が 52.5%で、男性の 50.0%を上回った。関心がない人は男性 21.5%、女性 25.4%で、女性がやや高い。

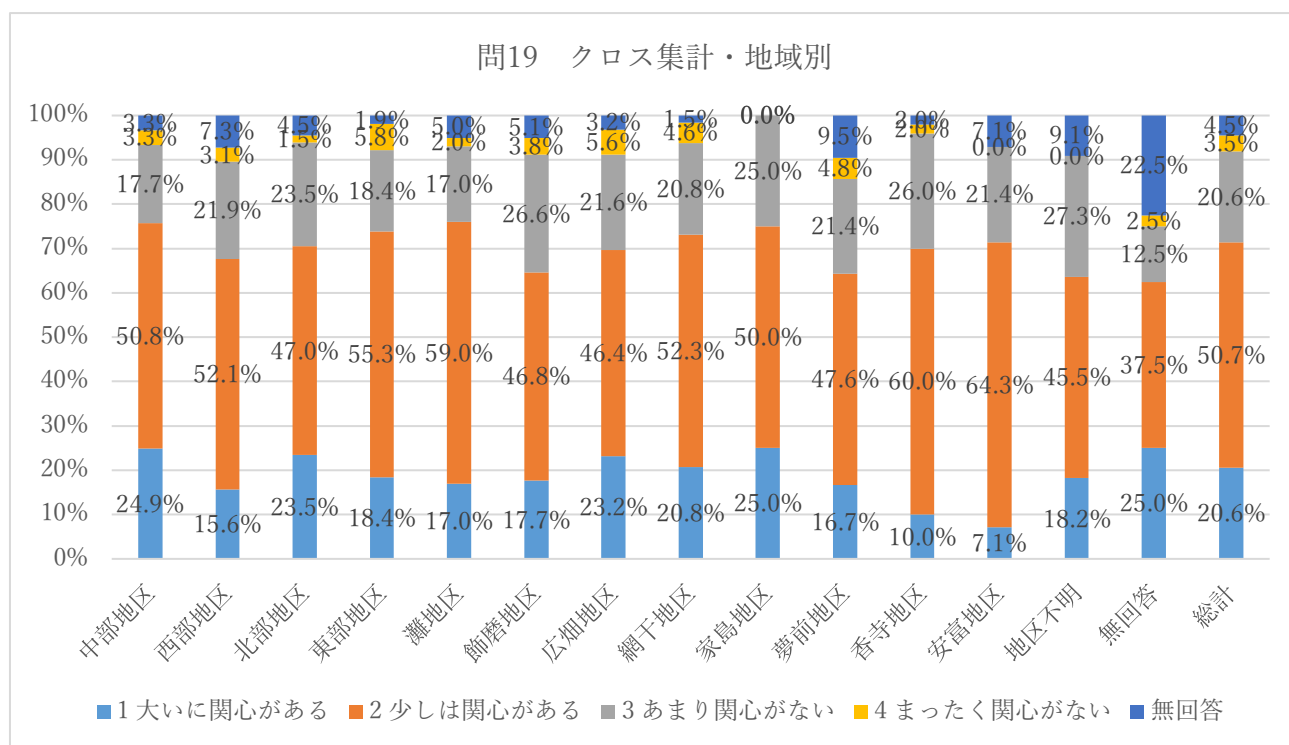
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	0	10	25	39	47	57	65	33	6	282
	0.0%	11.8%	16.7%	20.9%	18.1%	22.9%	24.7%	28.0%	18.2%	20.6%
2	10	41	83	85	149	128	133	51	13	693
	43.5%	48.2%	55.3%	45.5%	57.5%	51.4%	50.6%	43.2%	39.4%	50.7%
3	12	23	29	58	47	49	40	20	4	282
	52.2%	27.1%	19.3%	31.0%	18.1%	19.7%	15.2%	16.9%	12.1%	20.6%
4	1	11	12	5	9	6	2	1	1	48
	4.3%	12.9%	8.0%	2.7%	3.5%	2.4%	0.8%	0.8%	3.0%	3.5%
無回答	0	0	1	0	7	9	23	13	9	62
	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	2.7%	3.6%	8.7%	11.0%	27.3%	4.5%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

市役所の仕事や計画に興味がある人（「大いに興味がある」＋「少しは興味がある」）は、全体で71.3%であった。年齢別では、50歳代が75.6%、70歳代が75.3%、60歳代が74.3%と高く、80歳以上も71.2%であった。特に「大いに興味がある」は80歳以上が28.0%で最も高い。一方、18～19歳は43.5%にとどまり、「あまり興味がない」「まったく興味がない」が計56.5%を占めた。20歳代も興味がある割合は60.0%で、若年層ほど関心が低い傾向がみられる。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	90	15	31	19	17	28	29	27
	24.9%	15.6%	23.5%	18.4%	17.0%	17.7%	23.2%	20.8%
2	184	50	62	57	59	74	58	68
	50.8%	52.1%	47.0%	55.3%	59.0%	46.8%	46.4%	52.3%
3	64	21	31	19	17	42	27	27
	17.7%	21.9%	23.5%	18.4%	17.0%	26.6%	21.6%	20.8%
4	12	3	2	6	2	6	7	6
	3.3%	3.1%	1.5%	5.8%	2.0%	3.8%	5.6%	4.6%
無回答	12	7	6	2	5	8	4	2
	3.3%	7.3%	4.5%	1.9%	5.0%	5.1%	3.2%	1.5%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	1	7	5	1	2	10	282
	25.0%	16.7%	10.0%	7.1%	18.2%	25.0%	20.6%
2	2	20	30	9	5	15	693
	50.0%	47.6%	60.0%	64.3%	45.5%	37.5%	50.7%
3	1	9	13	3	3	5	282
	25.0%	21.4%	26.0%	21.4%	27.3%	12.5%	20.6%
4	0	2	1	0	0	1	48
	0.0%	4.8%	2.0%	0.0%	0.0%	2.5%	3.5%
無回答	0	4	1	1	1	9	62
	0.0%	9.5%	2.0%	7.1%	9.1%	22.5%	4.5%
総計	4	42	50	14	11	40	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

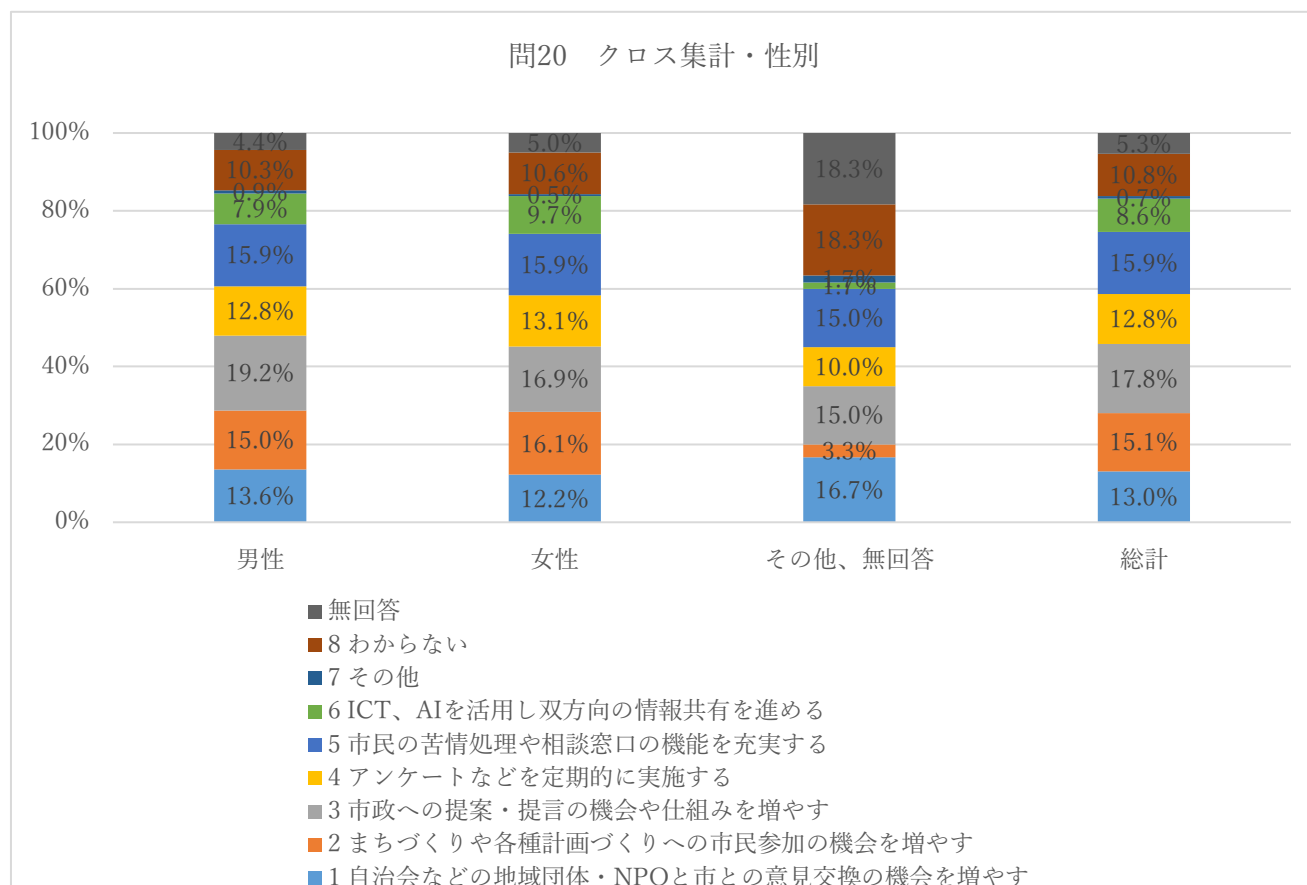
市役所の仕事や計画に関心がある人（「大いに関心がある」＋「少しは関心がある」）は、全体で 71.3% であった。地区別では灘地区が 76.0%、中部地区が 75.7%、家島地区が 75.0%と高く、特に「大いに関心がある」は家島地区 25.0%、中部地区 24.9%で高い。一方、夢前地区は 64.3%、飾磨地区は 64.5%にとどまり、「あまり関心がない」割合も比較的高い。地区によって関心の程度に差がみられている。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

問 20 市民の声を市政に反映していくためには、どのようなことが大切でしょうか【〇はひとつ】

全体の集計結果	回答数	割合
1 自治会などの地域団体・NPO と市との意見交換の機会を増やす	178	13.0%
2 まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす	206	15.1%
3 市政への提案・提言の機会やしくみを増やす	243	17.8%
4 アンケートなどを定期的実施する	175	12.8%
5 市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する	217	15.9%
6 ICT、AI を活用し、双方向の情報共有を進める	117	8.6%
7 その他	10	0.7%
8 わからない	148	10.8%
無回答	73	5.3%
合計	1,367	100.0%

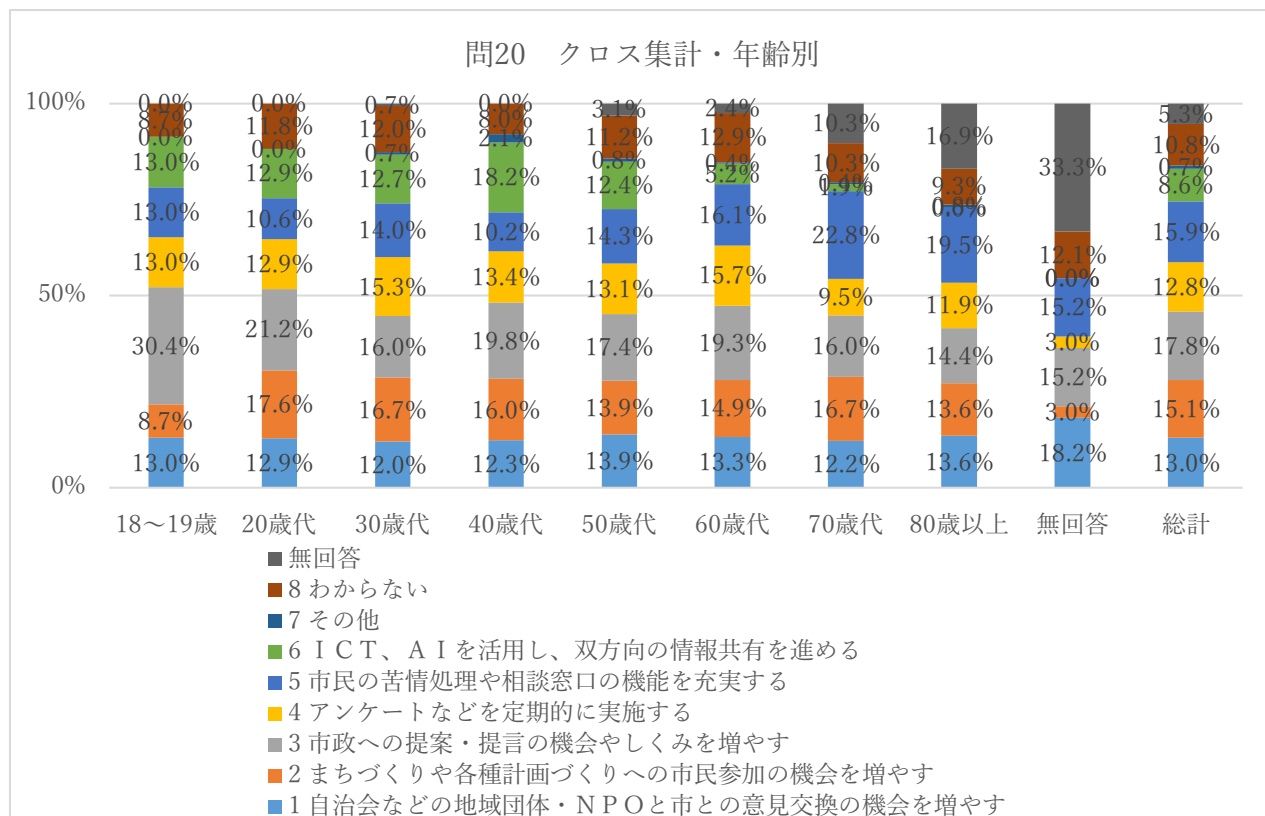
（１）クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	78	90	10	178
	13.6%	12.2%	16.7%	13.0%
2	86	118	2	206
	15.0%	16.1%	3.3%	15.1%
3	110	124	9	243
	19.2%	16.9%	15.0%	17.8%
4	73	96	6	175
	12.8%	13.1%	10.0%	12.8%
5	91	117	9	217
	15.9%	15.9%	15.0%	15.9%
6	45	71	1	117
	7.9%	9.7%	1.7%	8.6%
7	5	4	1	10
	0.9%	0.5%	1.7%	0.7%
8	59	78	11	148
	10.3%	10.6%	18.3%	10.8%
無回答	25	37	11	73
	4.4%	5.0%	18.3%	5.3%
総計	572	735	60	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

市民の声を市政に反映するために重要な取組は、全体では「市政への提案・提言の機会や仕組みを増やす」が17.8%で最も高く、次いで「市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する」15.9%、「まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす」15.1%となった。性別では、男性は「提案・提言の機会の充実」が19.2%で、女性の16.9%を上回る。一方、女性は「市民参加の機会の増加」が16.1%、「ICT・AIを活用した情報共有」が9.7%で、男性より高かった。男女とも市民の意見を直接届ける仕組みを重視している。また、無回答や「わからない」と回答した割合も多い。

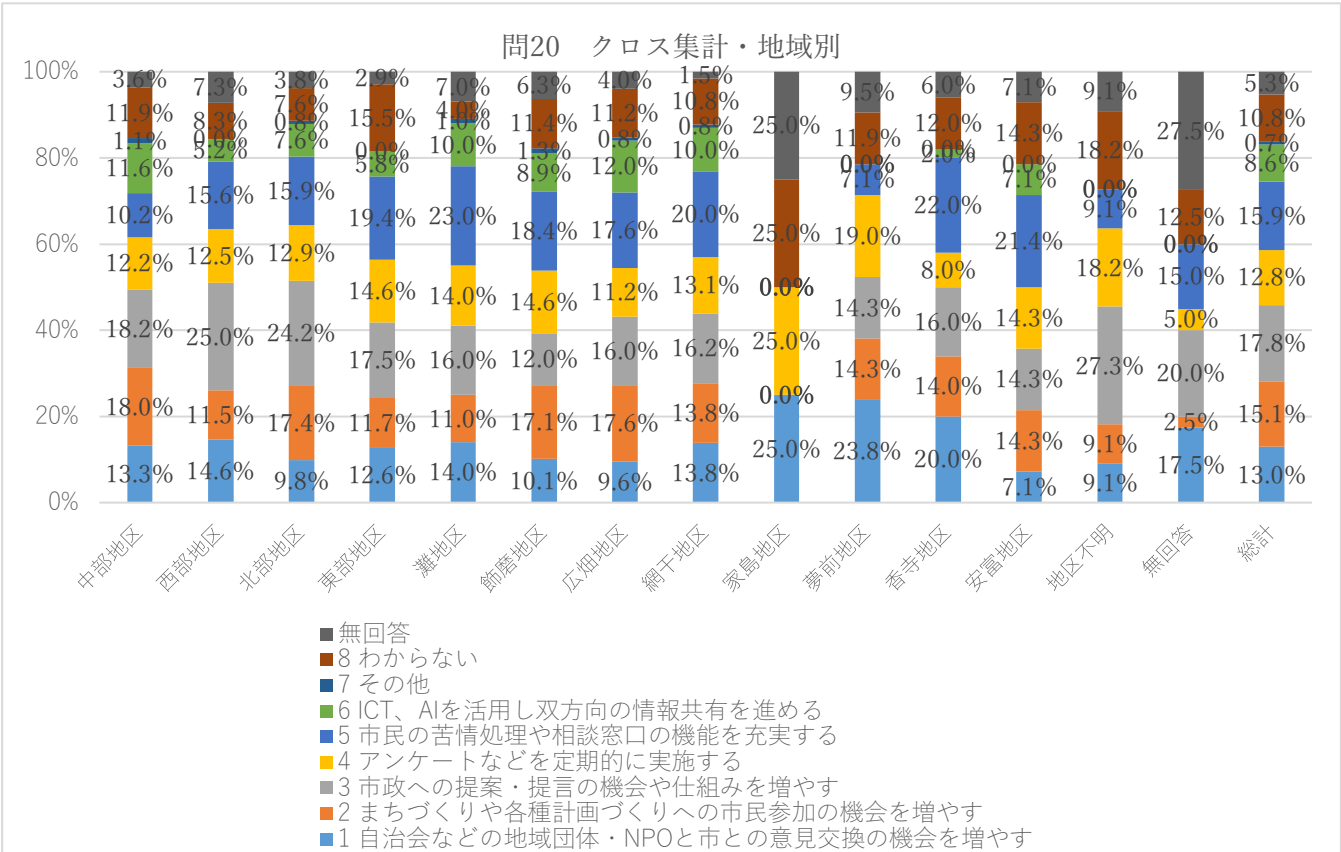
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	3	11	18	23	36	33	32	16	6	178
	13.0%	12.9%	12.0%	12.3%	13.9%	13.3%	12.2%	13.6%	18.2%	13.0%
2	2	15	25	30	36	37	44	16	1	206
	8.7%	17.6%	16.7%	16.0%	13.9%	14.9%	16.7%	13.6%	3.0%	15.1%
3	7	18	24	37	45	48	42	17	5	243
	30.4%	21.2%	16.0%	19.8%	17.4%	19.3%	16.0%	14.4%	15.2%	17.8%
4	3	11	23	25	34	39	25	14	1	175
	13.0%	12.9%	15.3%	13.4%	13.1%	15.7%	9.5%	11.9%	3.0%	12.8%
5	3	9	21	19	37	40	60	23	5	217
	13.0%	10.6%	14.0%	10.2%	14.3%	16.1%	22.8%	19.5%	15.2%	15.9%
6	3	11	19	34	32	13	5	0	0	117
	13.0%	12.9%	12.7%	18.2%	12.4%	5.2%	1.9%	0.0%	0.0%	8.6%
7	0	0	1	4	2	1	1	1	0	10
	0.0%	0.0%	0.7%	2.1%	0.8%	0.4%	0.4%	0.8%	0.0%	0.7%
8	2	10	18	15	29	32	27	11	4	148
	8.7%	11.8%	12.0%	8.0%	11.2%	12.9%	10.3%	9.3%	12.1%	10.8%
無回答	0	0	1	0	8	6	27	20	11	73
	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	3.1%	2.4%	10.3%	16.9%	33.3%	5.3%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

市民の声を市政に反映するために重要な取組は、全体では「市政への提案・提言の機会や仕組みを増やす」が17.8%で最も高く、次いで「市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する」15.9%、「市民参加の機会を増やす」15.1%となった。年齢別では、18～19歳は「提案・提言の機会」が30.4%、20歳代は21.2%と高い。40歳代は「ICT・AIを活用した情報共有」が18.2%で最も高い一方、60歳代以降は低下する。70歳代・80歳以上では相談窓口の充実がそれぞれ22.8%、19.5%と高く、年齢により重視する取組に違いがみられる。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	48	14	13	13	14	16	12	18
	13.3%	14.6%	9.8%	12.6%	14.0%	10.1%	9.6%	13.8%
2	65	11	23	12	11	27	22	18
	18.0%	11.5%	17.4%	11.7%	11.0%	17.1%	17.6%	13.8%
3	66	24	32	18	16	19	20	21
	18.2%	25.0%	24.2%	17.5%	16.0%	12.0%	16.0%	16.2%
4	44	12	17	15	14	23	14	17
	12.2%	12.5%	12.9%	14.6%	14.0%	14.6%	11.2%	13.1%
5	37	15	21	20	23	29	22	26
	10.2%	15.6%	15.9%	19.4%	23.0%	18.4%	17.6%	20.0%
6	42	5	10	6	10	14	15	13
	11.6%	5.2%	7.6%	5.8%	10.0%	8.9%	12.0%	10.0%
7	4	0	1	0	1	2	1	1
	1.1%	0.0%	0.8%	0.0%	1.0%	1.3%	0.8%	0.8%
8	43	8	10	16	4	18	14	14
	11.9%	8.3%	7.6%	15.5%	4.0%	11.4%	11.2%	10.8%
無回答	13	7	5	3	7	10	5	2

	3.6%	7.3%	3.8%	2.9%	7.0%	6.3%	4.0%	1.5%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	1	10	10	1	1	7	178
	25.0%	23.8%	20.0%	7.1%	9.1%	17.5%	13.0%
2	0	6	7	2	1	1	206
	0.0%	14.3%	14.0%	14.3%	9.1%	2.5%	15.1%
3	0	6	8	2	3	8	243
	0.0%	14.3%	16.0%	14.3%	27.3%	20.0%	17.8%
4	1	8	4	2	2	2	175
	25.0%	19.0%	8.0%	14.3%	18.2%	5.0%	12.8%
5	0	3	11	3	1	6	217
	0.0%	7.1%	22.0%	21.4%	9.1%	15.0%	15.9%
6	0	0	1	1	0	0	117
	0.0%	0.0%	2.0%	7.1%	0.0%	0.0%	8.6%
7	0	0	0	0	0	0	10
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
8	1	5	6	2	2	5	148
	25.0%	11.9%	12.0%	14.3%	18.2%	12.5%	10.8%
無回答	1	4	3	1	1	11	73
	25.0%	9.5%	6.0%	7.1%	9.1%	27.5%	5.3%
総計	4	42	50	14	11	40	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

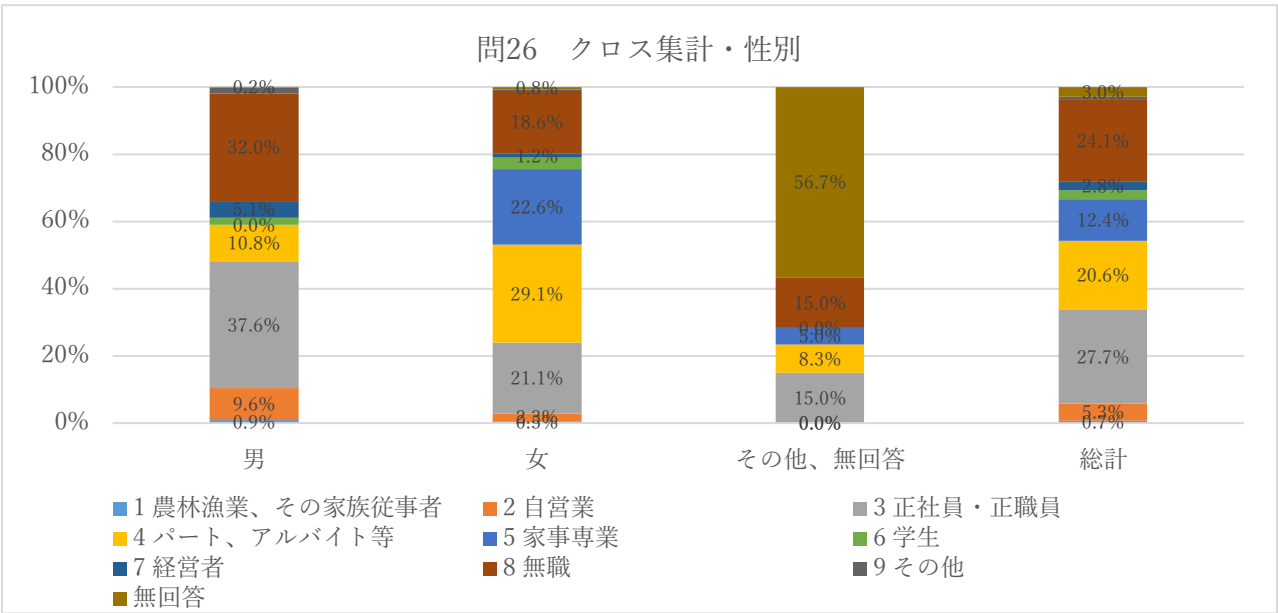
市民の声を市政に反映するために重要な取組は、全体では「市政への提案・提言の機会や仕組みを増やす」が17.8%で最も高く、次いで「市民参加の機会を増やす」15.1%、「相談窓口の機能を充実する」15.9%となった。地区別では、西部地区・北部地区・地区不明で「提案・提言の機会」が比較的高く、灘地区・安富地区・香寺地区では「相談窓口の充実」が高い。中部地区は「市民参加の機会」、夢前地区は「地域団体・NPO との意見交換」がそれぞれ最多で、地域ごとに重視する取組に違いがみられる。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

IV 回答者自身について

問 26 主な職業についてお答えください。【〇はひとつ】

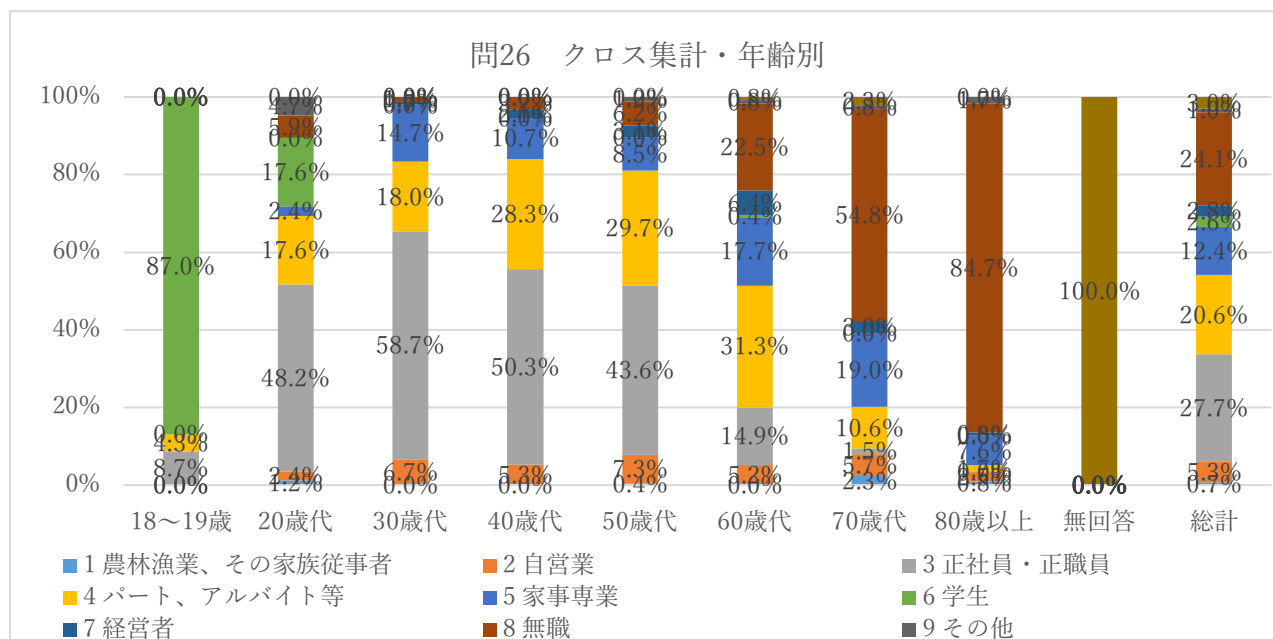
(1) クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	5 0.9%	4 0.5%	0 0.0%	9 0.7%
2	55 9.6%	17 2.3%	0 0.0%	72 5.3%
3	215 37.6%	155 21.1%	9 15.0%	379 27.7%
4	62 10.8%	214 29.1%	5 8.3%	281 20.6%
5	0 0.0%	166 22.6%	3 5.0%	169 12.4%
6	12 2.1%	24 3.3%	0 0.0%	36 2.6%
7	29 5.1%	9 1.2%	0 0.0%	38 2.8%
8	183 32.0%	137 18.6%	9 15.0%	329 24.1%
9	10 1.7%	3 0.4%	0 0.0%	13 1.0%
無回答	1 0.2%	6 0.8%	34 56.7%	41 3.0%
総計	572 100.0%	735 100.0%	60 100.0%	1367 100.0%

主な職業は、全体では「正社員・正職員」が27.7%で最も多く、次いで「無職」24.1%、「パート、アルバイト等」20.6%、「家事専業」12.4%となった。性別では、男性は「正社員・正職員」が37.6%、「無職」が32.0%と高く、自営業も9.6%を占める。一方、女性は「パート、アルバイト等」が29.1%で最も高く、「家事専業」22.6%が続き、男性を大きく上回った。女性の正社員・正職員は21.1%で、男性より16.5ポイント低い。経営者も男性5.1%、女性1.2%と差がみられ、性別による就業形態の違いが表れている。

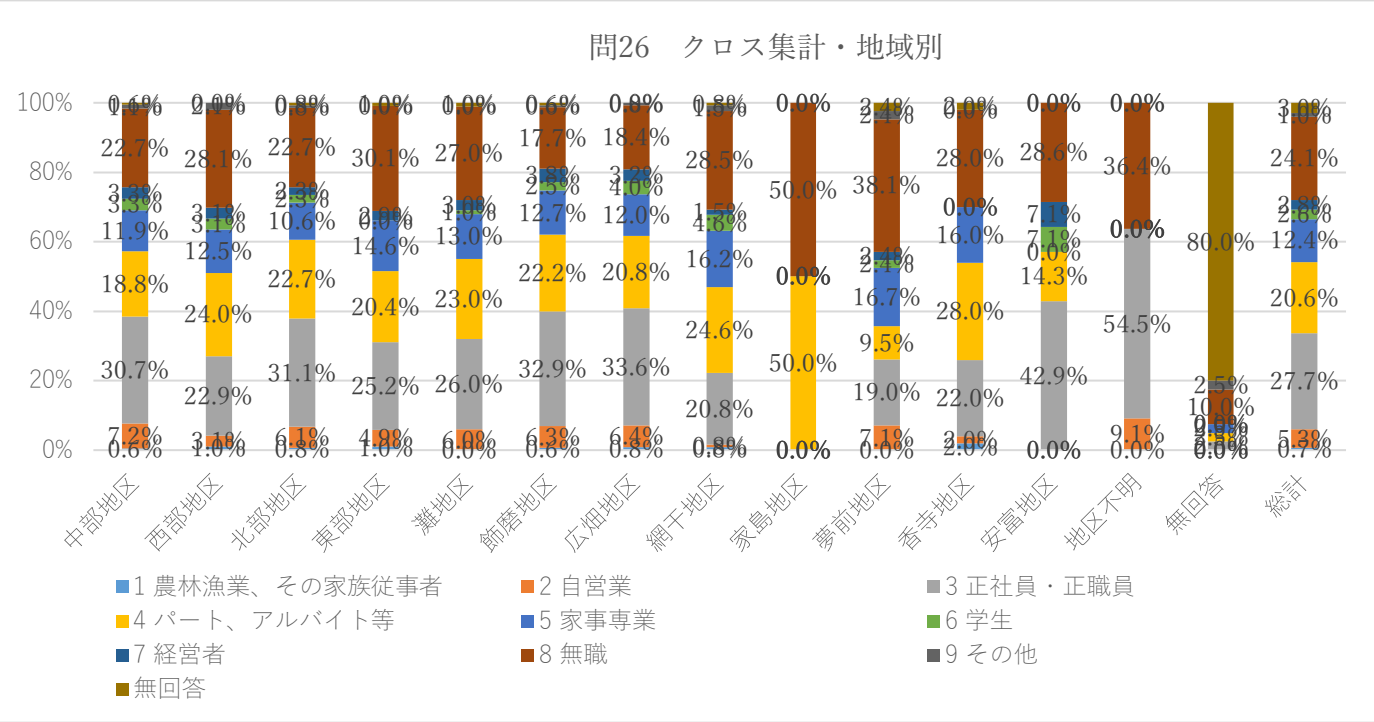
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	0	1	0	0	1	0	6	1	0	9
	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	2.3%	0.8%	0.0%	0.7%
2	0	2	10	10	19	13	15	3	0	72
	0.0%	2.4%	6.7%	5.3%	7.3%	5.2%	5.7%	2.5%	0.0%	5.3%
3	2	41	88	94	113	37	4	0	0	379
	8.7%	48.2%	58.7%	50.3%	43.6%	14.9%	1.5%	0.0%	0.0%	27.7%
4	1	15	27	53	77	78	28	2	0	281
	4.3%	17.6%	18.0%	28.3%	29.7%	31.3%	10.6%	1.7%	0.0%	20.6%
5	0	2	22	20	22	44	50	9	0	169
	0.0%	2.4%	14.7%	10.7%	8.5%	17.7%	19.0%	7.6%	0.0%	12.4%
6	20	15	0	0	0	1	0	0	0	36
	87.0%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%
7	0	0	1	4	8	16	8	1	0	38
	0.0%	0.0%	0.7%	2.1%	3.1%	6.4%	3.0%	0.8%	0.0%	2.8%
8	0	5	2	6	16	56	144	100	0	329
	0.0%	5.9%	1.3%	3.2%	6.2%	22.5%	54.8%	84.7%	0.0%	24.1%
9	0	4	0	0	3	2	2	2	0	13
	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	1.2%	0.8%	0.8%	1.7%	0.0%	1.0%
無回答	0	0	0	0	0	2	6	0	33	41
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	2.3%	0.0%	100.0%	3.0%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

主な職業は、全体では「正社員・正職員」が 27.7%で最も多く、次いで「無職」24.1%、「パート、アルバイト等」20.6%であった。年齢別では、18～19 歳は「学生」が 87.0%を占め、20 歳代は「正社員・正職員」が 48.2%、30 歳代 58.7%、40 歳代 50.3%と高い。50～60 歳代では「パート、アルバイト等」が約 3 割を占め、60 歳代は「家事専業」17.7%、「無職」22.5%も比較的多い。70 歳代では「無職」が 54.8%、80 歳以上では 84.7%に達している。

(3) クロス集計・地域別



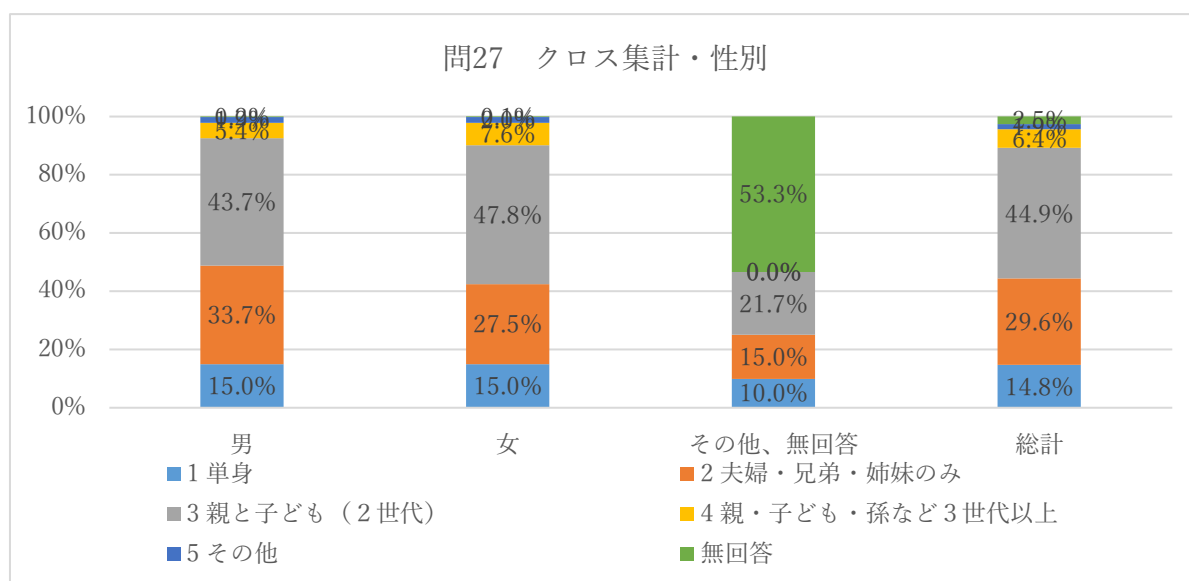
	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	2	1	1	1	0	1	1	1
	0.6%	1.0%	0.8%	1.0%	0.0%	0.6%	0.8%	0.8%
2	26	3	8	5	6	10	8	1
	7.2%	3.1%	6.1%	4.9%	6.0%	6.3%	6.4%	0.8%
3	111	22	41	26	26	52	42	27
	30.7%	22.9%	31.1%	25.2%	26.0%	32.9%	33.6%	20.8%
4	68	23	30	21	23	35	26	32
	18.8%	24.0%	22.7%	20.4%	23.0%	22.2%	20.8%	24.6%
5	43	12	14	15	13	20	15	21
	11.9%	12.5%	10.6%	14.6%	13.0%	12.7%	12.0%	16.2%
6	12	3	3	0	1	4	5	6
	3.3%	3.1%	2.3%	0.0%	1.0%	2.5%	4.0%	4.6%
7	12	3	3	3	3	6	4	2
	3.3%	3.1%	2.3%	2.9%	3.0%	3.8%	3.2%	1.5%
8	82	27	30	31	27	28	23	37
	22.7%	28.1%	22.7%	30.1%	27.0%	17.7%	18.4%	28.5%
9	4	2	1	0	0	1	1	2
	1.1%	2.1%	0.8%	0.0%	0.0%	0.6%	0.8%	1.5%
無回答	2	0	1	1	1	1	0	1
	0.6%	0.0%	0.8%	1.0%	1.0%	0.6%	0.0%	0.8%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	0	0	1	0	0	0	9
	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
2	0	3	1	0	1	0	72
	0.0%	7.1%	2.0%	0.0%	9.1%	0.0%	5.3%
3	0	8	11	6	6	1	379
	0.0%	19.0%	22.0%	42.9%	54.5%	2.5%	27.7%
4	2	4	14	2	0	1	281
	50.0%	9.5%	28.0%	14.3%	0.0%	2.5%	20.6%
5	0	7	8	0	0	1	169
	0.0%	16.7%	16.0%	0.0%	0.0%	2.5%	12.4%
6	0	1	0	1	0	0	36
	0.0%	2.4%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	2.6%
7	0	1	0	1	0	0	38
	0.0%	2.4%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	2.8%
8	2	16	14	4	4	4	329
	50.0%	38.1%	28.0%	28.6%	36.4%	10.0%	24.1%
9	0	1	0	0	0	1	13
	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	1.0%
無回答	0	1	1	0	0	32	41
	0.0%	2.4%	2.0%	0.0%	0.0%	80.0%	3.0%
総計	4	42	50	14	11	40	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

主な職業は、全体では「正社員・正職員」が27.7%で最も多く、次いで「無職」24.1%、「パート、アルバイト等」20.6%であった。地区別では、正社員・正職員は地区不明54.5%、安富地区42.9%、広畑地区33.6%、飾磨地区32.9%で高い。一方、無職は夢前地区38.1%、東部地区30.1%、西部地区28.1%などで比較的多い。パート・アルバイト等は家島地区50.0%、香寺地区28.0%、網干地区24.6%で高く、地区によって就業状況に違いがみられる。※回答者数が少ない地域は留意が必要

問27 ご家族の構成についてお答えください。【〇はひとつ】

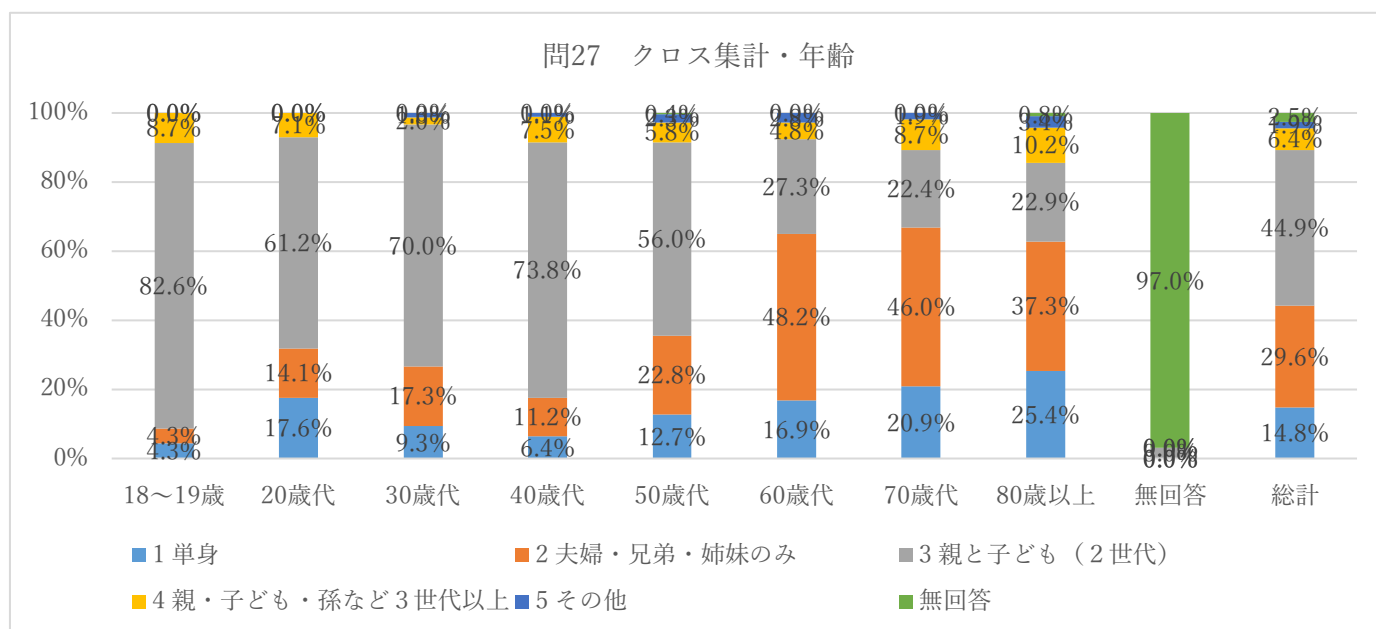
(1) クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	86	110	6	202
	15.0%	15.0%	10.0%	14.8%
2	193	202	9	404
	33.7%	27.5%	15.0%	29.6%
3	250	351	13	614
	43.7%	47.8%	21.7%	44.9%
4	31	56	0	87
	5.4%	7.6%	0.0%	6.4%
5	11	15	0	26
	1.9%	2.0%	0.0%	1.9%
無回答	1	1	32	34
	0.2%	0.1%	53.3%	2.5%
総計	572	735	60	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

家族構成は、全体では「親と子ども（2世代）」が44.9%で最も多く、次いで「夫婦・兄弟・姉妹のみ」29.6%、「単身」14.8%となった。性別にみると、男性は「夫婦・兄弟・姉妹のみ」が33.7%で、女性の27.5%を6.2ポイント上回る。一方、女性は「親と子ども（2世代）」が47.8%で、男性の43.7%より4.1ポイント高く、「親・子ども・孫など3世代以上」も女性7.6%、男性5.4%と女性が上回った。「単身」は男女とも15.0%で差はみられない。全体として、男女とも2世代世帯が中心である。

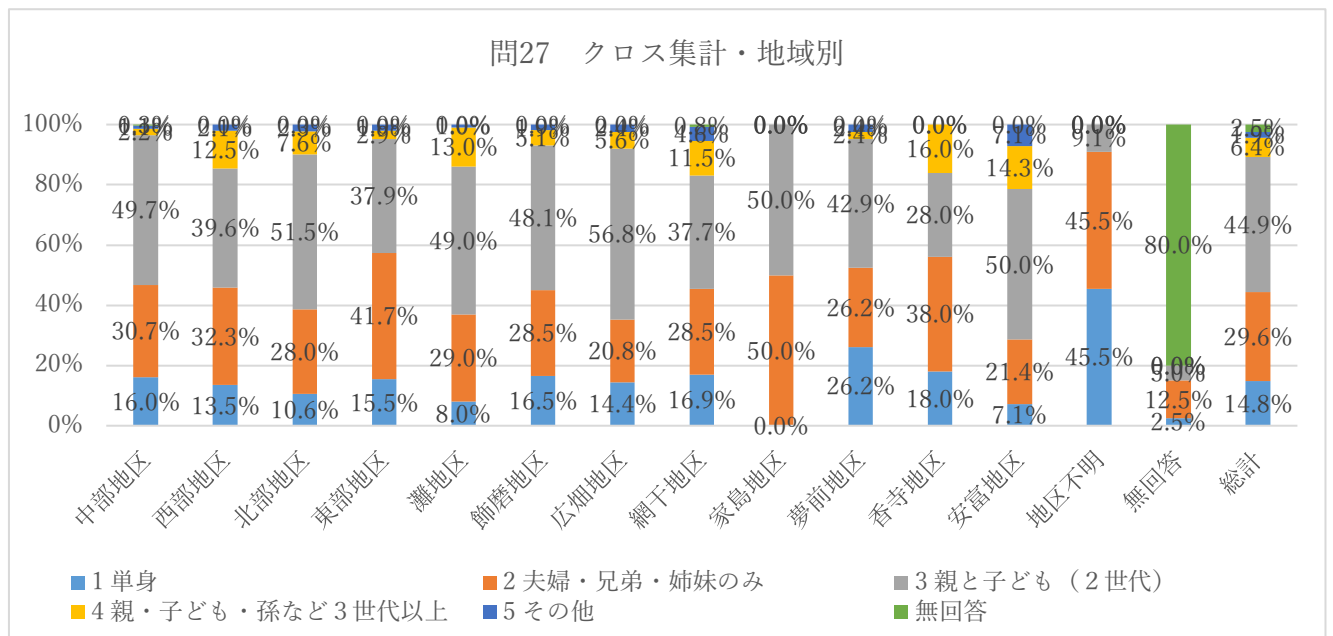
（2）クロス集計・年齢別



	18～19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	無回答	総計
1	1	15	14	12	33	42	55	30	0	202
	4.3%	17.6%	9.3%	6.4%	12.7%	16.9%	20.9%	25.4%	0.0%	14.8%
2	1	12	26	21	59	120	121	44	0	404
	4.3%	14.1%	17.3%	11.2%	22.8%	48.2%	46.0%	37.3%	0.0%	29.6%
3	19	52	105	138	145	68	59	27	1	614
	82.6%	61.2%	70.0%	73.8%	56.0%	27.3%	22.4%	22.9%	3.0%	44.9%
4	2	6	3	14	15	12	23	12	0	87
	8.7%	7.1%	2.0%	7.5%	5.8%	4.8%	8.7%	10.2%	0.0%	6.4%
5	0	0	2	2	6	7	5	4	0	26
	0.0%	0.0%	1.3%	1.1%	2.3%	2.8%	1.9%	3.4%	0.0%	1.9%
無回答	0	0	0	0	1	0	0	1	32	34
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.8%	97.0%	2.5%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

家族構成は、全体では「親と子ども（2 世代）」が 44.9%で最も多く、次いで「夫婦・兄弟・姉妹のみ」29.6%、「単身」14.8%となった。年齢別では、18～19 歳は「親と子ども（2 世代）」が 82.6%、30 歳代 70.0%、40 歳代 73.8%と高く、子育て世代を中心に 2 世代世帯が多い。一方、60 歳代以上では「夫婦・兄弟・姉妹のみ」が 60 歳代 48.2%、70 歳代 46.0%、80 歳以上 37.3%と高い。また、単身世帯も 70 歳代 20.9%、80 歳以上 25.4%に達しており、高齢層ほど世帯規模が縮小する傾向がみられる。3 世代以上は全体で 6.4%にとどまった。

（3）クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	58	13	14	16	8	26	18	22
	16.0%	13.5%	10.6%	15.5%	8.0%	16.5%	14.4%	16.9%
2	111	31	37	43	29	45	26	37
	30.7%	32.3%	28.0%	41.7%	29.0%	28.5%	20.8%	28.5%

3	180	38	68	39	49	76	71	49
	49.7%	39.6%	51.5%	37.9%	49.0%	48.1%	56.8%	37.7%
4	8	12	10	3	13	8	7	15
	2.2%	12.5%	7.6%	2.9%	13.0%	5.1%	5.6%	11.5%
5	4	2	3	2	1	3	3	6
	1.1%	2.1%	2.3%	1.9%	1.0%	1.9%	2.4%	4.6%
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

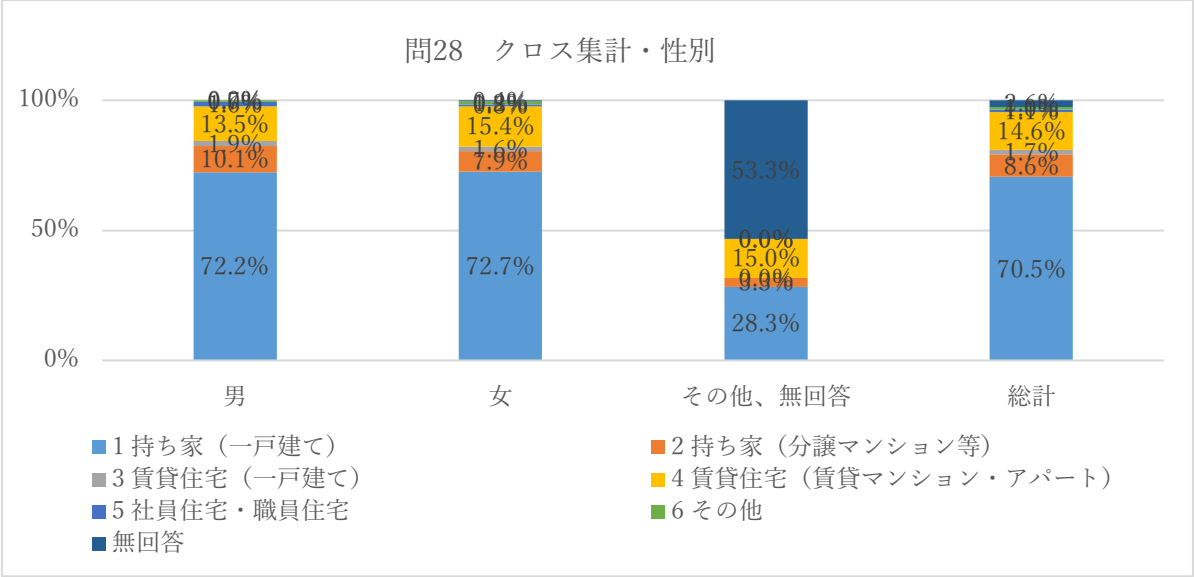
	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	0	11	9	1	5	1	202
	0.0%	26.2%	18.0%	7.1%	45.5%	2.5%	14.8%
2	2	11	19	3	5	5	404
	50.0%	26.2%	38.0%	21.4%	45.5%	12.5%	29.6%
3	2	18	14	7	1	2	614
	50.0%	42.9%	28.0%	50.0%	9.1%	5.0%	44.9%
4	0	1	8	2	0	0	87
	0.0%	2.4%	16.0%	14.3%	0.0%	0.0%	6.4%
5	0	1	0	1	0	0	26
	0.0%	2.4%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	1.9%
無回答	0	0	0	0	0	32	34
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	2.5%
総計	4	42	50	14	11	40	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

家族構成は、全体では「親と子ども（2世代）」が44.9%で最も多く、次いで「夫婦・兄弟・姉妹のみ」29.6%、「単身」14.8%となった。地区別では、2世代世帯は広畑地区56.8%、北部地区51.5%、安富地区50.0%で高い。一方、「夫婦・兄弟・姉妹のみ」は東部地区41.7%、香寺地区38.0%で比較的多い。単身世帯は夢前地区26.2%、網干地区16.9%、飾磨地区16.5%の順に高く、夢前地区では特に目立つ。また、3世代以上の世帯は香寺地区16.0%、灘地区13.0%、西部地区12.5%で、地区による違いがみられる。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

問 28 お住まいの住宅形態について、お答えください。【〇はひとつ】

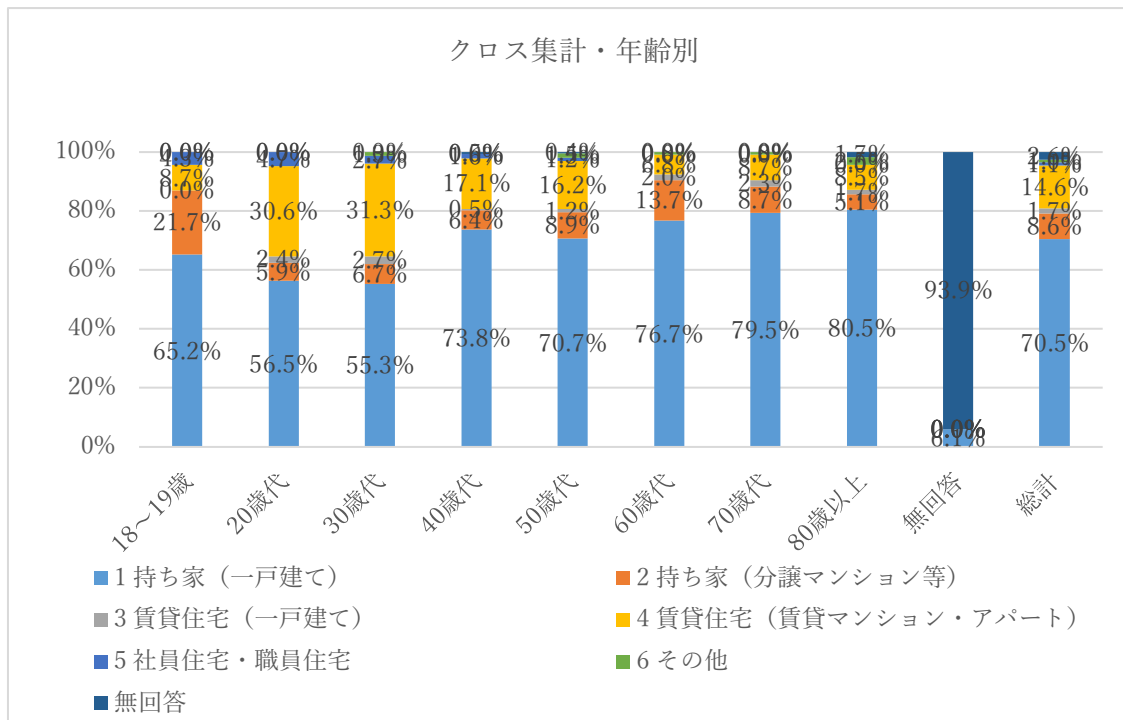
(1) クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	413	534	17	964
	72.2%	72.7%	28.3%	70.5%
2	58	58	2	118
	10.1%	7.9%	3.3%	8.6%
3	11	12	0	23
	1.9%	1.6%	0.0%	1.7%
4	77	113	9	199
	13.5%	15.4%	15.0%	14.6%
5	9	6	0	15
	1.6%	0.8%	0.0%	1.1%
6	4	9	0	13
	0.7%	1.2%	0.0%	1.0%
無回答	0	3	32	35
	0.0%	0.4%	53.3%	2.6%
総計	572	735	60	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

住宅形態は、全体で「持ち家（一戸建て）」が70.5%で最も多く、「持ち家（分譲マンション等）」8.6%を合わせた持ち家は79.1%を占めた。性別では、持ち家の割合は男性82.3%、女性80.6%で、男性がやや高い。一方、「賃貸住宅（賃貸マンション・アパート）」は女性15.4%、男性13.5%で、女性が1.9ポイント上回った。「賃貸住宅（一戸建て）」や「社員住宅・職員住宅」は男女とも少数であり、住宅形態に大きな男女差はみられない。

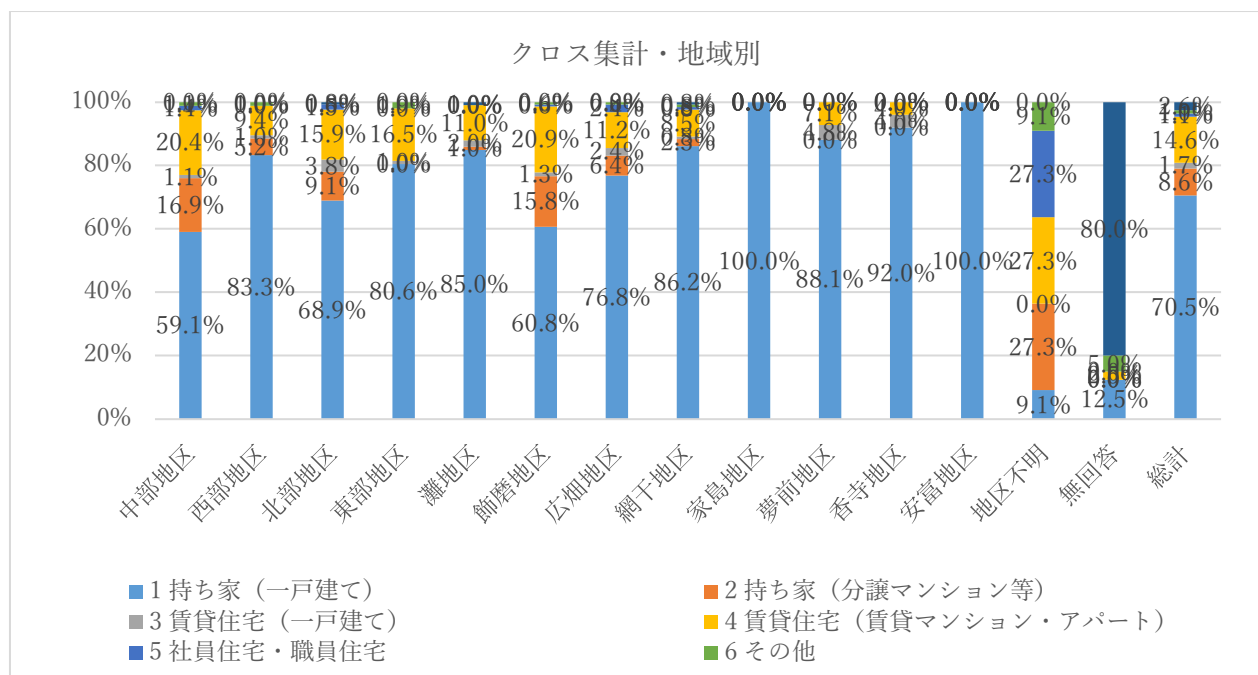
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	15	48	83	138	183	191	209	95	2	964
	65.2%	56.5%	55.3%	73.8%	70.7%	76.7%	79.5%	80.5%	6.1%	70.5%
2	5	5	10	12	23	34	23	6	0	118
	21.7%	5.9%	6.7%	6.4%	8.9%	13.7%	8.7%	5.1%	0.0%	8.6%
3	0	2	4	1	3	5	6	2	0	23
	0.0%	2.4%	2.7%	0.5%	1.2%	2.0%	2.3%	1.7%	0.0%	1.7%
4	2	26	47	32	42	17	23	10	0	199
	8.7%	30.6%	31.3%	17.1%	16.2%	6.8%	8.7%	8.5%	0.0%	14.6%
5	1	4	4	3	3	0	0	0	0	15
	4.3%	4.7%	2.7%	1.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
6	0	0	2	0	4	2	2	3	0	13
	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.5%	0.8%	0.8%	2.5%	0.0%	1.0%
無回答	0	0	0	1	1	0	0	2	31	35
	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%	0.0%	0.0%	1.7%	93.9%	2.6%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

住宅形態は、全体で「持ち家（一戸建て）」70.5%、「持ち家（分譲マンション等）」8.6%となり、持ち家は計79.1%を占めた。年齢別では、持ち家の割合は60歳代が90.4%、70歳代88.2%、80歳以上85.6%と高く、年齢が高い層ほど持ち家が多い。一方、20歳代は62.4%、30歳代は62.0%と比較的低く、「賃貸住宅（賃貸マンション・アパート）」がそれぞれ30.6%、31.3%を占めた。18～19歳は分譲マンションの割合が21.7%とやや高いが、社員住宅・職員住宅も4.3%みられる。若年・子育て世代と高齢層で住宅形態に違いがみられる。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	214	80	91	83	85	96	96	112
	59.1%	83.3%	68.9%	80.6%	85.0%	60.8%	76.8%	86.2%
2	61	5	12	0	1	25	8	3
	16.9%	5.2%	9.1%	0.0%	1.0%	15.8%	6.4%	2.3%
3	4	1	5	1	2	2	3	1
	1.1%	1.0%	3.8%	1.0%	2.0%	1.3%	2.4%	0.8%
4	74	9	21	17	11	33	14	11
	20.4%	9.4%	15.9%	16.5%	11.0%	20.9%	11.2%	8.5%
5	5	0	2	0	0	1	3	1
	1.4%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.6%	2.4%	0.8%
6	4	1	0	2	0	1	1	1
	1.1%	1.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.6%	0.8%	0.8%
無回答	0	0	1	0	1	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.8%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	4	37	46	14	1	5	964
	100.0%	88.1%	92.0%	100.0%	9.1%	12.5%	70.5%
2	0	0	0	0	3	0	118
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	8.6%
3	0	2	2	0	0	0	23
	0.0%	4.8%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
4	0	3	2	0	3	1	199
	0.0%	7.1%	4.0%	0.0%	27.3%	2.5%	14.6%
5	0	0	0	0	3	0	15
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	1.1%
6	0	0	0	0	1	2	13
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	5.0%	1.0%
無回答	0	0	0	0	0	32	35
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	2.6%
総計	4	42	50	14	11	40	1367

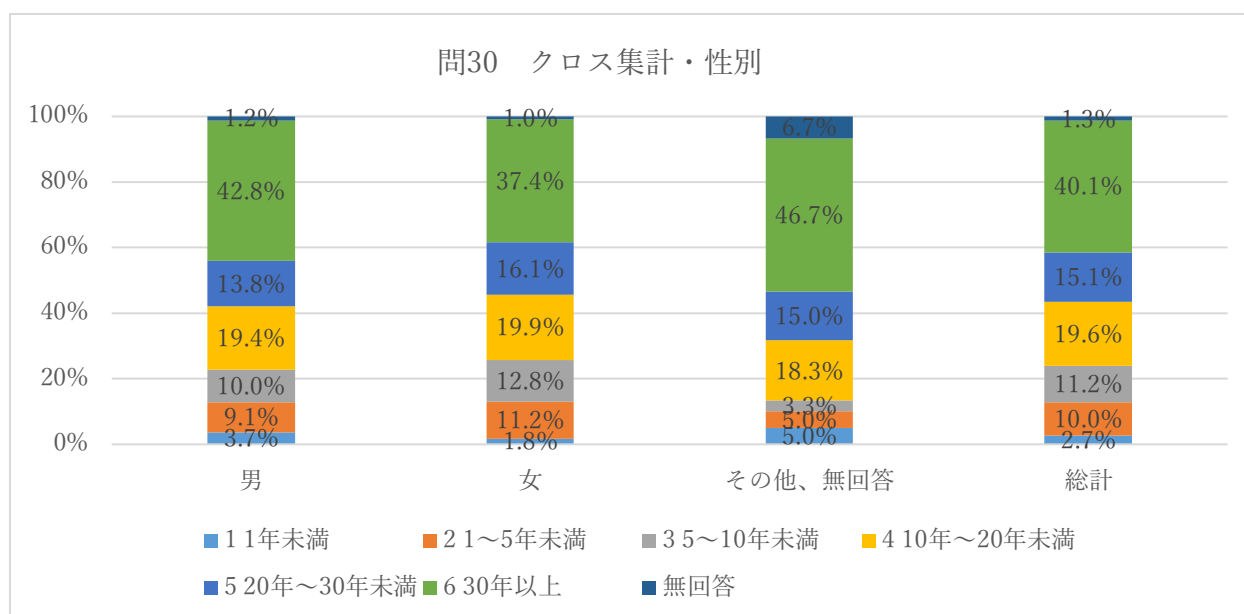
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
--	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

住宅形態は、全体で「持ち家（一戸建て）」70.5%、「持ち家（分譲マンション等）」8.6%となり、持ち家は計 79.1%を占めた。地区別では、家島地区と安富地区が 100.0%、香寺地区 92.0%、西部地区・網干地区が各 88.5%と高い。一方、中部地区は 76.0%、飾磨地区は 76.6%と比較的低く、賃貸マンション・アパートがそれぞれ 20.4%、20.9%を占める。分譲マンションは中部地区 16.9%、飾磨地区 15.8%が目立ち、地域により住宅形態の違いがみられる。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

問 30 現住所には通算して何年ぐらいお住まいですか。【〇はひとつ】

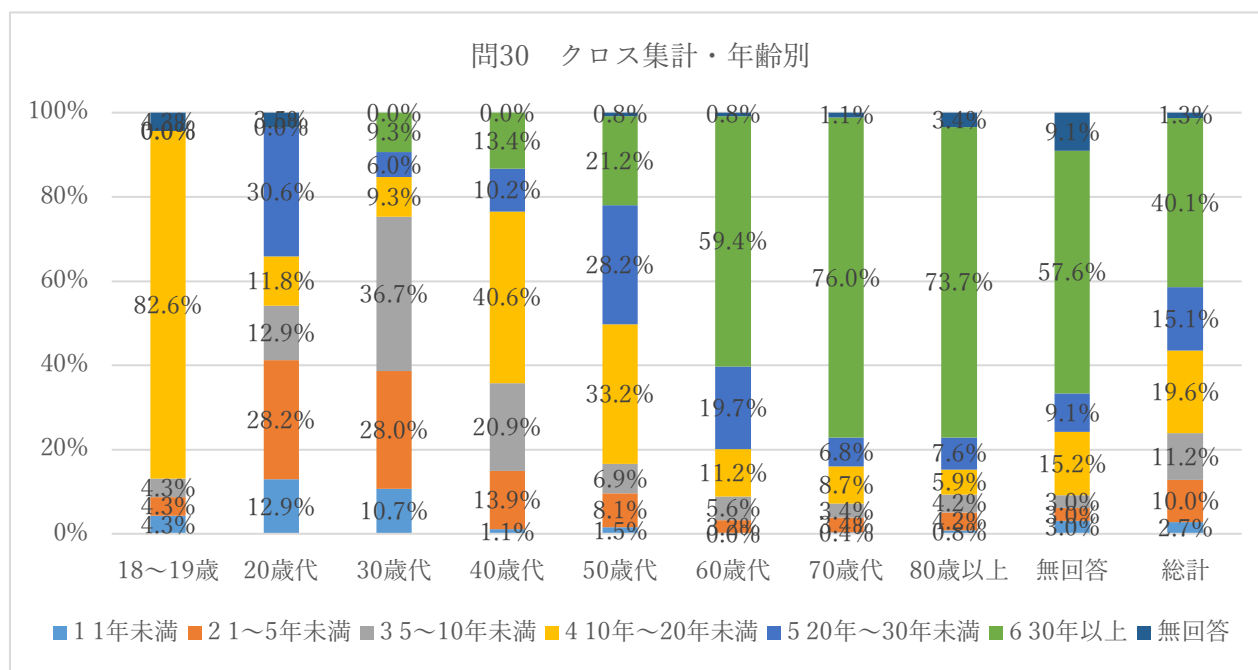
（１）クロス集計・性別



	男性	女性	その他、無回答	総計
1	21	13	3	37
	3.7%	1.8%	5.0%	2.7%
2	52	82	3	137
	9.1%	11.2%	5.0%	10.0%
3	57	94	2	153
	10.0%	12.8%	3.3%	11.2%
4	111	146	11	268
	19.4%	19.9%	18.3%	19.6%
5	79	118	9	206
	13.8%	16.1%	15.0%	15.1%
6	245	275	28	548
	42.8%	37.4%	46.7%	40.1%
無回答	7	7	4	18
	1.2%	1.0%	6.7%	1.3%
総計	572	735	60	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

現住所への居住年数は、全体で「30 年以上」が 40.1%と最も多く、次いで「10～20 年未満」19.6%、「20～30 年未満」15.1%となった。性別では、30 年以上居住している割合は男性 42.8%、女性 37.4%で、男性が 5.4 ポイント高い。一方、女性は「1～5 年未満」11.2%、「5～10 年未満」12.8%で、男性の 9.1%、10.0%をそれぞれ上回っている。10 年以上の居住者は男性 76.0%、女性 73.4%と、男女とも長期居住者が中心であるが、女性は男性に比べて居住年数がやや短い傾向がみられる。

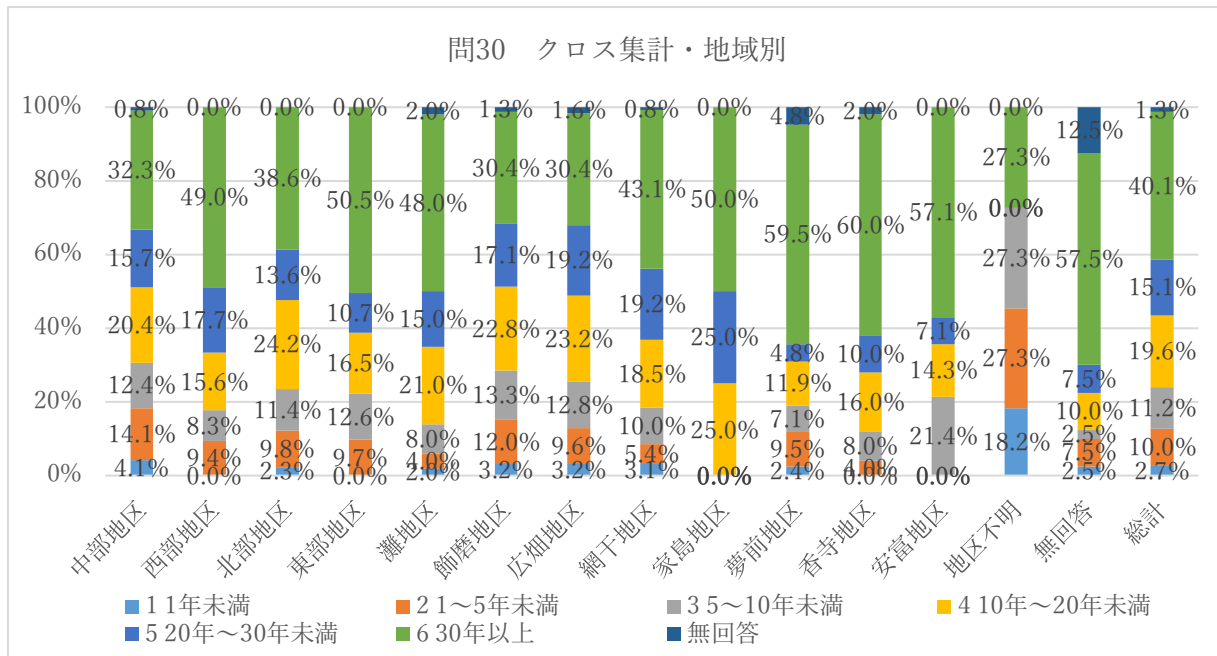
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	1	11	16	2	4	0	1	1	1	37
	4.3%	12.9%	10.7%	1.1%	1.5%	0.0%	0.4%	0.8%	3.0%	2.7%
2	1	24	42	26	21	8	9	5	1	137
	4.3%	28.2%	28.0%	13.9%	8.1%	3.2%	3.4%	4.2%	3.0%	10.0%
3	1	11	55	39	18	14	9	5	1	153
	4.3%	12.9%	36.7%	20.9%	6.9%	5.6%	3.4%	4.2%	3.0%	11.2%
4	19	10	14	76	86	28	23	7	5	268
	82.6%	11.8%	9.3%	40.6%	33.2%	11.2%	8.7%	5.9%	15.2%	19.6%
5	0	26	9	19	73	49	18	9	3	206
	0.0%	30.6%	6.0%	10.2%	28.2%	19.7%	6.8%	7.6%	9.1%	15.1%
6	0	0	14	25	55	148	200	87	19	548
	0.0%	0.0%	9.3%	13.4%	21.2%	59.4%	76.0%	73.7%	57.6%	40.1%
無回答	1	3	0	0	2	2	3	4	3	18
	4.3%	3.5%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	1.1%	3.4%	9.1%	1.3%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

現住所への居住年数は、全体で「30 年以上」が 40.1%と最も多く、次いで「10～20 年未満」19.6%、「20～30 年未満」15.1%となった。年齢別では、60 歳代が 59.4%、70 歳代が 76.0%、80 歳以上が 73.7%と、年齢が高いほど「30 年以上」の割合が高く、長期居住の傾向が顕著である。一方、20 歳代は「1～5 年未満」28.2%、「20～30 年未満」30.6%、30 歳代は「5～10 年未満」36.7%が比較的高い。40～50 歳代では「10～20 年未満」や「20～30 年未満」が中心となっており、年齢により居住年数に明確な違いがみられる。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	15	0	3	0	2	5	4	4
	4.1%	0.0%	2.3%	0.0%	2.0%	3.2%	3.2%	3.1%
2	51	9	13	10	4	19	12	7
	14.1%	9.4%	9.8%	9.7%	4.0%	12.0%	9.6%	5.4%
3	45	8	15	13	8	21	16	13
	12.4%	8.3%	11.4%	12.6%	8.0%	13.3%	12.8%	10.0%
4	74	15	32	17	21	36	29	24
	20.4%	15.6%	24.2%	16.5%	21.0%	22.8%	23.2%	18.5%
5	57	17	18	11	15	27	24	25
	15.7%	17.7%	13.6%	10.7%	15.0%	17.1%	19.2%	19.2%
6	117	47	51	52	48	48	38	56
	32.3%	49.0%	38.6%	50.5%	48.0%	30.4%	30.4%	43.1%
無回答	3	0	0	0	2	2	2	1
	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.3%	1.6%	0.8%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	0	1	0	0	2	1	37
	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	18.2%	2.5%	2.7%
2	0	4	2	0	3	3	137
	0.0%	9.5%	4.0%	0.0%	27.3%	7.5%	10.0%
3	0	3	4	3	3	1	153
	0.0%	7.1%	8.0%	21.4%	27.3%	2.5%	11.2%

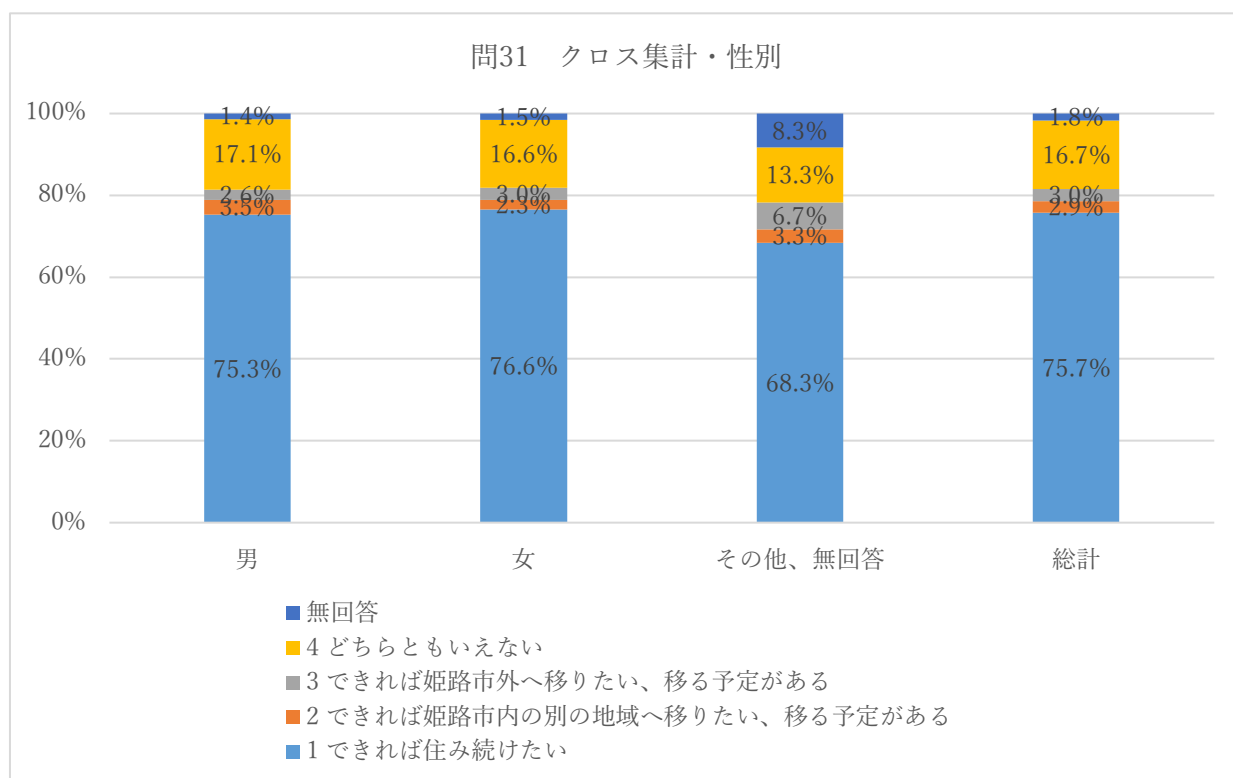
4	1	5	8	2	0	4	268
	25.0%	11.9%	16.0%	14.3%	0.0%	10.0%	19.6%
5	1	2	5	1	0	3	206
	25.0%	4.8%	10.0%	7.1%	0.0%	7.5%	15.1%
6	2	25	30	8	3	23	548
	50.0%	59.5%	60.0%	57.1%	27.3%	57.5%	40.1%
無回答	0	2	1	0	0	5	18
	0.0%	4.8%	2.0%	0.0%	0.0%	12.5%	1.3%
総計	4	42	50	14	11	40	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

現住所への居住年数は、全体で「30 年以上」が 40.1%と最も多く、長期居住者が中心である。地区別では、30 年以上の割合は香寺地区 60.0%、夢前地区 59.5%、安富地区 57.1%、東部地区 50.5%、家島地区 50.0%と高い。一方、飾磨地区と広畑地区は各 30.4%、中部地区は 32.3%で、比較的低い。10～20 年未満は北部地区 24.2%、広畑地区 23.2%、飾磨地区 22.8%で高く、20～30 年未満は広畑・網干地区が各 19.2%であった。地区により居住年数の構成に差がみられる。

※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

問 31 これからも現住所に住み続けたいとお考えですか。【〇はひとつ】

(1) クロス集計・性別

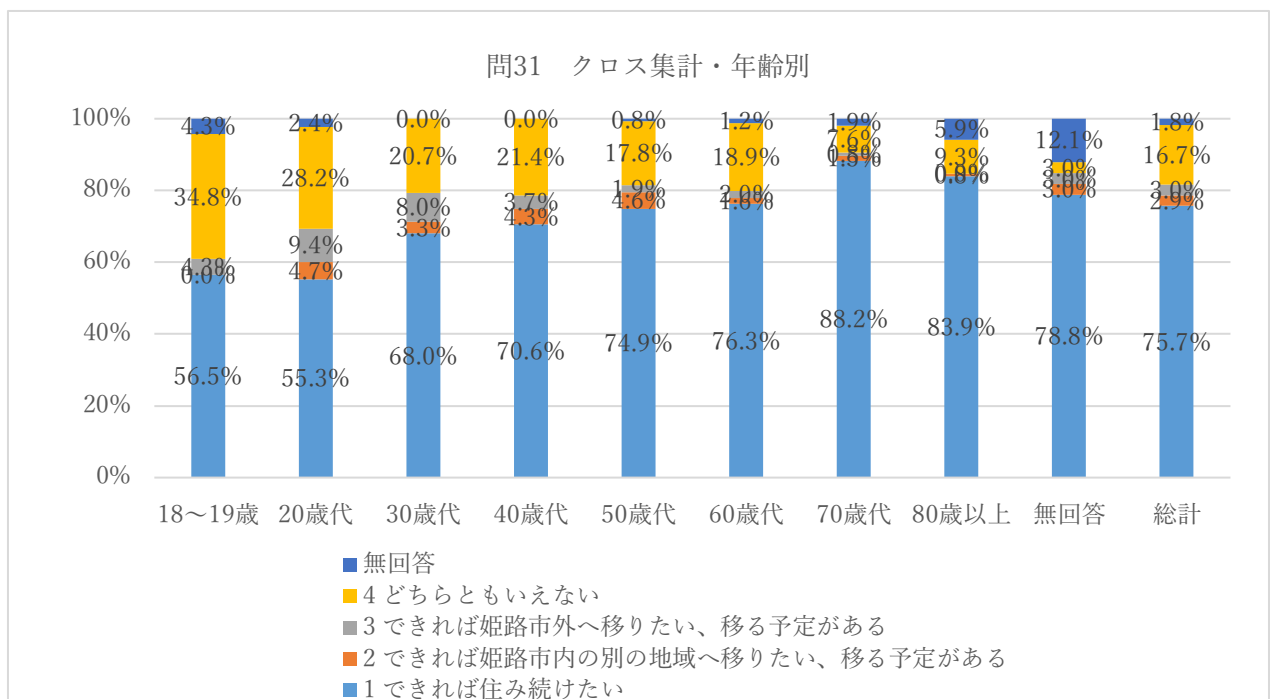


	男性	女性	その他、無回答	総計
1	431	563	41	1035
	75.3%	76.6%	68.3%	75.7%
2	20	17	2	39
	3.5%	2.3%	3.3%	2.9%
3	15	22	4	41
	2.6%	3.0%	6.7%	3.0%
4	98	122	8	228

	17.1%	16.6%	13.3%	16.7%
無回答	8	11	5	24
	1.4%	1.5%	8.3%	1.8%
総計	572	735	60	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

現住所に「できれば住み続けたい」と考える人は全体の 75.7%で、定住意向が高い。性別では、女性が 76.6%で男性の 75.3%を 1.3 ポイント上回った。一方、「姫路市内の別の地域へ移りたい、移る予定がある」は男性 3.5%、女性 2.3%、「姫路市外へ移りたい、移る予定がある」は男性 2.6%、女性 3.0%であった。転居意向を合わせると男性 6.1%、女性 5.3%で、男性がやや高い。「どちらともいえない」は男性 17.1%、女性 16.6%と大きな差はみられず、男女とも現住所への居住継続を望む傾向が強い。その他・無回答は定住意向が 68.3%とやや低い傾向となっている。

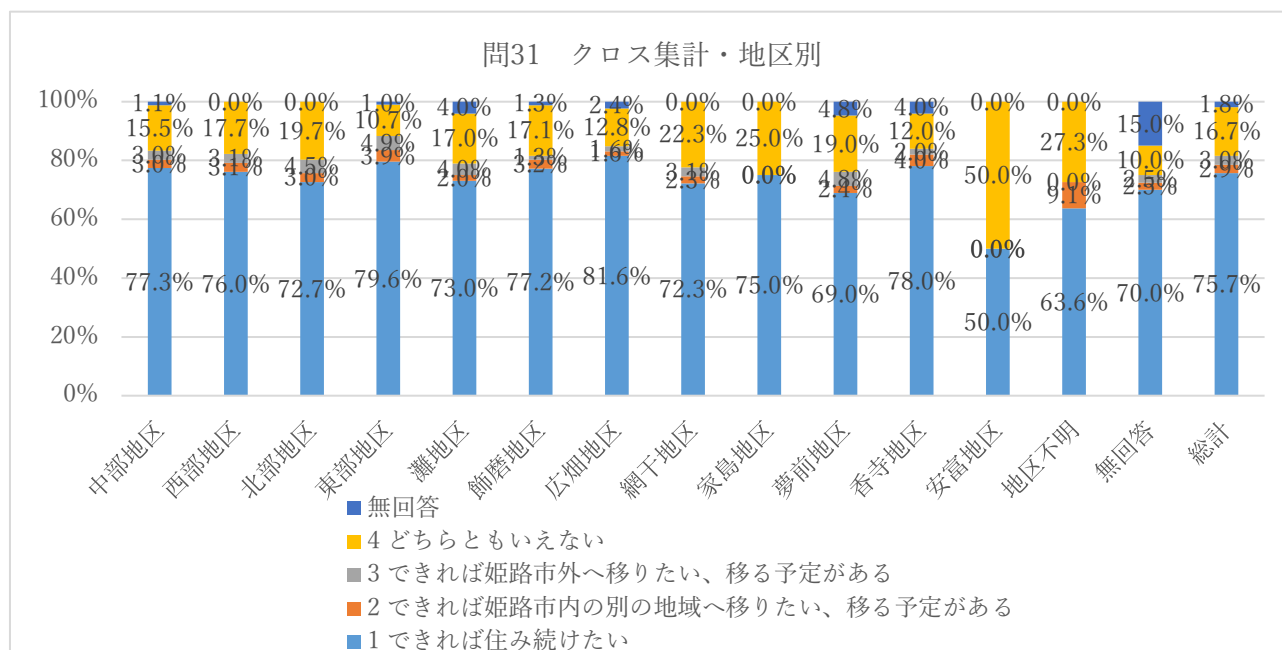
(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	13	47	102	132	194	190	232	99	26	1,035
	56.5%	55.3%	68.0%	70.6%	74.9%	76.3%	88.2%	83.9%	78.8%	75.7%
2	0	4	5	8	12	4	4	1	1	39
	0.0%	4.7%	3.3%	4.3%	4.6%	1.6%	1.5%	0.8%	3.0%	2.9%
3	1	8	12	7	5	5	2	0	1	41
	4.3%	9.4%	8.0%	3.7%	1.9%	2.0%	0.8%	0.0%	3.0%	3.0%
4	8	24	31	40	46	47	20	11	1	228
	34.8%	28.2%	20.7%	21.4%	17.8%	18.9%	7.6%	9.3%	3.0%	16.7%
無回答	1	2	0	0	2	3	5	7	4	24
	4.3%	2.4%	0.0%	0.0%	0.8%	1.2%	1.9%	5.9%	12.1%	1.8%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1,367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

現住所に「できれば住み続けたい」と考える人は全体で 75.7%であった。年齢別では、70 歳代が 88.2%で最も高く、80 歳以上 83.9%、60 歳代 76.3%と、年齢が高いほど定住意向が強い。一方、18～19 歳は 56.5%、20 歳代は 55.3%にとどまり、「どちらともいえない」がそれぞれ 34.8%、28.2%を占めた。また、市外への転居意向は 20 歳代 9.4%、30 歳代 8.0%で比較的高く、若年層ほど転居の可能性や将来の居住地について判断を保留する傾向がみられる。

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	280 77.3%	73 76.0%	96 72.7%	82 79.6%	73 73.0%	122 77.2%	102 81.6%	94 72.3%
2	11 3.0%	3 3.1%	4 3.0%	4 3.9%	2 2.0%	5 3.2%	2 1.6%	3 2.3%
3	11 3.0%	3 3.1%	6 4.5%	5 4.9%	4 4.0%	2 1.3%	2 1.6%	4 3.1%
4	56 15.5%	17 17.7%	26 19.7%	11 10.7%	17 17.0%	27 17.1%	16 12.8%	29 22.3%
無回答	4 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	4 4.0%	2 1.3%	3 2.4%	0 0.0%
総計	362 100.0%	96 100.0%	132 100.0%	103 100.0%	100 100.0%	158 100.0%	125 100.0%	130 100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	3 75.0%	29 69.0%	39 78.0%	7 50.0%	7 63.6%	28 70.0%	1035 75.7%
2	0 0.0%	1 2.4%	2 4.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 2.5%	39 2.9%
3	0 0.0%	2 4.8%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	41 3.0%
4	1 25.0%	8 19.0%	6 12.0%	7 50.0%	3 27.3%	4 10.0%	228 16.7%
無回答	0 0.0%	2 4.8%	2 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 15.0%	24 1.8%

総計	4	42	50	14	11	40	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

現住所に「できれば住み続けたい」と考える人は全体で75.7%と、定住意向が高い。地区別では広畑地区が81.6%で最も高く、東部地区79.6%、香寺地区78.0%、中部地区77.3%、飾磨地区77.2%が続く。一方、安富地区は50.0%で最も低く、「どちらともいえない」も50.0%を占めた。夢前地区も定住意向は69.0%にとどまり、判断保留が19.0%と比較的高い。市外への転居意向は東部地区4.9%、夢前地区4.8%、北部地区4.5%などでやや高く、地区によって居住継続への意識に差がみられる。

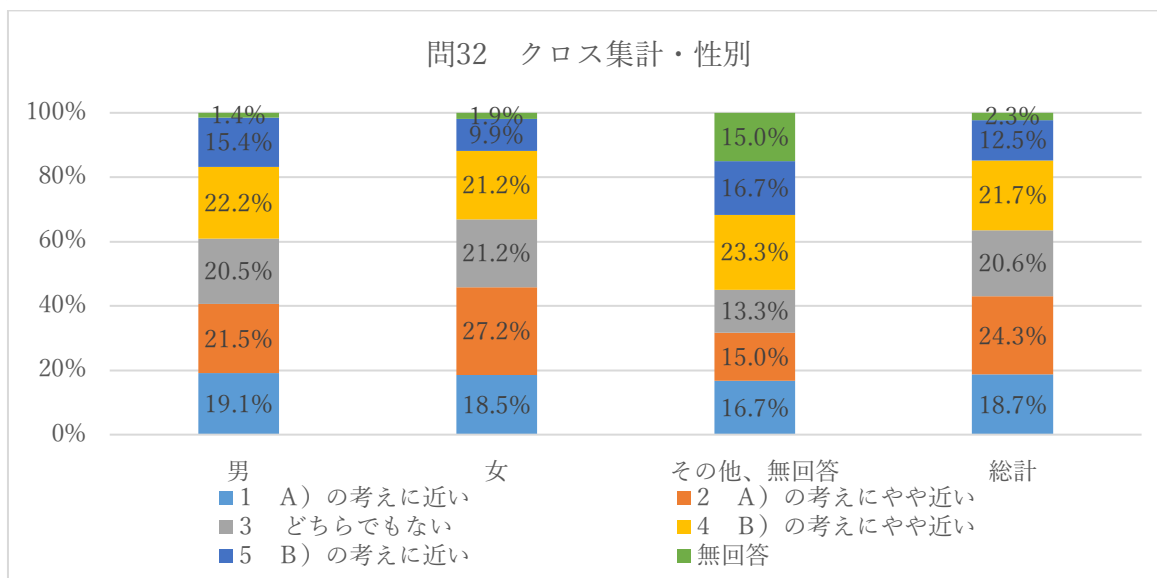
※回答者数が少ない地区は、単純比較に留意が必要

問 32 次の A) と B) のうち、あなたの考えに近いものを教えてください。【〇はひとつ】

A) 多くの人とコミュニケーションをとる機会を持ちたい

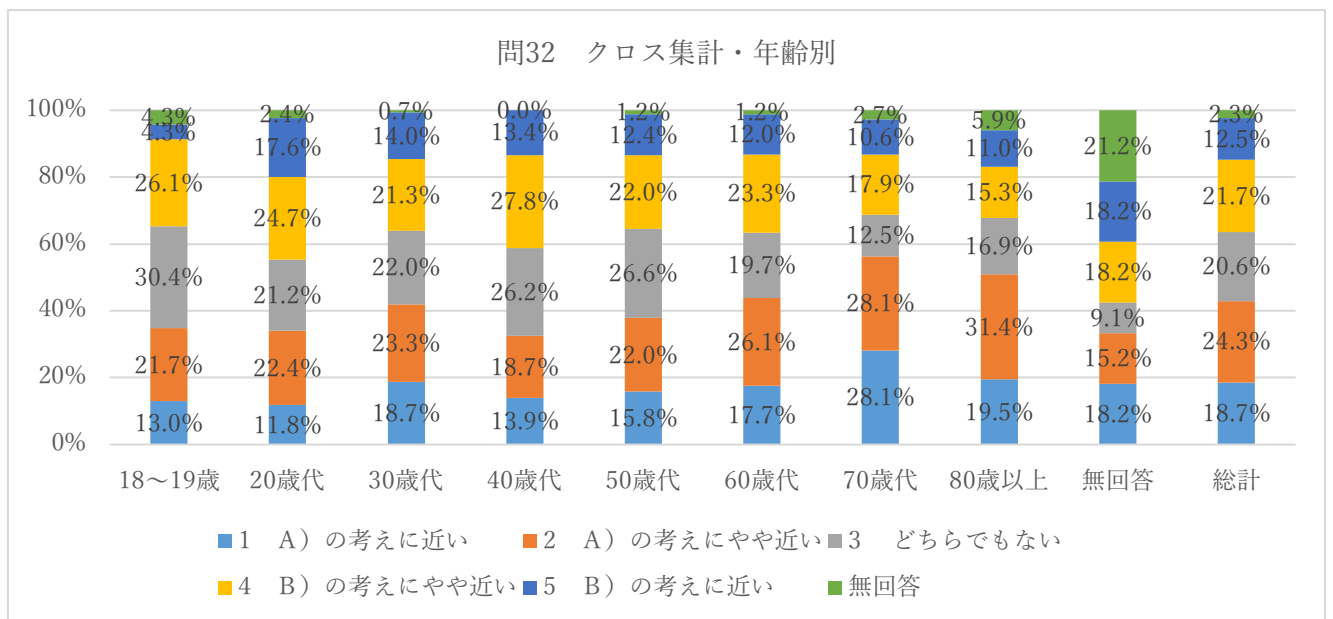
B) なるべく人とのコミュニケーションをとらずに静かにくらしたい

(1) クロス集計・性別



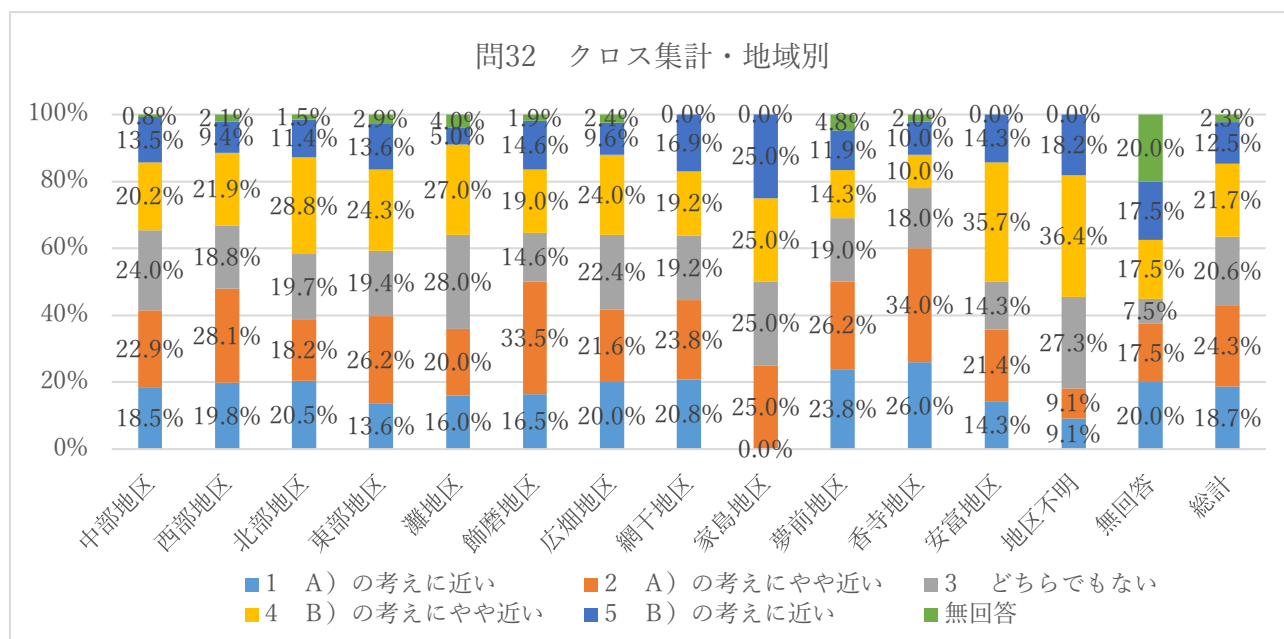
	男性	女性	その他、無回答	総計
1	109 19.1%	136 18.5%	10 16.7%	255 18.7%
2	123 21.5%	200 27.2%	9 15.0%	332 24.3%
3	117 20.5%	156 21.2%	8 13.3%	281 20.6%
4	127 22.2%	156 21.2%	14 23.3%	297 21.7%
5	88 15.4%	73 9.9%	10 16.7%	171 12.5%
無回答	8 1.4%	14 1.9%	9 15.0%	31 2.3%
総計	572 100.0%	735 100.0%	60 100.0%	1367 100.0%

(2) クロス集計・年齢別



	18～19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	無回答	総計
1	3	10	28	26	41	44	74	23	6	255
	13.0%	11.8%	18.7%	13.9%	15.8%	17.7%	28.1%	19.5%	18.2%	18.7%
2	5	19	35	35	57	65	74	37	5	332
	21.7%	22.4%	23.3%	18.7%	22.0%	26.1%	28.1%	31.4%	15.2%	24.3%
3	7	18	33	49	69	49	33	20	3	281
	30.4%	21.2%	22.0%	26.2%	26.6%	19.7%	12.5%	16.9%	9.1%	20.6%
4	6	21	32	52	57	58	47	18	6	297
	26.1%	24.7%	21.3%	27.8%	22.0%	23.3%	17.9%	15.3%	18.2%	21.7%
5	1	15	21	25	32	30	28	13	6	171
	4.3%	17.6%	14.0%	13.4%	12.4%	12.0%	10.6%	11.0%	18.2%	12.5%
無回答	1	2	1	0	3	3	7	7	7	31
	4.3%	2.4%	0.7%	0.0%	1.2%	1.2%	2.7%	5.9%	21.2%	2.3%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) クロス集計・地域別



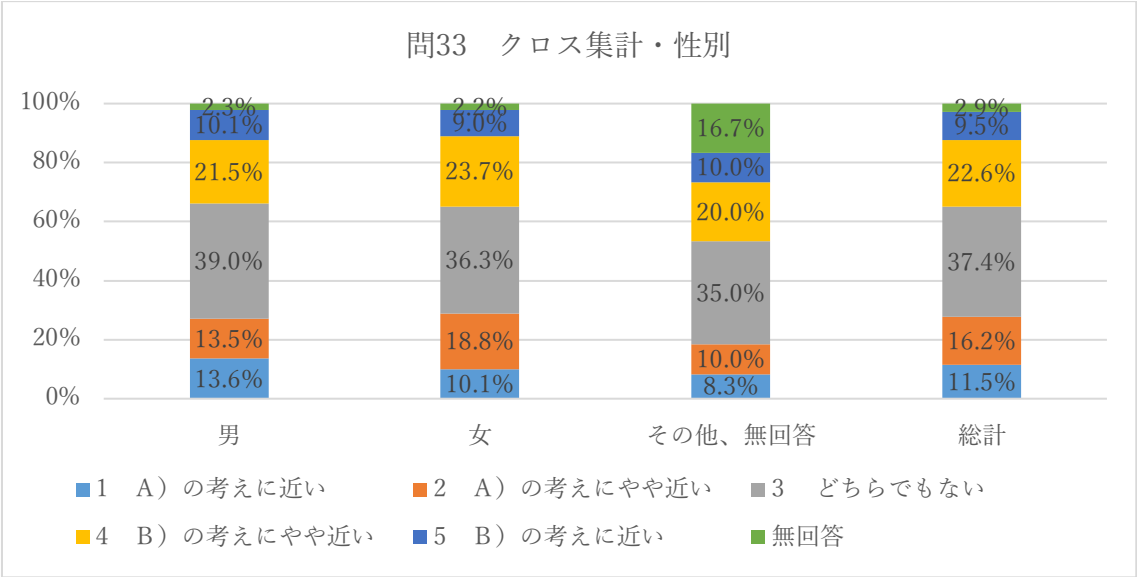
	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	67	19	27	14	16	26	25	27
	18.5%	19.8%	20.5%	13.6%	16.0%	16.5%	20.0%	20.8%
2	83	27	24	27	20	53	27	31
	22.9%	28.1%	18.2%	26.2%	20.0%	33.5%	21.6%	23.8%
3	87	18	26	20	28	23	28	25
	24.0%	18.8%	19.7%	19.4%	28.0%	14.6%	22.4%	19.2%
4	73	21	38	25	27	30	30	25
	20.2%	21.9%	28.8%	24.3%	27.0%	19.0%	24.0%	19.2%
5	49	9	15	14	5	23	12	22
	13.5%	9.4%	11.4%	13.6%	5.0%	14.6%	9.6%	16.9%
無回答	3	2	2	3	4	3	3	0
	0.8%	2.1%	1.5%	2.9%	4.0%	1.9%	2.4%	0.0%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	0	10	13	2	1	8	255
	0.0%	23.8%	26.0%	14.3%	9.1%	20.0%	18.7%
2	1	11	17	3	1	7	332
	25.0%	26.2%	34.0%	21.4%	9.1%	17.5%	24.3%
3	1	8	9	2	3	3	281
	25.0%	19.0%	18.0%	14.3%	27.3%	7.5%	20.6%
4	1	6	5	5	4	7	297
	25.0%	14.3%	10.0%	35.7%	36.4%	17.5%	21.7%
5	1	5	5	2	2	7	171
	25.0%	11.9%	10.0%	14.3%	18.2%	17.5%	12.5%
無回答	0	2	1	0	0	8	31
	0.0%	4.8%	2.0%	0.0%	0.0%	20.0%	2.3%
総計	4	42	50	14	11	40	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 33 次の A) と B) のうち、あなたの考えに近いものを教えてください。【〇はひとつ】

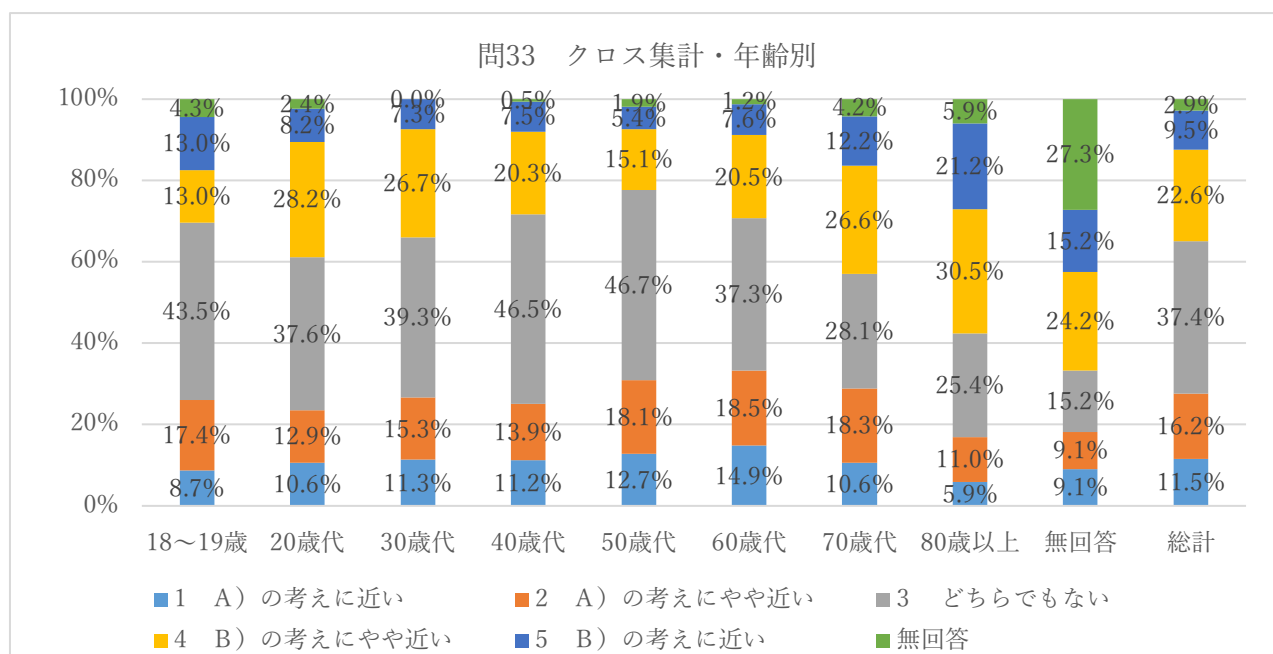
- A) 自分とは違う世代の人と交流したい
B) できるだけ同世代の人と交流したい

(1) クロス集計・性別



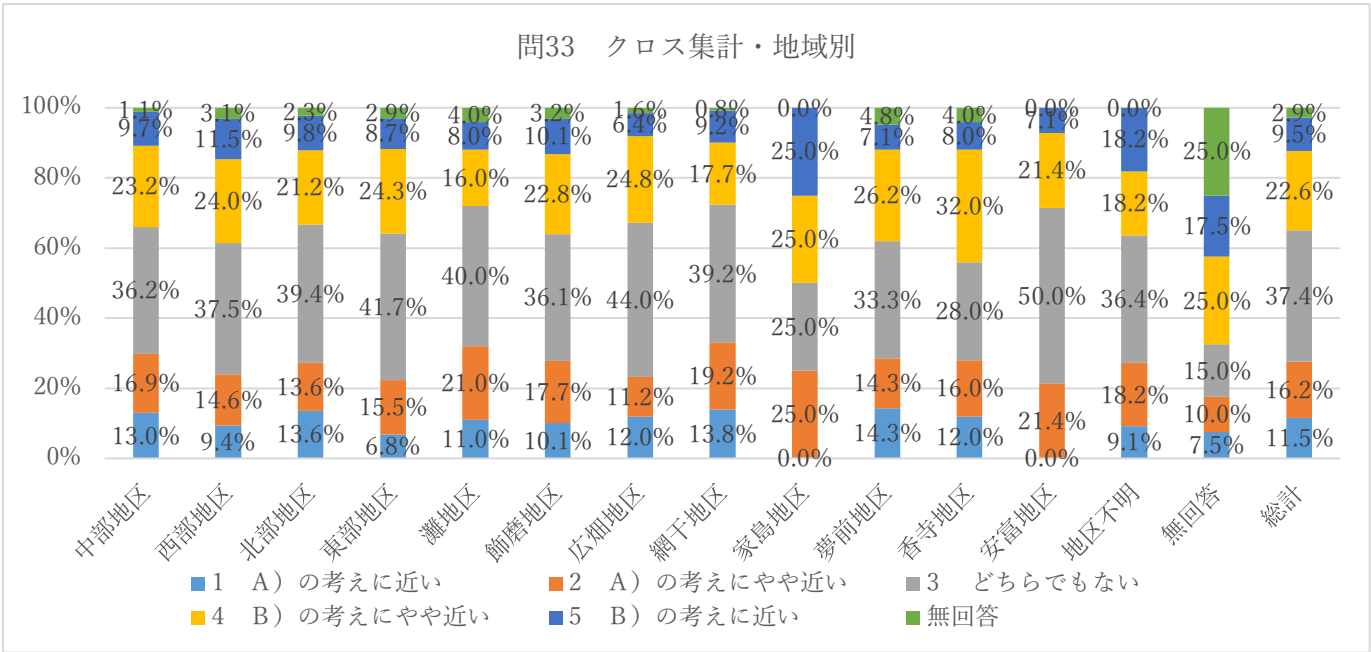
	男性	女性	その他、無回答	総計
1	78	74	5	157
	13.6%	10.1%	8.3%	11.5%
2	77	138	6	221
	13.5%	18.8%	10.0%	16.2%
3	223	267	21	511
	39.0%	36.3%	35.0%	37.4%
4	123	174	12	309
	21.5%	23.7%	20.0%	22.6%
5	58	66	6	130
	10.1%	9.0%	10.0%	9.5%
無回答	13	16	10	39
	2.3%	2.2%	16.7%	2.9%
総計	572	735	60	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) クロス集計・年齢別



	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	総計
1	2	9	17	21	33	37	28	7	3	157
	8.7%	10.6%	11.3%	11.2%	12.7%	14.9%	10.6%	5.9%	9.1%	11.5%
2	4	11	23	26	47	46	48	13	3	221
	17.4%	12.9%	15.3%	13.9%	18.1%	18.5%	18.3%	11.0%	9.1%	16.2%
3	10	32	59	87	121	93	74	30	5	511
	43.5%	37.6%	39.3%	46.5%	46.7%	37.3%	28.1%	25.4%	15.2%	37.4%
4	3	24	40	38	39	51	70	36	8	309
	13.0%	28.2%	26.7%	20.3%	15.1%	20.5%	26.6%	30.5%	24.2%	22.6%
5	3	7	11	14	14	19	32	25	5	130
	13.0%	8.2%	7.3%	7.5%	5.4%	7.6%	12.2%	21.2%	15.2%	9.5%
無回答	1	2	0	1	5	3	11	7	9	39
	4.3%	2.4%	0.0%	0.5%	1.9%	1.2%	4.2%	5.9%	27.3%	2.9%
総計	23	85	150	187	259	249	263	118	33	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) クロス集計・地域別



	中部地区	西部地区	北部地区	東部地区	灘地区	飾磨地区	広畑地区	網干地区
1	47	9	18	7	11	16	15	18
	13.0%	9.4%	13.6%	6.8%	11.0%	10.1%	12.0%	13.8%
2	61	14	18	16	21	28	14	25
	16.9%	14.6%	13.6%	15.5%	21.0%	17.7%	11.2%	19.2%
3	131	36	52	43	40	57	55	51
	36.2%	37.5%	39.4%	41.7%	40.0%	36.1%	44.0%	39.2%
4	84	23	28	25	16	36	31	23
	23.2%	24.0%	21.2%	24.3%	16.0%	22.8%	24.8%	17.7%
5	35	11	13	9	8	16	8	12
	9.7%	11.5%	9.8%	8.7%	8.0%	10.1%	6.4%	9.2%
無回答	4	3	3	3	4	5	2	1
	1.1%	3.1%	2.3%	2.9%	4.0%	3.2%	1.6%	0.8%
総計	362	96	132	103	100	158	125	130
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	家島地区	夢前地区	香寺地区	安富地区	地区不明	無回答	総計
1	0	6	6	0	1	3	157
	0.0%	14.3%	12.0%	0.0%	9.1%	7.5%	11.5%
2	1	6	8	3	2	4	221
	25.0%	14.3%	16.0%	21.4%	18.2%	10.0%	16.2%
3	1	14	14	7	4	6	511
	25.0%	33.3%	28.0%	50.0%	36.4%	15.0%	37.4%
4	1	11	16	3	2	10	309
	25.0%	26.2%	32.0%	21.4%	18.2%	25.0%	22.6%
5	1	3	4	1	2	7	130
	25.0%	7.1%	8.0%	7.1%	18.2%	17.5%	9.5%
無回答	0	2	2	0	0	10	39
	0.0%	4.8%	4.0%	0.0%	0.0%	25.0%	2.9%
総計	4	42	50	14	11	40	1367
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

市民活動に関する市民意識調査

【ご協力をお願いします】

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

姫路市では、平成19年3月に市民活動及び協働の推進について基本的な考え方を整理し、その方針を示した「姫路市市民活動・協働推進指針」を策定し、以降、この指針に基づいて「市民活動・協働推進事業計画」を第四次計画まで策定し、参画と協働のまちづくりを推進してまいりました。

今回実施する調査は、「姫路市まちづくりと自治の条例」を基本とし、全員参加のまちづくりを進める中で、前回調査（令和2年）実施時からの市民活動に関する意識や意向、ニーズの変化を的確に把握し、今後の施策展開の参考とするためのものです。

調査の実施にあたっては、姫路市にお住まいの18歳以上の市民の皆さまから、3,000人を無作為で選ばせていただき、ご協力をお願いすることといたしました。

この調査は、統計的な処理が目的であり、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外には一切使用いたしませんので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

何かとお忙しいこととは存じますが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年（2025年）9月

姫路市長 清元 秀泰

【調査票のご記入にあたって】

- この調査票は、あて名の方ご本人がご回答ください。
- アンケート用紙にも返信用封筒にも、お名前をご記入いただく必要はありません。
- 各設問では、選択肢の中からあてはまる番号に○(マル)を付けてください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
- インターネット、または郵送で回答をお願いいたします。回答方法は以下のとおりです。

インターネットで回答

令和7年10月10日(金)までに回答

右の二次元コードを読み取り、
専用サイトにアクセスし、各質問に
回答して送信してください。



郵送で回答

令和7年10月10日(金)必着

同封の返信用封筒(切手不要)で返送し
てください。

【問い合わせ先】

姫路市市民局市民参画部 市民活動推進課 担当:穴口、原

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

電話(079)221-2737

メールアドレス sankaku@city.himeji.lg.jp

I あなたの自治会などの地域団体への関わりについておたずねします。

注)この調査で「地域団体」とは、自治会をはじめとし、婦人会、老人クラブ、PTA、子ども会、消防団など、地域性の強い団体をいいます。

問1 地域団体の活動にどの程度参加されていますか。【○はひとつ】

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 積極的に参加している(問2へ) | 3 あまり参加していない(問3へ) |
| 2 ときどき参加している(問2へ) | 4 まったく参加していない(問3へ) |

問2 問1で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

地域団体を通じて、どのような分野の活動に参加されていますか。【○はいくつでも可】

- | | | |
|------------------|------------------|---------------|
| 1 環境美化、環境学習 | 6 青少年育成活動 | 11 男女共同参画 |
| 2 文化、学習活動 | 7 高齢者や障害者等への福祉活動 | 12 景観・文化財保護活動 |
| 3 お祭りや運動会などの地域行事 | 8 まちづくり活動 | 13 国際交流 |
| 4 スポーツ、レクリエーション | 9 子育て支援 | 14 観光 |
| 5 防犯・防災・交通安全 | 10 人権教育・啓発活動 | 15 その他 |
| () | | |

問3 問1で3又は4に○をつけた方のみお答えください。

地域団体の活動に参加されていないのはなぜですか。【○はいくつでも可】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 仕事・家事・育児・介護などで忙しい | 6 参加するメリットを感じない |
| 2 興味・関心がない | 7 参加する方法がわからない・情報がない |
| 3 特定の人が中心で参加しづらい | 8 その他 |
| 4 役員などの負担が大きい | () |
| 5 他にやりたいことがある | |

問4 地域団体の活動について、どのような感想をお持ちですか。【○はひとつ】

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 大いに必要 | 3 あまり必要とは思わない |
| 2 どちらかという必要 | 4 必要ない |

問5 地域団体の活動は今後どうあるべきだとお考えですか。【○はひとつ】

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1 既存の活動だけでなく、新しい活動が必要(問6へ) | 4 必要最低限の活動にとどめるべき(問7へ) |
| 2 既存の活動をさらに拡充すべき(問6へ) | 5 わからない(問7へ) |
| 3 現状のままでよい(問7へ) | |

問6 問5で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

地域団体は、どのような分野において新たな活動や拡充をしていくべきだとお考えですか。

【○はいくつでも可】

- | | | |
|------------------|------------------|---------------|
| 1 環境美化、環境学習 | 6 青少年育成活動 | 11 男女共同参画 |
| 2 文化、学習活動 | 7 高齢者や障害者等への福祉活動 | 12 景観・文化財保護活動 |
| 3 お祭りや運動会などの地域行事 | 8 まちづくり活動 | 13 国際交流 |
| 4 スポーツ、レクリエーション | 9 子育て支援 | 14 観光 |
| 5 防犯・防災・交通安全 | 10 人権教育・啓発活動 | 15 その他 |
| () | | |

Ⅱ あなたのボランティア活動やNPOへの関わり(地域団体は除く)についておたずねします。

注)NPO とは、「Non-Profit Organization(非営利組織)」の略で、利益を目的とせず、社会的な目的のために活動する団体のことで、NPO 活動とは、NPO が行う社会貢献活動のことを指します。

(具体的な活動の例:保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、文化・芸術・スポーツ、環境保全、災害救援、国際協力等の分野で、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動)

問7 ボランティア活動やNPO活動に参加されたことがありますか。【○はひとつ】

- | |
|-------------------------------------|
| 1 継続的に参加している(問8へ) |
| 2 直近1年間に参加したことがある(問8へ) |
| 3 過去に参加したことがある(直近1年間は参加していない)(問11)へ |
| 4 参加したことがない(問11へ) |

問8 問7で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

直近1年間でボランティア活動やNPO活動に参加された日数をお答えください。【○はひとつ】

- | | |
|----------|------------|
| 1 月10回以上 | 4 2か月に1回程度 |
| 2 月5回以上 | 5 年に数回程度 |
| 3 月1回以上 | (問9へ) |

問9 問7で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

ボランティア活動やNPO活動を主にどの範囲で行われていますか。【○はひとつ】

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 居住地周辺 | 5 市内のほぼ全域 |
| 2 小学校区内 | 6 姫路市を含む周辺地域 |
| 3 小学校区を含む周辺地域 | 7 兵庫県内 |
| 4 市内のかなり広い範囲 | 8 その他() |
| | (問10へ) |

問10 問7で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

どのような分野のボランティア活動・NPO活動に参加されていますか。【○はいくつでも可】

- | | | |
|------------------|------------------|---------------|
| 1 環境美化、環境学習 | 6 青少年育成活動 | 11 男女共同参画 |
| 2 文化、学習活動 | 7 高齢者や障害者等への福祉活動 | 12 景観・文化財保護活動 |
| 3 お祭りや運動会などの地域行事 | 8 まちづくり活動 | 13 国際交流 |
| 4 スポーツ、レクリエーション | 9 子育て支援 | 14 観光 |
| 5 防犯・防災・交通安全 | 10 人権教育・啓発活動 | 15 その他 |
| | () | () |

問11 問7で3・4に○をつけた方のみお答えください。

現在ボランティア活動やNPO活動に参加されていないのはなぜですか。【○はいくつでも可】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 仕事・家事・育児・介護などで忙しい | 6 参加するメリットを感じない |
| 2 興味・関心がない | 7 参加する方法がわからない・情報がない |
| 3 特定の人が中心で参加しづらい | 8 その他 |
| 4 役員などの負担が大きい | () |
| 5 他にやりたいことがある | (問12) |

問12 問7で3・4に○をつけた方のみお答えください。

今後、ボランティア活動やNPO活動に参加したいと思われませんか。【○はひとつ】

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 ぜひ参加したい(問13へ) | 3 あまり参加したいと思わない(問14へ) |
| 2 機会があれば参加したい(問13へ) | 4 参加したくない(問14へ) |

問13 問12で1・2に○をつけた方のみお答えください。

今後、ボランティア活動やNPO活動に参加するとすれば、どのような分野の活動に参加してみたいですか。【○はいくつでも可】

- | | | |
|------------------|------------------|---------------|
| 1 環境美化、環境学習 | 6 青少年育成活動 | 11 男女共同参画 |
| 2 文化、学習活動 | 7 高齢者や障害者等への福祉活動 | 12 景観・文化財保護活動 |
| 3 お祭りや運動会などの地域行事 | 8 まちづくり活動 | 13 国際交流 |
| 4 スポーツ、レクリエーション | 9 子育て支援 | 14 観光 |
| 5 防犯・防災・交通安全 | 10 人権教育・啓発活動 | 15 その他 |
| () | | |

問14 ボランティア活動やNPO活動について、どのような感想をお持ちですか。【○はひとつ】

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 大いに必要 | 3 あまり必要とは思わない |
| 2 どちらかというと必要 | 4 必要ない |

問15 ボランティア活動やNPO活動に期待する分野をお選びください。【○はいくつでも可】

- | | | |
|------------------|------------------|---------------|
| 1 環境美化、環境学習 | 6 青少年育成活動 | 11 男女共同参画 |
| 2 文化、学習活動 | 7 高齢者や障害者等への福祉活動 | 12 景観・文化財保護活動 |
| 3 お祭りや運動会などの地域行事 | 8 まちづくり活動 | 13 国際交流 |
| 4 スポーツ、レクリエーション | 9 子育て支援 | 14 観光 |
| 5 防犯・防災・交通安全 | 10 人権教育・啓発活動 | 15 その他 |
| () | | |

問16 これからのまちづくりでは、自治会などの地域団体とボランティア・NPOがどのように役割分担することがよいと思われませんか。【○はひとつ】

- | |
|--|
| 1 地域団体が主となって、ボランティア・NPOが協力する |
| 2 ボランティア・NPOが主になって、地域団体が協力する |
| 3 活動内容に応じ、地域団体が主になったり、ボランティア・NPOが主になったりして、相互に協力しあう |
| 4 自治会などの地域団体とボランティア・NPOが得意分野ごとにそれぞれ活動する |

問17 市民活動を行うにあたり、重要と思われるものをお選びください。【○はいくつでも】

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 活動団体や活動内容などの情報提供の充実 | 7 計画策定や街づくりの場に市民参加の機会を増やす |
| 2 活動に関する相談窓口の充実 | 8 学校授業や課外活動への市民活動の取り入れ |
| 3 審議会や委員会で市民公募を増やす | 9 活動団体間や個人・企業などとの連携・交流の促進 |
| 4 活動に自由に使える拠点を設ける | 10 その他() |
| 5 まちづくりの人材育成の講座や研修 | |
| 6 活動経費などの資金援助 | |

問18 地域の問題解決のために、行政と市民はどうあるべきだと思いますか。【○はひとつ】

- 1 あくまでも行政が対策を考え、解決を図る
- 2 行政ができないことは要請に応じて市民も協力していく
- 3 行政だけではなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む
- 4 まずは家庭や地域が助け合い、できない場合に限って行政が応援する
- 5 その他()

Ⅲ あなたの市政への関わりについておたずねします。

問19 市役所がどのような仕事をしているか、どのような計画を立てているか関心をお持ちですか。

【○はひとつ】

- | | |
|------------|-------------|
| 1 大いに関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 少しは関心がある | 4 まったく関心がない |

問20 市民の声を市政に反映していくためには、どのようなことが大切でしょうか。【○はひとつ】

- 1 自治会などの地域団体・NPOと市との意見交換の機会を増やす
- 2 まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす
- 3 市政への提案・提言の機会やしゅくみを増やす
- 4 アンケートなどを定期的に実施する
- 5 市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する
- 6 ICT、AIを活用し、双方向の情報共有を進める
- 7 その他()
- 8 わからない

問21 どのような方法で市政情報を入手されていますか。【○はいくつでも可】

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1 広報ひめじ | 8 新聞、コミュニティ新聞等 |
| 2 議会報ひめじ | 9 各種講座や説明会 |
| 3 市のホームページ | 10 SNS(フェイスブック、インスタグラム、X等) |
| 4 市役所や支所の窓口 | 11 姫路市公式 LINE |
| 5 公共施設の掲示 | 12 社会福祉協議会、地域団体等の広報誌 |
| 6 回覧板 | 13 地域団体等の会合 |
| 7 テレビ、ラジオ等 | 14 その他() |

問22 市政について、どのようなことをお知りになりたいですか。【○はいくつでも可】

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 市の将来構想の内容 | 7 市の施設の内容や利用方法の紹介 |
| 2 大規模のプロジェクトなど重要な施策の内容 | 8 行事・イベントなどの情報 |
| 3 市の予算内容や使われ方 | 9 市政全般の統計資料 |
| 4 各種審議会・委員会等の議論 | 10 その他() |
| 5 自分の住む地域のまちづくりの計画 | 11 特にない |
| 6 新しくできた制度や手続きの紹介 | |

問23 本市における市民参加のための取組みについて、ご存じのものをお選びください。

【○はいくつでも可】

- 1 市民アイデアポスト・市政ふれあいメール・市政ふれあいFAX
- 2 姫路市公式 LINE
- 3 審議会等の会議公開制度
- 4 情報公開制度
- 5 市政出前講座
- 6 パブリック・コメント制度(市民意見提出手続制度)
- 7 タウンミーティング(対話型広聴活動)
- 8 市政モニター、高校生モニター制度
- 9 その他()

問 24 市民活動に関する取組み、施策等について、ご存じのものをお選びください。【○はいくつでも可】

《市民活動・ボランティアサポートセンターの取組み》

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 ボランティア登録制度(団体・個人) | 8 ひめボラ(全世代向けボランティア体験) |
| 2 市民活動や協働の相談窓口・マッチング | 9 ひめボラ市(活動団体とのふれあいイベント) |
| 3 ひめじNPO・ボランティア通信 | 10 ハジメのイッポ(初心者向けボランティア体験) |
| 4 市民活動ネットひめじ(公式HP) | 11 ボラスタ! in ひめじ(デジタルスタンプラリー) |
| 5 公式SNS(フェイスブック、インスタグラム等) | |
| 6 ひめじおん講座(活動人材の育成) | |
| 7 ひめじ夏のボランティア体験(学生) | |

《その他の市の取組み》

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 地域づくり推進協議会 | 11 いずみ会(食生活改善ボランティア) |
| 2 提案型協働事業 | 12 姫路城マラソンボランティア |
| 3 学生ボランティアの学校園への派遣 | 13 ル・ボン国際音楽祭ボランティア |
| 4 見守りウォーキング制度 | 14 姫路城ボランティア・観光ボランティア |
| 5 公園愛護会 | 15 その他 |
| 6 図書館や学校でのおはなし会ボランティア | () |
| 7 あんしんサポーター | |
| 8 ひめじ街路樹アダプト制度 | |
| 9 全市一斉清掃・まちかど100mクリーンアクション | |
| 10 施設ボランティア
(文学館、図書館、動物園、水族館、美術館、科学館、伊勢自然の里・環境学習センター、総合福祉通園センター) | |

Ⅳ あなたご自身についておたずねします。

問25 性別と年齢についてお答えください。【それぞれ○はひとつ】

1 男	1 18～19歳	4 40歳代	7 70歳代
2 女	2 20歳代	5 50歳代	8 80歳以上
3 その他、無回答	3 30歳代	6 60歳代	

問26 主な職業についてお答えください。【○はひとつ】

1 農林漁業、その家族従事者	6 学生(大学・専門学校など)
2 自営業(商工サービス、自由業等)	7 経営者、役員(法人の)
3 正社員・正職員	8 無職
4 パート、アルバイト、契約、派遣、嘱託社員	9 その他()
5 家事専業	

問27 ご家族の構成についてお答えください。【○はひとつ】

1 単身(一人暮らし)	4 親と子どもと孫など3世代以上の家族
2 夫婦のみ、兄弟や姉妹のみ(1世代)	5 その他()
3 親と子ども(2世代)	

問28 お住まいの住宅形態についてお答えください。【○はひとつ】

1 持ち家(一戸建て)	4 賃貸住宅(賃貸マンション・アパート)
2 持ち家(分譲マンション等)	5 社員住宅・職員住宅
3 賃貸住宅(一戸建て)	6 その他()

問29 お住まいの地区(小学校区)について、あてはまる番号に○印をつけてください。

1 中部地区	城東、白鷺、城西、城乾、野里、東、船場、城陽、手柄、荒川、高岡、高岡西、安室、安室東
2 西部地区	青山、白鳥、曾左、峰相、太市、伊勢、林田
3 北部地区	城北、水上、増位、広峰、砥堀、豊富、山田、船津
4 東部地区	花田、四郷、御国野、別所、谷外、谷内
5 灘地区	糸引、白浜、八木、的形、大塩
6 飾磨地区	英賀保、津田、飾磨、高浜、妻鹿
7 広畑地区	八幡、広畑、広畑第二、大津、南大津
8 網干地区	網干、網干西、余部、旭陽、勝原、大津茂
9 家島地区	家島、坊勢
10 夢前地区	置塩、古知、前之庄、菅生、上菅、勘野
11 香寺地区	中寺、香呂、香呂南
12 安富地区	安富南、安富北
13 地区がわからない場合は、町名をお答えください()	

問30 現住所には通算して何年くらいお住まいですか。【○はひとつ】

- | | |
|------------|-------------|
| 1 1年未満 | 4 10年～20年未満 |
| 2 1年～5年未満 | 5 20年～30年未満 |
| 3 5年～10年未満 | 6 30年以上 |

問31 これからも、現住所に住み続けたいとお考えですか。【○はひとつ】

- | | |
|---|--|
| 1 できれば住み続けたい | |
| 2 できれば姫路市内の別の地域へ移りたい、移る予定がある
(町名 _____ →理由 _____) | |
| 3 できれば姫路市外へ移りたい、移る予定がある
(都道府県市町村名 _____ →理由 _____) | |
| 4 どちらともいえない | |

問32 次のA)とB)のうち、あなたの考えに近いものを教えてください。【○はひとつ】

- A)多くの人とコミュニケーションをとる機会を持ちたい
B)なるべく人とのコミュニケーションをとらずに静かに暮らしたい

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 A)の考えに近い | 4 B)の考えにやや近い |
| 2 A)の考えにやや近い | 5 B)の考えに近い |
| 3 どちらでもない | |

問33 次のA)とB)のうち、あなたの考えに近いものを教えてください。【○はひとつ】

- A)自分とは違う世代の人と交流したい
B)できるだけ同世代の人と交流したい

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 A)の考えに近い | 4 B)の考えにやや近い |
| 2 A)の考えにやや近い | 5 B)の考えに近い |
| 3 どちらでもない | |

■姫路市において、市民活動を盛んにしていくうえで、ご意見・ご提言がありましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

10月10日(金)までに、インターネットでの回答が郵送にてご返送をお願いします。

